

## 8 学科ポリシー／卒業要件・進級条件／科目一覧

# 保健医療学部

- 8-1 看護学科
- 8-2 理学療法学科
- 8-3 作業療法学科
- 8-4 言語聴覚学科
- 8-5 視機能療法学科
- 8-6 放射線・情報科学科
- 8-7 医学検査学科

## 8-1 保健医療学部 看護学科

### 8-1-1 教育研究上の目的

保健医療学部教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部看護学科教育研究上の目的

看護学科は、看護職に必要な知識と技能を修得するとともに、国際的視野を持つ幅広い教養と深い人間理解、倫理観を涵養し、コミュニケーション能力や現場で即応できる判断力を身に付けた看護師、保健師の育成を目的とする。

### 8-1-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、看護職者として、豊かな感性、コミュニケーション能力を発揮して人間理解に努めるとともに、国際的感覚を持ち、創造的に課題解決に取り組むための自己研鑽・自己開発の基礎能力と方法を身につけ、自らの健康を大切にしつつ、「共に生きる社会」の実現に貢献することが期待できる人

#### 2. 看護学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

高等学校の教科科目を通して修得した基礎知識と語学力による読解力・文章力・コミュニケーション能力、主として理数系科目により身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

看護学を学ぶにあたり、相手を思いやり、誠実な人間関係を築くための柔軟な発想力と寛容性、個人・家族・地域社会のつながりや仕組みについて理解し考え行動できる思考力・分析力・判断力及び表現力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

看護職者として本学の基本理念及び教育理念を理解し、「共に生きる社会」の実現をめざして、多様な人々の生き方・暮らしについて興味を持ち、看護学の学びを通じて国内外の保健・医療・福祉分野の発展に貢献する意志を持ち、主体的に学修を進める意欲と多職種の役割を理解し協働する態度を身につけていること。

### 8-1-3 ディプロマ・ポリシー

---

看護学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。

DP2：看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけている。

DP3：個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。

DP4：看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。

DP5：未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職業人としての基盤力と探究力を身につけている。

DP6：看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。

#### 8-1-4 カリキュラム・ポリシー

---

看護学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：看護専門職者としての基盤となる社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけるための科目を設定する。

CP2：看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけるための科目を設定する。

CP3：個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけるための科目、および、看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけるための科目を設定する。

CP4：未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための基盤力と探究力を身につけるための科目、および、看護専門職者としての責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけるための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

## 8-1-5 教育目標

---

### <1 年次 (SBOs1) >

- CP1：幅広い教養と豊かな感性を培い、人間を理解するための基盤力、語学力を高める。
- CP2：人間と環境を理解するための諸科学を学び、看護学に応用するための基盤を固める。
- CP3：個人や家族の健康状態を査定し、健康課題を解決するための看護の視点を身につける。
- CP4：自らの学修課題を認識し、自らを動機づけ、主体的な学修活動を行うことができる。

### <2 年次 (SBOs2) >

- CP1：豊かな教養を持ち、グローバルな視点で考える力、異文化を理解する力、国際的な感覚を身につける。
- CP2：保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みを理解し、看護に活用するための基盤を固める。
- CP3：必要な看護を査定、計画、実践、評価し改善を行うための基礎的知識・技術・態度を身につける。
- CP4：演習や実習に主体的に取り組むことができ、看護専門職者としての自己研鑽力の基盤ができています。

### <3 年次 (SBOs3) >

- CP1：多様性を理解し、自らの考えをもち、論理的かつ建設的に思考する力を身につける。
- CP2：保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みに関する知識を看護に応用することができる。
- CP3：必要な看護を行うための知識・技術・態度を実習で具体的にを行うことができる。
- CP4：看護に関する未知の事象への興味関心を表現でき、探究活動を開始することができる。

### <4 年次 (SBOs4) >

- CP1：看護専門職者の社会的責務を認識し、倫理観に基づいた看護を行う基盤を固める。
- CP2：対象を中心とした保健医療福祉を行うための看護の知識・技術・態度、関連職種と連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につける。
- CP3：複雑な健康課題、組織や地域社会の健康関連課題を論理的かつ多面的に理解し、看護するための知識・技術・態度を身につける。
- CP4：看護研究を行うための基本的な知識・技術・態度を身につける。

## 8-1-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければならない。なお、必修科目については、「8-1-10 授業科目一覧」を参照すること。

### (1) 卒業に必要な単位数【看護学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数		
			必 修	選択必修	選 択
総合教育科目	人間系		2単位		人間系、社会系、自然・情報系、総合系、外国語系、保健体育系から、さらに4単位以上※1 (2単位以上) ※2
	社会系		1単位		
	自然・情報系		8単位		
	総合系		1単位		
	外国語系		4単位 (5単位) ※2	2単位以上 ※1 (3単位以上 または5単位以上) ※2	
	保健体育系				
	小 計		16単位 (17単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または5単位以上) ※2	4単位以上 (2単位以上) ※2
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	11単位		専門基礎科目（学部共通、学科専門基礎）および専門科目（専門）※1から4単位以上
		学科専門基礎	12単位		
		小 計	23単位		
	専門科目	専門	67単位		
		公衆衛生看護学	8単位		
		小 計	75単位		
	小 計		98単位		4単位以上
合 計			114単位 (115単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または5単位以上) ※2	8単位以上 (6単位以上) ※2
総 計			124単位以上 (124単位以上、または126単位以上) ※2		

※1 後述の「8-1-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 ( ) 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

### 8-1-7 進級条件

---

(1) 2 学年から 3 学年への進級条件

- ① 総合教育科目のうち、2 年次までの必修科目（「医療必修—医療の倫理とプロ意識・医療情報—」含む）14 単位および選択必修・選択科目を含め 20 単位以上を修得していること。
- ② 専門基礎科目のうち、2 年次までの必修科目 22 単位をすべて修得していること。
- ③ 専門科目（公衆衛生看護学科目を含む）のうち、2 年次までの必修科目 37 単位をすべて修得していること。

(2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 年次の必修科目のうち、5 単位以上の未履修は原級に留まる（進級はできない）。

### 8-1-8 科目履修条件

---

(1) 総合教育科目に関する選択科目の履修条件

- ① 外国語系科目に関する選択科目の履修条件（留学生を除く）  
英語科目の中から 2 科目（2 単位）を 2 年次までに修得すること。
- ② 総合教育科目に関する選択科目の履修条件（全学生対象）  
高校で「生物基礎」、「生物」を履修していない者は、「総合教育科目」自然・情報系の授業科目である「生物学（2 単位・30 時間）」を必ず修得すること。

(2) 看護学実習の履修条件

履修年次	実習	履修条件
2年次	基礎看護学実習Ⅱ	以下の科目ですべて単位を取得していること ・基礎看護学実習Ⅰ
	生活療養支援実習Ⅰ	以下の科目の単位を取得していることが望ましい ・成人看護学概論 ・高齢者看護学概論
3年次	生活療養支援実習Ⅱ 生活療養支援実習Ⅲ 生活療養支援実習Ⅳ 生活療養支援実習Ⅴ	以下の科目ですべて単位を取得していること ・成人看護学概論 ・高齢者看護学概論 ・急性期看護学方法論 ・慢性期・回復期看護学方法論 ・がん・緩和ケア看護学方法論 ・高齢者看護学方法論Ⅰ ・急性期看護学演習 ・慢性期・回復期看護学演習 ・高齢者看護学方法論Ⅱ ・高齢者看護学演習
	小児看護学実習	以下の科目ですべて単位を取得していること ・小児看護学概論 ・小児看護学方法論 ・小児看護学演習
	リプロダクティブヘルス看護学実習	以下の科目ですべて単位を取得していること ・リプロダクティブヘルス看護学概論 ・リプロダクティブヘルス看護学方法論 ・リプロダクティブヘルス看護学演習
	精神看護学実習	以下の科目ですべて単位を取得していること ・精神看護学概論 ・精神看護学方法論 ・精神看護学演習
	地域・在宅看護学実習	以下の科目ですべて単位を取得していること ・地域・在宅看護学概論 ・地域・在宅看護学方法論Ⅰ ・地域・在宅看護学方法論Ⅱ ・地域・在宅看護学演習
4年次	地域統合看護学実習	以下の科目ですべて単位を取得していること ・基礎看護学実習Ⅰ ・基礎看護学実習Ⅱ ・生活療養支援実習Ⅰ ・生活療養支援実習Ⅱ ・生活療養支援実習Ⅲ ・生活療養支援実習Ⅳ ・生活療養支援実習Ⅴ ・小児看護学実習 ・リプロダクティブヘルス看護学実習 ・精神看護学実習 ・地域・在宅看護学実習



(3) 公衆衛生看護学実習（4年後期）

「公衆衛生看護学実習」を履修する者は、「保健師履修コース」の学生であること。くわえて、「公衆衛生看護学概論（1年後期）」「公衆衛生看護方法論（4年前期）」「対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）（4年前期）」「対象別保健活動論Ⅱ（障害別）（4年前期）」「地域診断論（3年前期）」「健康教育論（3年前期）」「産業保健論（2年後期）」「学校保健論（2年後期）」「健康危機管理論（3年前期）」「公衆衛生看護管理論（4年前期）」のすべての単位を修得していること。

(4) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-1-9 保健師履修コース

保健師を希望する者は、選抜試験を経て3年次より保健師履修コースに在籍することができる。

### (1) 保健師履修コースの決定

保健師履修コースは、看護学科2年に在籍し、3年への進級要件を満たしている者が、選抜試験を受験できる。2年次末に選抜試験を行い、履修選択者を決定する。

### (2) 保健師履修コースにおける授業区分と単位数

授業科目の区分		最低単位数				備考
		必修	選択必修	選択	保健師履修コース選択必修	
総合教育科目	人間系	2単位				*保健師履修コース選択必修： 社会系 「日本国憲法（2単位）」 保健体育系 「健康科学理論（1単位）」 「健康科学実践（1単位）」
	社会系	1単位			2単位*	
	自然・情報系	8単位				
	総合系	1単位				
	外国語系	4単位 (5単位) ※2	2単位以上※1 (3単位以上 または 5単位以上) ※2			
	保健体育系				2単位*	
	小計	16単位 (17単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または 5単位以上) ※2		4単位	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	11単位	専門基礎科目 (学部共通、学 科専門基礎) および専門科 目(専門)※1 から4単位以上		*保健師履修コース選択必修： 「対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）（2単位）」 「対象別保健活動論Ⅱ（障害別）（1単位）」 「地域診断論（1単位）」 「健康危機管理論（1単位）」 「公衆衛生看護管理論（2単位）」 「公衆衛生看護特論（1単位）」 「公衆衛生看護学実習（4単位）」
		学科専門基礎	12単位			
		小計	23単位			
	専門科目	専門	67単位			
		公衆衛生看護学	8単位		12単位*	
		小計	75単位	4単位以上		
	小計	98単位		4単位以上	12単位	
保健師国家試験要件	合計	114単位 (115単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または 5単位以上) ※2	4単位以上	16単位	
	総計	136単位以上 (138単位以上または140単位以上) ※2				
卒業要件	合計	114単位 (115単位) ※2	2単位以上 (3単位以上 または 5単位以上) ※2	8単位以上 (6単位以上) ※2		
	総計	124単位以上 (124単位以上または126単位以上) ※2				

※1 前述の「8-1-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 ( ) 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

---

(3) 保健師履修コースを希望する学生の注意点

- ① 総合教育科目22単位以上（留学生は24単位以上または26単位以上）の履修に際して、選択科目は学科共通の選択必修科目である英語科目2単位（留学生は日本語科目3単位以上または5単位以上）にくわえ、二種免許状申請に必要となる選択必修科目4単位（社会系：「日本国憲法（2単位・30時間）」保健体育系：「健康科学理論（1単位・15時間）」「健康科学実践（1単位・30時間）」）の修得が必要となるため、保健師履修コースに必要な科目と単位数、開講学年、開講時期を確認すること。
- ② 専門教育科目のうち、公衆衛生看護学について選択必修科目12単位（「対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）（2単位・30時間）」「対象別保健活動論Ⅱ（障害別）（1単位・15時間）」「地域診断論（1単位・30時間）」「健康危機管理論（1単位・15時間）」「公衆衛生看護管理論（2単位・30時間）」「公衆衛生看護特論（1単位・30時間）」「公衆衛生看護学実習（4単位・180時間）」）の修得が必要となるため、保健師履修コースに必要な科目と単位数、開講学年、開講時期を確認すること。

(4) 卒業要件と看護師国家試験受験資格および保健師国家試験受験資格

- ① 看護学科の卒業要件は、124単位以上（留学生は124単位以上または126単位以上）の単位修得を必要とし、これをもって看護師国家試験受験資格を満たす。
- ② 保健師履修コースの選択者は、136単位以上（留学生は138単位以上または140単位以上）の単位修得を必要とし、これをもって看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格を満たす。
- ③ 保健師履修コースの選択者のうち、136単位以上の単位修得ができない不測の事態が発生しても、看護学科の卒業要件となる124単位の単位修得をしていれば、看護師国家試験受験資格および卒業要件は満たす。

---

(1) 養護教諭二種免許状

保健師の資格を有し、免許状の修得に必要な単位を修得した方であれば各自治体の教育委員会に必要書類を提出することにより申請が可能である。(申請の場合、大学より証明書が必要である。) 希望する学生は以下の科目を履修すること。

① 留学生以外の学生

- 日本国憲法
- 健康科学理論
- 健康科学実践
- 英語講読1 (Primary)
- 英語講読2 (Basic)
- 英語CALL1 (Primary)
- 英語CALL2 (Basic)
- コンピュータの基礎
- データリテラシー

② 留学生

- 日本国憲法
- 健康科学理論
- 健康科学実践
- 作文・読解Ⅱ (応用)
- 文法・語彙Ⅱ (応用)
- 発表・討論Ⅰ (応用)
- コンピュータの基礎
- データリテラシー

\* 下記英語科目から2単位以上を選択必修 ※3

- 英語CALL1 (Primary)
- 英語CALL2 (Basic)
- 英語会話1 (Primary)
- 英語会話2 (Basic)
- 英語会話3 (Intermediate)
- 英語会話4 (Advanced)

※3 留学生は後述の「8・10 留学生の日本語履修条件」を満たす必要がある。

よく確認して、履修登録に漏れのないよう注意すること。



## 8-1-10 授業科目一覧（総合教育科目：看護学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4	2	30		ON-0101-77C
		演劇論	1 2 3 4	1	15		ON-0102-77C
		心理学	1 2 3 4	2	30		ON-0104-77C
		哲学	1 2 3 4	2	30		ON-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2	30		ON-0106-11A
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30		ON-0107-77C
		人間学	1 2 3 4	2	30		ON-0108-77C
		歴史学	1 2 3 4	2	30		ON-0109-77C
		倫理学	1 2 3 4	2	30		ON-0110-77C
		宗教学	1 2 3 4	2	30		ON-0111-77C
		日本近現代史	1 2 3 4	2	30		ON-0112-77C
		文化人類学	1 2 3 4	2	30		ON-0113-77C
		教育学	1 2 3 4	2	30		ON-0114-77C
		教育方法論	1 2 3 4	2	30		ON-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1 2 3 4	2	30		ON-0116-77C
		生きがい論	1 2 3 4	2	30		ON-0117-77C
	社会系	法学	1 2 3 4	2	30		ON-0201-77C
		日本国憲法 ※	1 2 3 4	2	30		ON-0202-47A
		法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30		ON-0203-77C
		社会学	1 2 3 4	2	30		ON-0206-77C
		日本政治経済論	1 2 3 4	2	30		ON-0207-77C
		マスメディア論	1 2 3 4	2	30		ON-0208-77C
		福祉経済学	1 2 3 4	2	30		ON-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30		ON-0212-77C
		国際関係論	1 2 3 4	2	30		ON-0223-77C
		世界の経済	1 2 3 4	2	30		ON-0220-77C
		国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30		ON-0224-77C
		組織運営管理論	1 2 3 4	2	30		ON-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1	30		ON-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1	45		ON-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	2	1	30		ON-0228-12A
		地球環境論	1 2 3 4	2	30		ON-0229-77C
		ボランティア論	1 2 3 4	2	30		ON-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4	2	30		ON-0231-77C
		手話入門	1 2 3 4	2	30		ON-0232-77C
		経済の仕組み	1 2 3 4	2	30		ON-0218-77C
		経済の歴史	1 2 3 4	2	30		ON-0219-77C
	自然・情報系	統計学	2	2	30		ON-0301-12A
		疫学・保健医療統計学	3	2	30		ON-0304-13A
		数学	1 2 3 4	2	30		ON-0305-77C
		物理学	1 2 3 4	2	30		ON-0306-77C
		化学	1 2 3 4	2	30		ON-0309-77C
		生物学	1 2 3 4	2	30	高校で生物を未履修の学生はこの科目の選択をすること	ON-0312-77C
		コンピュータの基礎	1	2	30		ON-0314-11A
		データリテラシー	1	1	30		ON-0318-11D
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1	30		ON-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1	30		ON-0321-72F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報・	1 2 3 4	1	30		ON-0323-17A
		医学／医療史	1 2 3 4	2	30		ON-0324-77C
		人間工学	1 2 3 4	2	30		ON-0325-77C
	総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために・	1	1	30		ON-0401-11B
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4	1	15		ON-0402-77C
		医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15		ON-0403-77C
		メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30		ON-0404-77C
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1 2 3 4	1	15		ON-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4	1	15		ON-0406-77C
		食と人間	1 2	1	15		ON-0407-71C
		持続可能な発展	1 2 3 4	2	30		ON-0409-77C
		ボランティア実践	1 2 3 4	1	15		ON-0412-77I

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
				必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30		ON-0501-11D
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30		ON-0502-11D
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		ON-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		ON-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30		ON-0505-11D
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30		ON-0506-11D
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		ON-0516-82F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		ON-0517-82F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		ON-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		ON-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30		ON-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30		ON-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30		ON-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		ON-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		ON-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		ON-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		ON-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		ON-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4		1	30		ON-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30		ON-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30		ON-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		ON-0617-70C
	保健 体育系	健康科学理論 ※	1 2 3 4		1	15		ON-0701-47A
		健康科学実践 ※	1 2 3 4		1	30		ON-0702-47G

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修すること。  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照すること。

8-1-10 授業科目一覧（専門教育科目：看護学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2	30		ON-1001-11A
		救急医学	2	1	15		ON-1002-72C
		微生物と病気	1 2 3 4	2	30		ON-1003-77C
		リハビリテーション概論	2	2	30		ON-1004-12A
		関連職種連携論	2	2	30		ON-1005-12A
		看護論	1	2	30		ON-1022-71C
		ケアマネジメント論	2 3 4	1	15		ON-1006-72C
		ケースワーク論	1 2	1	15		ON-1007-71C
		医療管理学	1 2 3 4	2	30		ON-1008-77C
		保健医療福祉制度論	1	2	30		ON-1009-11A
		社会福祉学	1 2	2	30		ON-1010-71C
		臨床心理学概論	2	2	30		ON-1011-12A
		福祉支援工学概論	1 2 3 4	2	30		ON-1013-77C
		関連職種連携ワーク	3	1	30		ON-1014-13E
		関連職種連携実習	4	1	45		ON-1015-74H
		リスクマネジメント論	3 4	2	30		ON-1016-73C
		電子カルテシステム入門	2 3 4	1	15		ON-1017-72C
		エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4	1	15		ON-1018-72C
		レクリエーション概論	2 3 4	1	15		ON-1019-72C
	専門基礎	生体形態論Ⅰ（運動器系・循環器系）	1	1	30		ON-2201-11A
		生体形態論Ⅱ（内臓学・神経系・感覚器系）	1	1	30		ON-2202-11A
		生体機能論Ⅰ（循環・呼吸・消化・腎臓）	1	1	30		ON-2203-11A
		生体機能論Ⅱ（神経・運動・感覚）	1	1	30		ON-2204-11A
		栄養学	1	1	30		ON-2301-11A
		微生物学	1	1	30		ON-2302-11A
		病理学	1	1	30		ON-2303-11A
		薬理学	2	1	30		ON-2304-12A
		老年学	2	1	30		ON-2205-72C
		機能障害論Ⅰ（循環器・呼吸器・血液）	2	1	30		ON-2305-22A
		機能障害論Ⅱ（脳神経・消化器・内分泌）	2	1	30		ON-2306-22A
		機能障害論Ⅲ（生殖・腎泌尿器・運動・免疫）	2	1	30		ON-2307-22A
		機能障害論Ⅳ（精神・小児・老年関連疾患）	2	1	30		ON-2308-22A
		基礎看護学概論	1	2	30		ON-2A01-11A
	専門	看護理論	1	1	15		ON-2A02-11A
		看護方法論（看護過程）	2	1	30		ON-2A03-12A
		日常生活援助論Ⅰ（環境と清潔）	1	1	30		ON-2A04-11D
		日常生活援助論Ⅱ（食事と排泄）	1	1	30		ON-2A05-11D
		看護技術論Ⅰ（ヘルスアセスメント）	1	1	30		ON-2A06-11D
		看護技術論Ⅱ（診療支援技術）	1	1	30		ON-2A07-11D
		基礎看護学実践演習	2	1	30		ON-2A08-12D
		看護管理学	3	2	30		ON-2I09-23A
		基礎看護学実習Ⅰ（看護援助の基本）	1	1	45		ON-2A10-11G
		基礎看護学実習Ⅱ（看護過程の展開）	2	2	90		ON-2A11-12G
		成人看護学概論	2	1	15		ON-2D01-22A
		急性期看護学方法論	2	1	30		ON-2D02-22A
		慢性期・回復期看護学方法論	2	1	30		ON-2D03-22A
		がん・緩和ケア看護学方法論	2	1	30		ON-2D04-22A
		急性期看護学演習	3	1	30		ON-2D05-23D
		慢性期・回復期看護学演習	3	1	30		ON-2D06-23D
		救急医療とクリティカルケア看護	3	1	15		ON-3D07-83C
		高齢者看護学概論	2	1	15		ON-3E01-12A
		高齢者看護学方法論Ⅰ（生活機能を整える看護）	2	1	30		ON-3E02-22D
		高齢者看護学方法論Ⅱ（生活・療養の場における看護）	3	1	15		ON-3E03-23D
		高齢者看護学演習	3	1	30		ON-3E04-23D
		小児看護学概論	2	1	15		ON-3F01-12A
		小児看護学方法論	2	2	30		ON-3F02-22A
		小児看護学演習	3	1	30		ON-3F03-23D
		リプロダクティブヘルス看護学概論	2	1	15		ON-3G01-22A
		リプロダクティブヘルス看護学方法論	2	2	30		ON-3G02-22A
		リプロダクティブヘルス看護学演習	3	1	30		ON-3G03-23D

※印は「保健師」国家試験受験に必要な科目



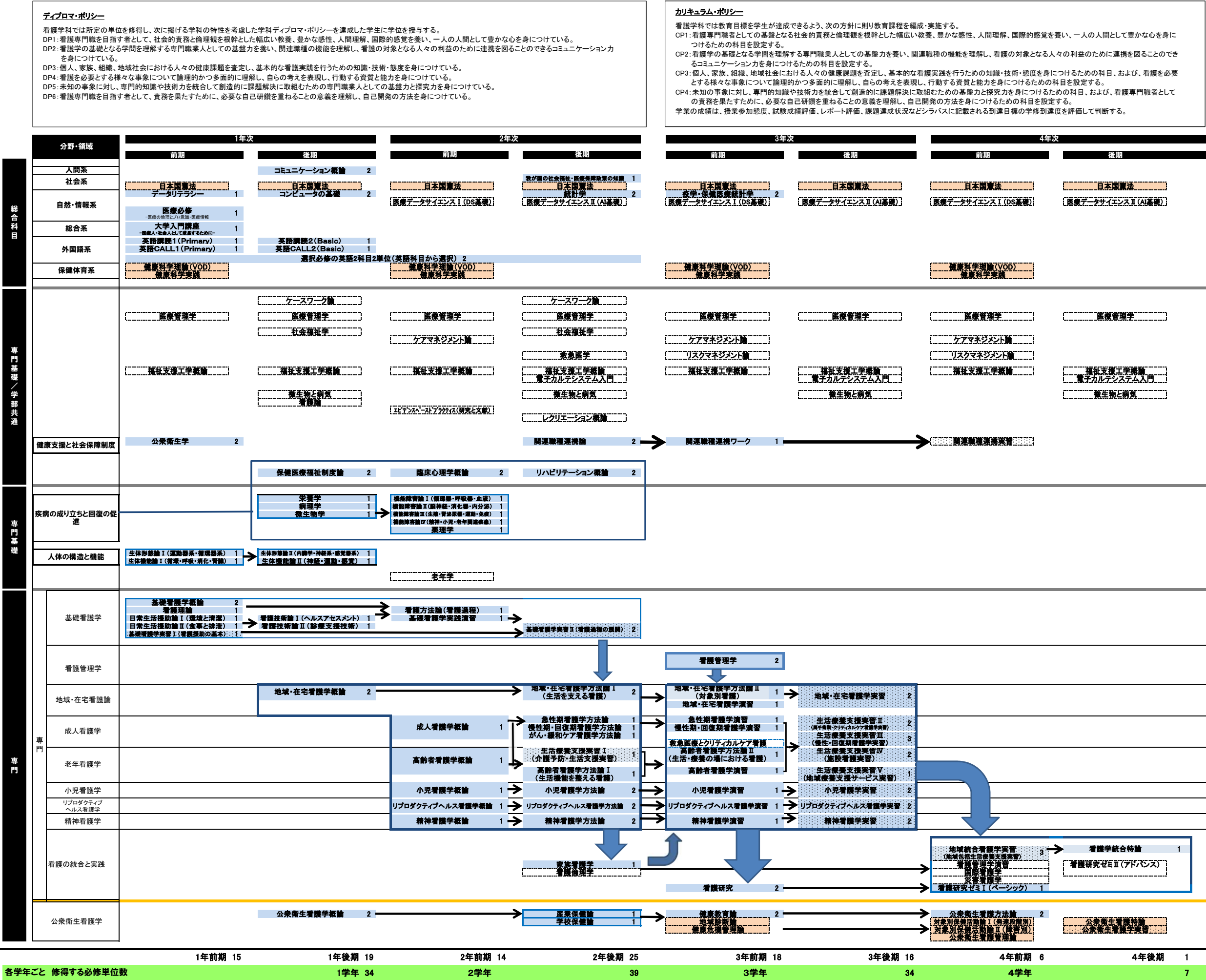
授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	精神看護学概論	2	1	15		ON-3H01-12A
		精神看護学方法論	2	2	30		ON-3H02-22A
		精神看護学演習	3	1	30		ON-3H03-33D
		地域・在宅看護学概論	1	2	30		ON-3B01-11A
		地域・在宅看護学方法論Ⅰ（生活を支える看護）	2	2	30		ON-3B02-22A
		地域・在宅看護学方法論Ⅱ（対象別看護）	3	1	15		ON-3B03-23A
		地域・在宅看護学演習	3	1	15		ON-3B04-23D
		生活療養支援実習Ⅰ（介護予防・生活支援実習）	2	1	45		ON-3E05-12G
		生活療養支援実習Ⅱ（周手術期・クリティカルケア看護学実習）	3	2	90		ON-3D08-23G
		生活療養支援実習Ⅲ（慢性・回復期看護学実習）	3	3	135		ON-3D09-23G
		生活療養支援実習Ⅳ（施設看護実習）	3	2	90		ON-3E06-23G
		生活療養支援実習Ⅴ（地域療養支援サービス実習）	3	1	45		ON-3E07-23G
		小児看護学実習	3	2	90		ON-3F04-33G
		リプロダクティブヘルス看護学実習	3	2	90		ON-3G04-33G
		精神看護学実習	3	2	90		ON-3H04-33G
		地域・在宅看護学実習	3	2	90		ON-3B05-33G
		看護研究	3	2	30		ON-3L01-33A
		看護研究ゼミⅠ（ベーシック）	4	1	30		ON-3L02-34D
		看護研究ゼミⅡ（アドバンス）	4	1	30		ON-3L03-94F
		看護学統合特論	4	1	45		ON-3L04-34A
		看護管理学演習	4	1	30		ON-3L05-94F
		国際看護学	4	1	15		ON-3L06-74C
		家族看護学	2	1	15		ON-3L07-22A
		看護倫理学	2	1	15		ON-3L08-82C
		災害看護学	4	2	30		ON-3L09-84C
		地域統合看護学実習（地域包括生活療養支援実習）	4	3	135		ON-3L10-34G
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1	2	30		ON-3C01-11A
		公衆衛生看護学方法論	4	2	30		ON-3C02-24A
		対象別保健活動論Ⅰ（発達段階別）※	4	2	30		ON-3C03-54A
		対象別保健活動論Ⅱ（障害別）※	4	1	15		ON-3C04-54A
		地域診断論 ※	3	1	30		ON-3C05-53D
		健康教育論	3	2	30		ON-3C06-23D
		産業保健論	2	1	15		ON-3C07-22A
		学校保健論	2	1	15		ON-3C08-22B
		健康危機管理論 ※	3	1	15		ON-3C09-43A
		公衆衛生看護管理論 ※	4	2	30		ON-3C10-447
		公衆衛生看護特論 ※	4	1	30		ON-3C11-54A
		公衆衛生看護学実習 ※	4	4	180		ON-3C12-54G

※印は「保健師」国家試験受験に必要な科目

		ディプロマ・ポリシー(DP)						
		【DP1】 看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊かな心を身につけている。	【DP2】 看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、関連職種の機能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につけている。	【DP3】 個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。	【DP4】 看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自らの考えを表現し、行動する資質と能力を身につけている。	【DP5】 未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決に取り組むための専門職業人としての基盤力と探究力を身につけている。	【DP6】 看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標  ( 到達 目標 ・ SBOs )	1 年 次	【SBOs1/CP1】 幅広い教養と豊かな感性を培い、人間を理解するための基盤力、語学力を高める。	【DP1/SBOs1/CP1】 大学入門講座(1)、英語講読1(1)、英語講読2(1)、英語CALL1(1)、英語CALL2(1)、文学論、演劇論、心理学、哲学、雑談と傾聴、人間学、歴史学、日本近現代史、数学、物理学、化学、生物学、郷土論、英語会話1、英語会話2、聖書英語1、聖書英語2、医学英語1、医学英語2、英語リスニング1、英語リスニング2、英語ライティング1、英語ライティング2、英語医療通訳入門1、英語医療通訳入門2、資格英語1、資格英語2、基礎英文法1、基礎英文法2、上級英語会話1、上級英語会話2、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎	【DP2/SBOs1/CP1】 コミュニケーション概論(2)	【DP3/SBOs1/CP1】	【DP4/SBOs1/CP1】	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】 健康科学理論、健康科学実践
		【SBOs1/CP2】 人間と環境を理解するための諸科学を学び、看護学に応用するための基盤を固める。	【DP1/SBOs1/CP2】 医学／医療史、医療必修(1)、倫理学、宗教学、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、経済の仕組み、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、地球環境論、経済の歴史、コンピュータの基礎(2)、データリテラシー(1)、人間工学、医療福祉教養講義、総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義(現代社会をどう見るか)、食と人間、持続可能な発展	【DP2/SBOs1/CP2】 手話入門、メディカルマナー入門、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、ボランティア実践	【DP3/SBOs1/CP2】 公衆衛生学(2)、保健医療福祉制度論(2)、生体形態論Ⅰ(1)、生体形態論Ⅱ(1)、生体機能論Ⅰ(1)、生体機能論Ⅱ(1)、栄養学(1)、微生物学(1)、病理学(1)、微生物と病気	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 個人や家族の健康状態を査定し、健康課題を解決するための看護の視点を身につける。	【DP1/SBOs1/CP3】	【DP2/SBOs1/CP3】	【DP3/SBOs1/CP3】 基礎看護学概論(2)、看護理論(1)、日常生活援助論Ⅰ(1)、日常生活援助論Ⅱ(1)、看護技術論Ⅰ(1)、看護技術論Ⅱ(1)、地域・在宅看護学概論(2)、公衆衛生看護学概論(2)、看護論、医療管理学、ケースワーク論、社会福祉学、福祉支援工学概論	【DP4/SBOs1/CP3】	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 自らの学修課題を認識し、自らを動機づけ、主体的な学修活動を行うことができる。	【DP1/SBOs1/CP4】	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】 基礎看護学実習Ⅰ(1)	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 豊かな教養を持ち、グローバルな視点で考える力、異文化を理解する力、国際的な感覚を身につける。	【DP1/SBOs2/CP1】 英語講読3、英語講読4、英語会話3、英語会話4、海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ	【DP2/SBOs2/CP1】	【DP3/SBOs2/CP1】	【DP4/SBOs2/CP1】 エビデンスベースドプラクティス	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みを理解し、看護に活用するための基盤を固める。	【DP1/SBOs2/CP2】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識(1)、ケアマネジメント論、医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)、電子カルテシステム入門	【DP2/SBOs2/CP2】 レクリエーション概論	【DP3/SBOs2/CP2】 統計学(2)、関連職種連携論(2)、リハビリテーション概論(2)、臨床心理学概論(2)、薬理学(1)、機能障害論Ⅰ(1)、機能障害論Ⅱ(1)、機能障害論Ⅲ(1)、機能障害論Ⅳ(1)、家族看護学(1)、産業保健論(1)、学校保健論(1)、救急医学、老年学	【DP4/SBOs2/CP2】 看護倫理学	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 必要な看護を査定、計画、実践、評価し改善を行うための基礎的知識・技術・態度を身につける。	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】	【DP3/SBOs2/CP3】 看護方法論(1)、基礎看護学実践演習(1)、成人看護学概論(1)、急性期看護学方法論(1)、慢性期・回復期看護学方法論(1)、がん・緩和ケア看護学方法論(1)、高齢者看護学概論(1)、高齢者看護学方法論Ⅰ(1)、小児看護学概論(1)、小児看護学方法論(2)、リプロダクティブヘルス看護学概論(1)、リプロダクティブヘルス看護学方法論(2)、精神看護学概論(1)、精神看護学方法論(2)、地域・在宅看護学方法論Ⅰ(2)	【DP4/SBOs2/CP3】	【DP5/SBOs2/CP3】	【DP6/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 演習や実習に主体的に取り組むことができ、看護専門職者としての自己研鑽力の基盤ができている。	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】 基礎看護学実習Ⅱ(2) 生活療養支援実習Ⅰ(1)	【DP4/SBOs2/CP4】	【DP5/SBOs2/CP4】	【DP6/SBOs2/CP4】

		ディプロマ・ポリシー（DP）						
		【DP1】 看護専門職を目指す者として、社会的責務と倫理観を根幹とした幅広い 教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、一人の人間として豊 かな心を身につけている。	【DP2】 看護学の基礎となる学問を理解する専門職業人としての基盤力を養い、 関連職種の機 能を理解し、看護の対象となる人々の利益のために連 携を図ることのできるコミュニ ケーション力を身につけている。	【DP3】 個人、家族、組織、地域社会における人々の健康課題を査定し、基本 的な看護実践を行うための知識・技術・態度を身につけている。	【DP4】 看護を必要とする様々な事象について論理的かつ多面的に理解し、自 らの考えを表現 し、行動する資質と能力を身につけている。	【DP5】 未知の事象に対し、専門的知識や技術力を統合して創造的に課題解決 に取り組むための専門職業人としての基盤力と探究力を身につけている。	【DP6】 看護専門職を目指す者として、責務を果たすために、必要な自己研鑽を 重ねることの意義を理解し、自己開発の方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （ 到達目標・SBOs）	3 年 次	【SBOs3/CP1】 多様性を理解し、自らの考えをもち、論理的かつ建設的に思考する力を身につける。	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】 疫学・保健医療統計学(2)	【DP4/SBOs3/CP1】	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 保健医療福祉関連職の機能や社会の仕組みに関する知識を看護に応用することができる。	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】 関連職種連携ワーク(1)、看護管理学(2)、 <a href="#">リスクマネジメント論</a> 、 <a href="#">救急医療とクリティカルケア看護</a>	【DP4/SBOs3/CP2】 急性期看護学演習(1)、慢性期・回復期看護学演習(1)、高齢者看護学方法論Ⅱ(1)、高齢者看護学演習(1)、小児看護学演習(1)、リプロダクティブヘルス看護学演習(1)、精神看護学演習(1)、地域・在宅看護学演習(1)、地域・在宅看護学方法論Ⅱ(1)、健康教育論(2)、 <a href="#">地域診断論(1)</a> 、 <a href="#">健康危機管理論(1)</a>	【DP5/SBOs3/CP2】	【DP6/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 必要な看護を行うための知識・技術・態度を実習で具体的にを行うことができる。	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】 生活療養支援実習Ⅱ(2)、生活療養支援実習Ⅲ(3)、生活療養支援実習Ⅳ(2)、生活療養支援実習Ⅴ(1)、小児看護学実習(2)、リプロダクティブヘルス看護学実習(2)、精神看護学実習(2)、地域・在宅看護学実習(2)	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 看護に関する未知の事象への興味関心を表現でき、探究活動を開始することができる。	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】 看護研究(2)	【DP5/SBOs3/CP4】	【DP6/SBOs3/CP4】
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 看護専門職者の社会的責務を認識し、倫理観に基づいた看護を行う基盤を固める。	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】 <a href="#">国際看護学</a> 、 <a href="#">災害看護学</a>	【DP4/SBOs4/CP1】 <a href="#">看護管理学演習</a>	【DP5/SBOs4/CP1】 <a href="#">公衆衛生看護管理論(2)</a>	【DP6/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 対象を中心とした保健医療福祉を行うための看護の知識・技術・態度、関連職種と連携を図ることのできるコミュニケーション力を身につける。	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】 <a href="#">関連職種連携実習(1)</a>	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 複雑な健康課題、組織や地域社会の健康関連課題を論理的かつ多面的に理解し、看護するための知識・技術・態度を身につける。	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】 <a href="#">公衆衛生看護学方法論(2)</a> 、 <a href="#">対象別保健活動論Ⅰ(2)</a> 、 <a href="#">対象別保健活動論Ⅱ(1)</a>	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】 <a href="#">公衆衛生看護学実習(4)</a>	【DP6/SBOs4/CP3】 <a href="#">看護学統合特論(1)</a> 、 <a href="#">地域統合看護学実習(3)</a> 、 <a href="#">公衆衛生看護特論(1)</a>
		【SBOs4/CP4】 看護研究を行うための基本的な知識・技術・態度を身につける。	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 <a href="#">看護研究ゼミⅠ(1)</a>	【DP6/SBOs4/CP4】 <a href="#">看護研究ゼミⅡ(1)</a>

保健医療学部 看護学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】



## 8-2 保健医療学部 理学療法学科

### 8-2-1 教育研究上の目的

保健医療学部教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部理学療法学科教育研究上の目的

理学療法学科は、人を深く思いやるこころ「情意」、さまざまな障害に対処できる豊富な「知識」、障害を克服できるよう導く高い「技術」を育み、バランス感覚にも優れた理学療法士の育成を目的とする。

### 8-2-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、理学療法士として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち備え、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための客観的・科学的な分析・判断力を養うことが期待できる人

#### 2. 理学療法学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した基礎知識と技能にあたる語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、コミュニケーション能力、また、理数系科目の修得を通して身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶための積極的な意欲を有し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、学修で得た知識・技能をもとにした客観的な思考力及び理解力、筋道を立てて科学的に考えることができる分析力及び判断力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、理学療法士として「共に生きる社会」の実現

に寄与すべく、地域とのつながりを大切に考えることができ、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持ち、積極的に自ら研鑽し、また相手の立場に立って物事を考え多職種と協調的に連携を図る態度を身につけていること。

### 8-2-3 ディプロマ・ポリシー

---

理学療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。

DP2：理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。

DP3：理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。

DP4：理学療法士を目指す者として、備えた基礎的知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。

DP5：理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。

DP6：理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。

DP7：理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識を追求する方法（研究活動）を身につけている。

#### 8-2-4 カリキュラム・ポリシー

---

理学療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：理学療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な理学療法評価・治療を提供できる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP3：理学療法の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる理学療法士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。



## 8-2-5 教育目標

---

### <1 年次 (SBOs1) >

- CP1：保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する。
- CP2：保健医療福祉に関する基本的知識を修得し、理学療法とのかかわりを理解する。
- CP3：理学療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーションスキルを身につける。
- CP4：多様な学問領域に関心を持ち、主体的な学びを通して、使命感、倫理観、責任感、思いやりの心などの豊かな人間性を獲得する。

### <2 年次 (SBOs2) >

- CP1：保健医療福祉や異文化に関する発展的な基礎知識を修得する。
- CP2：病態に応じた理学療法検査手技を正確に実施できる。
- CP3：データと情報を収集し、適切に管理できる。
- CP4：他者と協働し、チームの一員として貢献できる。

### <3 年次 (SBOs3) >

- CP1：理学療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する。
- CP2：病態に応じた理学療法評価を正確に実施し、一連の治療プログラムを想定できる。
- CP3：収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる。
- CP4：理学療法の発展的な基礎知識を修得し、専門職業人としての倫理観を養い、関連する職種間との連携に貢献できる。

### <4 年次 (SBOs4) >

- CP1：理学療法専門分野および関連領域における知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する。
- CP2：適切な評価を選択・実施できる。また、評価結果から医学的根拠に基づいた一連の治療プログラムを立案し、治療の実施および再評価することができる。
- CP3：臨床的な疑問点を探究し、その解決を図るための研究デザインや研究チームを構築することができる。また、計画に基づいた研究の実施および結果の臨床応用について検討することができる。
- CP4：理学療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる。



## 8-2-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-2-9 授業科目一覧」を参照してください。

### (1) 卒業に必要な単位数【理学療法学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数		
			必 修	選 択	
総合教育科目	人間系			4単位以上	人間系、社会系、 自然・情報系、総合系、 外国語系、保健体育系 から、さらに4単位以上 (2単位以上) ※1
	社会系		1単位	2単位以上	
	自然・情報系		2単位	2単位以上	
	総合系		1単位		
	外国語系		4単位 (5単位) ※1	2単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1	
	保健体育系				
	小 計		8単位 (9単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	8単位	専門教育科目から  12単位以上	
		学科専門基礎	26単位		
		小 計	34単位		
	専門科目		58単位		
	小 計		92単位	12単位以上	
合 計			100単位 (101単位) ※1	26単位以上 (25単位以上または27単位以上) ※1	
総 計			126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※1		

※1 ( ) 内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-2-7 進級条件

### (1) 2 学年から 3 学年への進級条件

2学年までの全必修科目のうち単位未修得科目が2科目以下であること。

### (2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

## 8-2-8 科目履修条件

### (1) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

8-2-9 授業科目一覧（総合教育科目：理学療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30	OP-0101-77C
		演劇論	1	2 3 4	1	15	OP-0102-77C
		心理学	1	2 3 4	2	30	OP-0104-77C
		哲学	1	2 3 4	2	30	OP-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30	OP-0106-77C
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30	OP-0107-77C
		人間学	1	2 3 4	2	30	OP-0108-77C
		歴史学	1	2 3 4	2	30	OP-0109-77C
		倫理学	1	2 3 4	2	30	OP-0110-77C
		宗教学	1	2 3 4	2	30	OP-0111-77C
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30	OP-0112-77C
		文化人類学	1	2 3 4	2	30	OP-0113-77C
		教育学	1	2 3 4	2	30	OP-0114-77B
		教育方法論	1	2 3 4	2	30	OP-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1	2 3 4	2	30	OP-0116-77C
		生きがい論	1	2 3 4	2	30	OP-0117-77C
	社会系	法学	1	2 3 4	2	30	OP-0201-77C
		日本国憲法	1	2 3 4	2	30	OP-0202-77C
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30	OP-0203-77C
		社会学	1	2 3 4	2	30	OP-0206-77C
		日本政治経済論	1	2 3 4	2	30	OP-0207-77C
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30	OP-0208-77C
		福祉経済学	1	2 3 4	2	30	OP-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30	OP-0212-77C
		国際関係論	1	2 3 4	2	30	OP-0223-77C
		世界の経済	1	2 3 4	2	30	OP-0220-77C
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30	OP-0224-77C
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30	OP-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2 3 4	1	30	OP-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3 4	1	45	OP-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2 3 4	1	30	OP-0228-17B
		地球環境論	1	2 3 4	2	30	OP-0229-77C
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30	OP-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30	OP-0231-77C
		手話入門	1	2 3 4	2	30	OP-0232-77C
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30	OP-0218-77C
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30	OP-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1	2 3 4	2	30	OP-0301-77B
		疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30	OP-0304-77C
		数学	1	2 3 4	2	30	OP-0305-77C
		物理学	1	2 3 4	2	30	OP-0306-77C
		化学	1	2 3 4	2	30	OP-0309-77C
		生物学	1	2 3 4	2	30	OP-0312-77C
		コンピュータの基礎	1	2 3 4	2	30	OP-0314-77C
		データリテラシー	1		1	30	OP-0318-17E
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30	OP-0320-82F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30	OP-0321-82F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報	1	2 3 4	1	30	OP-0323-17E
		医学／医療史	1	2 3 4	2	30	OP-0324-77C
		人間工学	1	2 3 4	2	30	OP-0325-77C
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	OP-0401-11E
		郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15	OP-0402-77C
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15	OP-0403-77C
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30	OP-0404-77C
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1	2 3 4	1	15	OP-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2 3 4	1	15	OP-0406-77C
		食と人間	1	2	1	15	OP-0407-71C
		持続可能な発展	1	2 3 4	2	30	OP-0409-77C
		ボランティア実践	1	2 3 4	1	15	OP-0412-77C

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
				必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30		OP-0501-11E
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30		OP-0502-11E
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		OP-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		OP-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30		OP-0505-11E
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30		OP-0506-11E
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		OP-0516-82F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		OP-0517-82F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OP-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OP-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30		OP-0534-70F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30		OP-0535-70F
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30		OP-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		OP-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		OP-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		OP-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		OP-0609-70F
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		OP-0610-70F
		中国語入門	1 2 3 4		1	30		OP-0612-70F
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30		OP-0613-70F
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30		OP-0616-70F
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		OP-0617-70F
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		OP-0701-77F
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30		OP-0702-77F

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

## 8-2-9 授業科目一覧（専門教育科目：理学療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門基礎／ 学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30		OP-1001-77C
	救急医学	2 3	1		15		OP-1002-12B
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		OP-1003-77C
	リハビリテーション概論	1	2		30		OP-1004-11D
	関連職種連携論	2	2		30		OP-1005-22B
	看護論	1		2	30		OP-1022-71C
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15		OP-1006-82C
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15		OP-1007-77C
	医療管理学	1 2 3 4		2	30		OP-1008-77C
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30		OP-1009-77C
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30		OP-1010-77C
	臨床心理学概論	2	2		30		OP-1011-22A
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30		OP-1013-77C
	関連職種連携ワーク	3	1		30		OP-1014-33E
	関連職種連携実習	4		1	45		OP-1015-94H
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		OP-1016-83C
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		OP-1017-82C
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		OP-1018-82C
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		OP-1019-82C
専門教育科目	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1		30		OP-2101-11A
	解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1		30		OP-2105-11A
	解剖学実習Ⅰ（肉眼）	1	1		45		OP-2102-11G
	解剖学実習Ⅱ（組織）	1	1		45		OP-2106-11G
	生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30		OP-2104-11A
	生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30		OP-2109-11A
	生理学実習	1	1		45		OP-2110-11G
	運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30		OP-2103-11A
	運動学Ⅱ（応用）	1	1		30		OP-2107-21A
	運動生理学	1	2		30		OP-2108-11A
	病理学	2	1		30		OP-2201-22A
	臨床医学概論	2	1		30		OP-2202-12A
	内科学Ⅰ（基礎）	2	1		30		OP-2203-12A
	内科学Ⅱ（臨床）	2	1		30		OP-2209-22A
	神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30		OP-2204-12A
	神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30		OP-2210-22A
	整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30		OP-2205-12A
	整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30		OP-2211-22A
	精神医学Ⅰ（総論・各論）	2	1		30		OP-2206-12A
	精神医学Ⅱ（各論）	2		1	30		OP-2213-82C
	運動学実習Ⅰ（基礎）	2	1		45		OP-2111-22D
	運動学実習Ⅱ（応用）	2	1		45		OP-2112-22D
	人間発達学	2	1		30		OP-2113-22A
	リハビリテーション医学	3	1		30		OP-2208-23A
	小児科学	2	1		30		OP-2212-22A
	老年学	2 3 4		1	30		OP-2301-82B
	神経心理学概論	2 3 4		2	30		OP-2304-82C
	臨床薬理学概論	2 3 4	1		15		OP-2207-22A
	スポーツ傷害学	2 3 4		1	15		OP-2305-82C
	外科学	2 3 4		1	15		OP-2302-82C
	栄養学	2 3 4		1	15		OP-2303-82C
専門	パルペーション（運動機能）	1		1	15	PT 基礎	OP-3B08-71F
	理学療法概論	1	2		30	PT 基礎	OP-3G01-11A
	PT スキルⅠ演習（課題発表・PBL）	1	1		30	PT 基礎	OP-3G02-21D
	PT スキルⅡ演習（課題学習・口頭試問）	2	1		30	PT 基礎	OP-3I01-22D
	PT スキルⅢ演習（課題学習）	3	1		30	PT 基礎	OP-3I02-33D
	PT スキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	3	2		60	PT 基礎	OP-3I05-33D
	病態運動学	3	2		30	PT 基礎	OP-3A07-23A
	運動解剖学	2	2		30	PT 基礎	OP-3A01-22A
	バイオメカニクス	1 ② 3 4		1	15	PT 基礎	OP-3A15-87A
	運動心理学	1 2 ③ 4		1	15	PT 基礎	OP-3D05-87C
	スポーツ心理学	1 2 3 ④		1	15	PT 基礎	OP-3D09-87C

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	スポーツ医科学	1 2 ③ 4	1	15	PT 基礎	OP-3D07-87C
		理学療法評価学	2	2	30	PT 評価	OP-3B02-22A
		理学療法診断学Ⅰ（基礎）	2	1	30	PT 評価	OP-3B03-22D
		理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	2	1	30	PT 評価	OP-3B04-22D
		理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）	2	1	15	PT 評価	OP-3B05-22A
		理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	② 3 4	1	15	PT 評価	OP-3B09-82C
		動作分析学	② 3 4	1	15	PT 評価	OP-3B01-82A
		臨床動作分析学	2 ③ 4	1	15	PT 評価	OP-3B10-82C
		運動負荷学	2 ③ 4	1	15	PT 評価	OP-3A12-82C
		理学療法計測法	② 3 4	1	15	PT 評価	OP-3B06-22A
		クリニカルリーディング	2 ③ 4	1	15	PT 評価	OP-3G05-82A
		高次脳機能障害学	2 ③ 4	1	15	PT 評価	OP-3E07-82C
		物理療法学Ⅰ（基礎）	1	1	30	PT 治療	OP-3A04-11A
		物理療法学Ⅱ（応用）	2	1	30	PT 治療	OP-3A09-22A
		運動療法学総論	2	1	30	PT 治療	OP-3A08-22A
		癌のリハビリテーション	2 ③	1	15	PT 治療	OP-3F06-82C
		生活技術学	3	1	30	PT 治療	OP-3A05-23A
		生活環境学	3	1	30	PT 治療	OP-3A10-23D
		義肢学	3	1	30	PT 治療	OP-3A11-23A
		装具学	3	1	30	PT 治療	OP-3A06-23A
		理学療法治療総論	3	1	15	PT 治療	OP-3A03-23A
		運動系理学療法学Ⅰ（基礎）	3	1	30	PT 治療	OP-3C01-23A
		運動系理学療法学Ⅱ（応用）	3	1	30	PT 治療	OP-3C02-23A
		神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）	3	1	30	PT 治療	OP-3E01-23A
		神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）	3	1	30	PT 治療	OP-3E02-23A
		小児理学療法学	3	1	30	PT 治療	OP-3E03-23A
		循環器系理学療法学	3	1	15	PT 治療	OP-3F01-23A
		呼吸器系理学療法学	3	1	15	PT 治療	OP-3F03-23A
		代謝系理学療法学	3	1	15	PT 治療	OP-3F02-23A
		地域理学療法学演習（在宅・地域）	3	1	30	PT 治療	OP-3A02-23D
		急性期理学療法学	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3A14-82C
		スポーツ理学療法学	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3D02-82F
		スポーツ傷害治療学	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3D08-82C
		ヘルスプロモーション論	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3H09-82C
		産科理学療法学	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3H02-82C
		理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3E04-82F
		理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3E05-82F
		理学療法治療学演習Ⅲ（マニユアルセラピー関節）	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3C03-82F
		理学療法治療学演習Ⅳ（マニユアルセラピー脊柱）	2 ③ 4	1	15	PT 治療	OP-3C04-82F
		理学療法治療学演習Ⅴ（マニユアルセラピー徒手）	③ 4	1	15	PT 治療	OP-3C05-83F
		基礎実習	1	1	45	実習	OP-3G03-11G
		検査実習	2	2	90	実習	OP-3I03-22G
		地域リハビリテーション実習	3 4	1	45	実習	OP-3I04-33G
		評価実習	3	4	180	実習	OP-3I06-33G
		総合臨床実習	4	12	540	実習	OP-3I07-34G
		理学療法特論Ⅰ（基礎）	4	2	30	応用 PT	OP-3I09-34A
		理学療法特論Ⅱ（応用）	2 3 ④	2	30	応用 PT	OP-3I10-62A
		理学療法研究法	2 3 ④	1	15	応用 PT	OP-3G06-82A
		理学療法教育学	2 ③ 4	1	15	応用 PT	OP-3G10-82C
		理学療法統計法	4	1	15	応用 PT	OP-3G07-84C
		理学療法管理学	2 ③ 4	2	30	応用 PT	OP-3G04-22A
		障害者スポーツ概論	2 ③ 4	1	15	応用 PT	OP-3D03-82C
		ジャーナルリーディング	2 ③ 4	1	15	応用 PT	OP-3G11-82C
		理学療法国際事情	1 2 ③ 4	1	15	応用 PT	OP-3H08-87C
		卒業研究	4	4	180	応用 PT	OP-3G08-94J

※ 授業を行う年次の○印は、その年次の履修を原則とする。

専門科目間のつながりや国試基準と科目との対応関係を理解するために、以下の資料も参照すること。

**理学療法専門科目における階層性**

**国家試験基準（令和6年度基準）との科目との対比表**

保健医療学部理学療法学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2025(令和7)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー（DP）							
		【DP1】 理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	【DP2】 理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。	【DP3】 理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。	【DP4】 理学療法士を目指す者として、備えた基礎的知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。	【DP5】 理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。	【DP6】 理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。	【DP7】 理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識の追求（研究活動）へ新しい知識を追求する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （到達目標・SBOs）	1 年 次	【SBOs1/CP1】 ①保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する	【DP1/SBOs1/CP1】 英語講読1(Primary)、英語講読2(Basic)、英語CALL1(Primary)、英語CALL2(Basic)、リハビリテーション概論、データリテラシー  英語会話1(Primary)、英語会話2(Basic)、聖書英語1(Primary)、聖書英語2(Basic)、医学英語1(Primary)、医学英語2(Basic)、英語リスニング1(Primary)、英語リスニング2(Basic)、英語ライティング1(Primary)、英語ライティング2(Basic)、英語医療通訳入門1(Primary)、英語医療通訳入門2(Basic)、資格英語1(Primary)、資格英語2(Basic)、基礎英文法1(Primary)、基礎英文法2(Basic)、上級英語会話1(発展)、上級英語会話2(総合)、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、文学論、演劇論、心理学、哲学、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、組織運営管理論、地球環境論、経済の仕組み、経済の歴史、統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、食と人間、持続可能な発展	【DP2/SBOs1/CP1】 解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）、解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）、解剖学実習Ⅰ（肉眼）、解剖学実習Ⅱ（組織）、生理学Ⅰ（植物性機能）、生理学Ⅱ（動物性機能）、生理学実習、運動学Ⅰ（基礎）、運動学Ⅱ（応用）	【DP3/SBOs1/CP1】 コミュニケーション概論、雑談と傾聴～話す力と聴く力～、教育学、教育方法論	【DP4/SBOs1/CP1】 運動学Ⅰ（基礎）、運動学Ⅱ（応用）	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】
		【SBOs1/CP2】 ②保健医療福祉に関する基本的知識を修得し、理学療法とのかかわりを理解する	【DP1/SBOs1/CP2】 理学療法概論、我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、医療必修－医療の倫理とプロ意識・医療情報－  死生学－死を通して生を考える－、生きがい論、福祉経済学、国際医療福祉論、疫学・保健医療統計学、医学／医療史、人間工学	【DP2/SBOs1/CP2】 運動生理学、物理療法学Ⅰ（基礎）  バルベーション（運動機能）、公衆衛生学、微生物と病気、看護論、ケースワーク論、医療管理理学、保健医療福祉制度論、社会福祉学、福祉支援工学概論	【DP3/SBOs1/CP2】 理学療法概論	【DP4/SBOs1/CP2】 運動生理学、物理療法学Ⅰ（基礎）	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 ③理学療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーションスキルを身につける	【DP1/SBOs1/CP3】 基礎実習	【DP2/SBOs1/CP3】 健康科学理論、健康科学実践	【DP3/SBOs1/CP3】 基礎実習  手話入門、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門	【DP4/SBOs1/CP3】 PTスキルⅠ 演習（課題発表・PBL）	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 ④多様な学問領域に関心を持ち、主体的な学びを通して、使命感、倫理観、責任感、思いやりの心などの豊かな人間性を獲得する	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座－医療人・社会人として成長するために－  郷土論～栃木学～、総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う、総合講義（現代社会をどう見るか）	【DP2/SBOs1/CP4】 基礎実習	【DP3/SBOs1/CP4】 PTスキルⅠ 演習（課題発表・PBL）  ボランティア論、ボランティアコーディネート論、ボランティア実践	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】	【DP7/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 ①保健医療福祉や異文化に関する発展的な基礎知識を修得する	【DP1/SBOs2/CP1】 英語講読3(Intermediate)、英語講読4(Advanced)、英語会話3(Intermediate)、英語会話4(Advanced)、医療データサイエンスⅠ(DS基礎)、医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP2/SBOs2/CP1】 救急医学、臨床心理学概論、病理学、臨床医学概論、内科学Ⅰ（基礎）、内科学Ⅱ（臨床）、神経学Ⅰ（基礎）、神経学Ⅱ（臨床）、整形外科Ⅰ（基礎）、整形外科Ⅱ（臨床）、精神医学Ⅰ（総論・各論）、人間発達学、小児科学、臨床薬理学概論  精神医学Ⅱ（各論）、老年学、神経心理学概論、スポーツ傷害学、外科学、栄養学	【DP3/SBOs2/CP1】 人間発達学  海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ	【DP4/SBOs2/CP1】 人間発達学	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 ②病態に応じた理学療法検査手技を正確に実施できる	【DP1/SBOs2/CP2】	【DP2/SBOs2/CP2】 理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）、理学療法計測法 ケアマネジメント論	【DP3/SBOs2/CP2】 PTスキルⅡ 演習（課題学習・口頭試問）、運動解剖学、理学療法診断学Ⅰ（基礎）、理学療法診断学Ⅱ（疾患編）	【DP4/SBOs2/CP2】 PTスキルⅡ 演習（課題学習・口頭試問）、運動解剖学、理学療法評価学、理学療法診断学Ⅰ（基礎）、理学療法診断学Ⅱ（疾患編）、理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価学を含む）、理学療法計測法  理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	【DP5/SBOs2/CP2】 理学療法評価学、理学療法診断学Ⅰ（基礎）、理学療法診断学Ⅱ（疾患編）  動作分析学	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 ③データと情報を収集し、適切に管理できる	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】 検査実習	【DP3/SBOs2/CP3】 物理療法学Ⅱ（応用）、運動療法学総論	【DP4/SBOs2/CP3】 運動学実習Ⅰ（基礎）、運動学実習Ⅱ（応用）、物理療法学Ⅱ（応用）、運動療法学総論  エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）、バイオメカニクス	【DP5/SBOs2/CP3】 運動学実習Ⅰ（基礎）	【DP6/SBOs2/CP3】 電子カルテシステム入門	【DP7/SBOs2/CP3】 運動学実習Ⅱ（応用）  動作分析学、バイオメカニクス、エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）
		【SBOs2/CP4】 ④他者と協働し、チームの一員として貢献できる	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】 検査実習、関連職種連携論  レクリエーション概論	【DP4/SBOs2/CP4】 検査実習	【DP5/SBOs2/CP4】	【DP6/SBOs2/CP4】 関連職種連携論	【DP7/SBOs2/CP4】



		ディプロマ・ポリシー（DP）							
		【DP1】 理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	【DP2】 理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。	【DP3】 理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。	【DP4】 理学療法士を目指す者として、備えた基礎的知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。	【DP5】 理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。	【DP6】 理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。	【DP7】 理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識の追求（研究活動）へ新しい知識を追求する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （到達目標・SBOs）	3 年 次	【SBOs3/CP1】 ①理学療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 リスクマネジメント論、運動心理学	【DP3/SBOs3/CP1】 障害者スポーツ概論	【DP4/SBOs3/CP1】 リハビリテーション医学  スポーツ医科学	【DP5/SBOs3/CP1】 臨床動作分析学、運動負荷学	【DP6/SBOs3/CP1】 障害者スポーツ概論、スポーツ医科学	【DP7/SBOs3/CP1】 臨床動作分析学、ジャーナルリーディング、理学療法国際事情
		【SBOs3/CP2】 ②病態に応じた理学療法評価を正確に実施し、一連の治療プログラムを想定できる	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】 生活技術学、生活環境学、義肢学、装具学、運動系理学療法学Ⅰ（基礎）、運動系理学療法学Ⅱ（応用）、神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）、神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）、小児理学療法学、循環器系理学療法学、呼吸器系理学療法学、代謝系理学療法学、地域理学療法学演習（在宅・地域）	【DP5/SBOs3/CP2】 生活技術学、生活環境学、義肢学、装具学、運動系理学療法学Ⅰ（基礎）、運動系理学療法学Ⅱ（応用）、神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）、神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）、小児理学療法学、循環器系理学療法学、呼吸器系理学療法学、代謝系理学療法学、地域理学療法学演習（在宅・地域）  高次脳機能障害学	【DP6/SBOs3/CP2】 生活技術学、生活環境学、義肢学、装具学、運動系理学療法学Ⅰ（基礎）、運動系理学療法学Ⅱ（応用）、神経系理学療法学Ⅰ（脳血管）、神経系理学療法学Ⅱ（神経筋）、小児理学療法学、循環器系理学療法学、呼吸器系理学療法学、代謝系理学療法学、地域理学療法学演習（在宅・地域）	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 ③収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】 地域リハビリテーション実習  理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）、理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	【DP4/SBOs3/CP3】 病態運動学  理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）、理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）、産科理学療法学	【DP5/SBOs3/CP3】 PTスキルⅢ演習（課題学習）、PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）、病態運動学、理学療法治療総論  クリニカルリーズニング、癌のリハビリテーション、急性期理学療法学、スポーツ理学療法学、スポーツ傷害治療学、ヘルスプロモーション論、産科理学療法学、理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学）、理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）、理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節）、理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱）、理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手）	【DP6/SBOs3/CP3】 理学療法治療総論、地域リハビリテーション実習、評価実習  産科理学療法学、急性期理学療法学	【DP7/SBOs3/CP3】 スポーツ医科学、運動負荷学、運動心理学
		【SBOs3/CP4】 ④理学療法の発展的な基礎知識を修得し、専門職業人としての倫理観を養い、関連する職種間との連携に貢献できる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】 PTスキルⅢ演習（課題学習）、PTスキルⅣ演習（口頭試問・OSCE・CBT）	【DP4/SBOs3/CP4】 評価実習	【DP5/SBOs3/CP4】 評価実習、地域リハビリテーション実習、関連職種連携ワーク、理学療法管理学	【DP6/SBOs3/CP4】 リハビリテーション医学、関連職種連携ワーク、理学療法管理学  理学療法教育学	【DP7/SBOs3/CP4】
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 ①理学療法専門分野および関連領域における知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】 理学療法特論Ⅰ（基礎） スポーツ心理学、理学療法特論Ⅱ（応用）	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 理学療法特論Ⅰ（基礎）	【DP5/SBOs4/CP1】 理学療法特論Ⅱ（応用）	【DP6/SBOs4/CP1】 地域リハビリテーション実習	【DP7/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 ②適切な評価を選択・実施できる。また、評価結果から医学的根拠に基づいた一連の治療プログラムを立案し、治療の実施および再評価することができる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】 総合臨床実習	【DP7/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 ③臨床的な疑問点を探求し、その解決を図るための研究デザインや研究チームを構築することができる。また、計画に基づいた研究の実施および結果の臨床応用について検討することができる	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】 卒業研究、理学療法研究法、理学療法統計法	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】 卒業研究、理学療法研究法、理学療法統計法、スポーツ心理学
		【SBOs4/CP4】 ④理学療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 総合臨床実習	【DP6/SBOs4/CP4】 関連職種連携実習	【DP7/SBOs4/CP4】 総合臨床実習 関連職種連携実習

## 保健医療学部 理学療法学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】

## ディプロマポリシー

DP1：理学療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。

DP2：理学療法士を目指す者として、理学療法を提供するために必要な基礎的な知識を身につけている。

DP3：理学療法士を目指す者として、基礎的な学力を養い、多様性を受け入れ、適切なマナーと円滑なコミュニケーションによって豊かな対人関係を築き、他者への共感的態度を身につけている。

DP4：理学療法士を目指す者として、備えた基礎的知識を理学療法場面に当てはめて客観的・科学的に分析でき、基礎的な理学療法技術を身につけている。

DP5：理学療法士を目指す者として、様々な状況において備えた高度な専門的知識や技術力を統合して、的確な判断に基づく問題解決能力を身につけている。

DP6：理学療法士を目指す者として、効果的な多職種連携のために、自職種および他職種を理解し、チームの一員としての役割が果たせる。

DP7：理学療法士を目指す者として、自身の更なる発展のため、生涯学習を行うことの重要性を認識し、理学療法分野における新しい知識を追求する方法

## カリキュラムポリシー

CP1：理学療法と関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な理学療法評価・治療を提供できる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP3：理学療法士の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる理学療法士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる理学療法士を育成するための科目を設定する。

科目分類の学修・教育目標		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育	総合教育	人間系(文学論、演劇論、心理学、哲学、コミュニケーション概論、雑誌と傾聴～話す力と聴く力へ、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学-死を通して生を考える、生きがい論) 社会系(法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ、我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史) 自然・情報系(統計学、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、データリテラシー、医療データサイエンスⅠ（DS基礎）、医療データサイエンスⅡ（AI基礎）、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報・医学/医療史、人工工学) 総合系(大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-、郷土論～栃木学へ、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門、総合講義－超高齢社会で認知症と向き合うー、総合講義（現代社会をどう見るか）、食と人間、持続可能な発展、ボランティア実践) 外国語系(英語講読1（Primary）、英語講読2（Basic）、英語講読3（Intermediate）、英語講読4（Advanced）、英語CALL1（Primary）、英語CALL2（Basic）、英語会話1（Primary）、英語会話2（Basic）、英語会話3（Intermediate）、英語会話4（Advanced）、聖書英語1（Primary）、聖書英語2（Basic）、医学英語1（Primary）、医学英語2（Basic）、英語リスニング1（Primary）、英語リスニング2（Basic）、英語ライティング1（Primary）、英語ライティング2（Basic）、英語医療通訳入門1（Primary）、英語医療通訳入門2（Basic）、資格英語1（Primary）、資格英語2（Basic）、基礎英文法1（Primary）、基礎英文法2（Basic）、上級英語会話1（発展）、上級英語会話2（総合）、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、作文・読解Ⅰ（入門）、作文・読解Ⅱ（応用）、作文・読解Ⅲ（完成）、文法・語彙Ⅰ（入門）、文法・語彙Ⅱ（応用）、文法・語彙Ⅲ（完成）、発表・討論Ⅰ（応用）、発表・討論Ⅱ（完成）、医療福祉専門漢字、医療福祉専門語彙、日本語基礎Ⅰ（初級）、日本語基礎Ⅱ（初級）) 保健体育系(健康科学理論、健康科学実践)							
	専門基礎/学部共通	リハビリテーション概論 保健医療福祉制度論^ 社会福祉学	医療管理学 福祉支援工学概論 ケースワーク論 微生物と病気 看護論 公衆衛生学	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献） <sup>C1</sup>	ケアマネジメント論 救急医学 電子カルテシステム入門 臨床心理学概論 関連職種連携論	リスクマネジメント論 レクリエーション概論 関連職種連携ワーク	関連職種連携実習		
専門基礎	基礎医学	解剖学Ⅰ（運動器系・内臓器系） 解剖学実習Ⅰ（内眼） 運動学Ⅰ（基礎） 生理学Ⅰ（植物性機能）	解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系） 解剖学実習Ⅱ（組織） 運動学Ⅱ（応用） 運動生理学 生理学Ⅱ（動物性機能） 生理学実習	運動学実習Ⅰ	運動学実習Ⅱ 人間発達学				
	臨床医学			小児科学 病理学 臨床医学概論 内科学Ⅰ（基礎） 神経学Ⅰ（基礎） 整形外科Ⅰ（基礎） 精神医学Ⅰ（総論・各論） 臨床薬理学概論 栄養学 老年学 外科学 スポーツ傷害学	内科学Ⅱ（臨床） 神経学Ⅱ（臨床） 整形外科Ⅱ（臨床） 精神医学Ⅱ（各論） 救急医学 神経心理学概論	リハビリテーション医学			
	関連医学	リハビリテーション概論							
専門	理学療法治療基礎科目		物理療法学Ⅰ	運動解剖学 物理療法学Ⅱ	運動療法学総論	生活技術学 装具学 病態運動学 理学療法治療総論 急性期理学療法学 運動負荷学 臨床動作分析学	生活環境学 義肢学 地域理学療法学演習（在宅・地域）		
	理学療法評価基礎科目		バルベージョン（運動機能）	理学療法評価学 理学療法診断学Ⅰ（基礎） 理学療法診断学Ⅲ（神経・画像評価） 理学療法診断学Ⅳ（電気診断学）	理学療法計測法 理学療法法診断学Ⅱ（神経診断学） 動作分析学				
	運動系理学療法科目					運動系理学療法学Ⅰ 理学療法治療学演習Ⅲ（マニュアルセラピー関節） 理学療法治療学演習Ⅳ（マニュアルセラピー脊柱） スポーツ医科学 障害者スポーツ概論	運動系理学療法学Ⅱ		
	スポーツ理学療法科目				バイオメカニクス		スポーツ理学療法学 スポーツ傷害治療学	スポーツ心理学	
	神経系理学療法科目					神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 小児理学療法学 理学療法治療学演習Ⅰ（神経筋促進治療学） 高次脳機能障害学 循環器系理学療法学 代謝系理学療法学 理学療法管理学 理学療法教育学	運動心理学 理学療法治療学演習Ⅴ（マニュアルセラピー徒手） 理学療法治療学演習Ⅱ（神経発達学的治療学）		
	内部障害系理学療法科目						呼吸器系理学療法学 癌のリハビリテーション ジャーナルリーディング クリニカルリーズニング		
	キャリアデザイン系科目、 理学療法研究科目	理学療法概論 基礎実習	PTスキルⅠ演習				ヘルスプロモーション論 産科理学療法学 理学療法国際事情	卒業研究 理学療法研究方法 理学療法統計法	
国際系科目、多職種連携・理 学療法学際領域科目				PTスキルⅡ演習（課題学習・口頭試問） 検査実習	PTスキルⅢ演習（課題学習） 評価実習		総合臨床実習 地域リハビリテーション実習	理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ	
理学療法演習・実習科目、 国家試験対策科目									

	: 必修科目
	: 選択科目

: 臨床實習



## 8-3 保健医療学部 作業療法学科

### 8-3-1 教育研究上の目的

保健医療学部教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部作業療法学科教育研究上の目的

作業療法学科は、高度で幅広い知識と技術を修得し、一人ひとりのニーズに応えられる柔軟性と応用力を身に付け、現状を科学的に分析し、変化にも機敏に対応できる作業療法士の育成を目的とする。

### 8-3-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、作業療法士として、豊かな人間性と自己研鑽の意欲を兼ね備え、日々進化する保健・医療・福祉分野に対応し、他者と協働しながら課題解決する力を養うことが期待できる人

#### 2. 作業療法学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

高等学校までの教科・科目やボランティア活動・課外活動を通して、作業療法とその関連領域についての学修を主体的かつ協調的に展開できる、基礎的な知識と技能を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野の課題解決に対して強い関心を持ち、論理的に思考・分析・判断し実行する力と他者との協働の基礎となるコミュニケーション能力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

「共に生きる社会」の実現に貢献したいという強い意志を持ち、他者を尊重し思いやる豊かな人間性、物事に対して誠実に向き合う態度を身につけていること。

### 8-3-3 ディプロマ・ポリシー

---

作業療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。

DP2：作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種の機能を理解し連携を図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。

DP3：作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治療的応用（Therapeutic Use of Self）を身につけている。

DP4：作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。

DP5：作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組む力を身につけている。

DP6：作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている。

#### 8-3-4 カリキュラム・ポリシー

---

作業療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：作業療法分野の基礎知識を体系的に理解するとともに、多様な背景を持つ人々の生活や価値観を大切にし、社会生活を支える作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、保健・医療・福祉の発展に寄与するため、人々の個別性に着目しながら科学的・創造的探究ができる作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP3：多様な人々と協働していくために必要なコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を社会の中で汎用的に活用できる作業療法士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽できる専門職業人としての高い倫理観を有し、人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重できる作業療法士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

### 8-3-5 教育目標

---

#### <1 年次 (SBOs1) >

CP1：作業療法を含む保健医療福祉領域とその関連領域に関する基本的知識を修得する。

CP2：人々や社会とのかかわりにおける作業療法の役割を理解する。

CP3：作業療法学生として大学生活を送るにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：大学生として保健医療福祉領域の学修を進めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。

#### <2 年次 (SBOs2) >

CP1：作業療法専門分野および関連領域における基礎的知識を修得する。

CP2：生活機能に応じた作業療法のかかわりを理解できる。

CP3：作業療法分野の専門教育を深めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：作業療法学生として専門教育を深めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。

#### <3 年次 (SBOs3) >

CP1：作業療法専門分野および関連領域における応用的な知識を修得する。

CP2：生活機能に応じた作業療法評価を実施できる。

CP3：作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な態度・志向性を身につける。

#### <4 年次 (SBOs4) >

CP1：作業療法専門分野およびその関連領域における発展的な知識を修得する。

CP2：生活機能に応じた作業療法による治療・訓練・支援を提供できる。

CP3：作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。

CP4：作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。



### 8-3-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-3-9 授業科目一覧」を参照してください。

#### (1) 卒業に必要な単位数【作業療法学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数		
			必 修	選 択	
総合教育科目	人間系			4単位以上	人間系、社会系、 自然・情報系、総合系、 外国語系、保健体育系 から、さらに6単位以上 (4単位以上) ※1
	社会系		1単位	2単位以上	
	自然・情報系		2単位		
	総合系		1単位		
	外国語系		4単位 (5単位) ※1	2単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1	
	保健体育系				
	小 計		8単位 (9単位) ※1	14単位以上 (13単位以上または15単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	10単位	専門教育科目から  10単位以上	
		学科専門基礎	23単位		
		小 計	33単位		
	専門科目		61単位		
	小 計		94単位	10単位以上	
合 計			102単位 (103単位) ※1	24単位以上 (23単位以上または25単位以上) ※1	
総 計			126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※1		

※1 （ ）内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

### 8-3-7 進級条件

#### (1) 2 学年から 3 学年への進級条件

2学年までの全必修科目のうち単位未修得科目が4科目以下であること。

#### (2) 3 学年から 4 学年への進級条件

3学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

### 8-3-8 科目履修条件

---

(1) 外国語系科目に関する選択科目の履修条件

英語科目またはその他の外国語科目の中から 2 単位以上を履修すること。

(2) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-3-9 授業科目一覧（総合教育科目：作業療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30	00-0101-77C
		演劇論	1	2 3 4	1	15	00-0102-77C
		心理学	1	2 3 4	2	30	00-0104-77C
		哲学	1	2 3 4	2	30	00-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30	00-0106-77C
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30	00-0107-77C
		人間学	1	2 3 4	2	30	00-0108-77C
		歴史学	1	2 3 4	2	30	00-0109-77C
		倫理学	1	2 3 4	2	30	00-0110-77C
		宗教学	1	2 3 4	2	30	00-0111-77C
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30	00-0112-77C
		文化人類学	1	2 3 4	2	30	00-0113-77C
		教育学	1	2 3 4	2	30	00-0114-77C
		教育方法論	1	2 3 4	2	30	00-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1	2 3 4	2	30	00-0116-77C
		生きがい論	1	2 3 4	2	30	00-0117-77C
	社会系	法学	1	2 3 4	2	30	00-0201-77C
		日本国憲法	1	2 3 4	2	30	00-0202-77C
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30	00-0203-77C
		社会学	1	2 3 4	2	30	00-0206-77C
		日本政治経済論	1	2 3 4	2	30	00-0207-77C
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30	00-0208-77C
		福祉経済学	1	2 3 4	2	30	00-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30	00-0212-77C
		国際関係論	1	2 3 4	2	30	00-0223-77C
		世界の経済	1	2 3 4	2	30	00-0220-77C
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30	00-0224-77C
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30	00-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2 3 4	1	30	00-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3 4	1	45	00-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2 3 4	1	30	00-0228-17B
		地球環境論	1	2 3 4	2	30	00-0229-77C
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30	00-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30	00-0231-77C
		手話入門	1	2 3 4	2	30	00-0232-77C
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30	00-0218-77C
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30	00-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1	2 3 4	2	30	00-0301-77C
		疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30	00-0304-77C
		数学	1	2 3 4	2	30	00-0305-77C
		物理学	1	2 3 4	2	30	00-0306-77C
		化学	1	2 3 4	2	30	00-0309-77C
		生物学	1	2 3 4	2	30	00-0312-77C
		コンピュータの基礎	1	2 3 4	2	30	00-0314-77C
		データリテラシー	1	2 3 4	1	30	00-0318-17E
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30	00-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30	00-0321-72F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報	1	2 3 4	1	30	00-0323-17B
		医学／医療史	1	2 3 4	2	30	00-0324-77C
		人間工学	1	2 3 4	2	30	00-0325-77C
	総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために	1		1	30	00-0401-11B
		郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15	00-0402-77C
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15	00-0403-77C
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30	00-0404-77C
		総合講義～超高齢社会で認知症と向き合う～	1	2 3 4	1	15	00-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2 3 4	1	15	00-0406-77C
		食と人間	1	2	1	15	00-0407-71C
		持続可能な発展	1	2 3 4	2	30	00-0409-77C
		ボランティア実践	1	2 3 4	1	15	00-0412-77I



授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1		30		OO-0501-11E
		英語講読 2 (Basic)	1		30		OO-0502-11E
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		OO-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		OO-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30		OO-0505-11E
		英語 CALL2 (Basic)	1	1	30		OO-0506-11E
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		OO-0516-82F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		OO-0517-82F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OO-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OO-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30		OO-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30		OO-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30		OO-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		OO-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		OO-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		OO-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		OO-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		OO-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4	1	30		OO-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30		OO-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30		OO-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		OO-0617-70C
	保健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		OO-0701-77C
	体育系	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		OO-0702-77I

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

## 8-3-9 授業科目一覧（専門教育科目：作業療法学科）

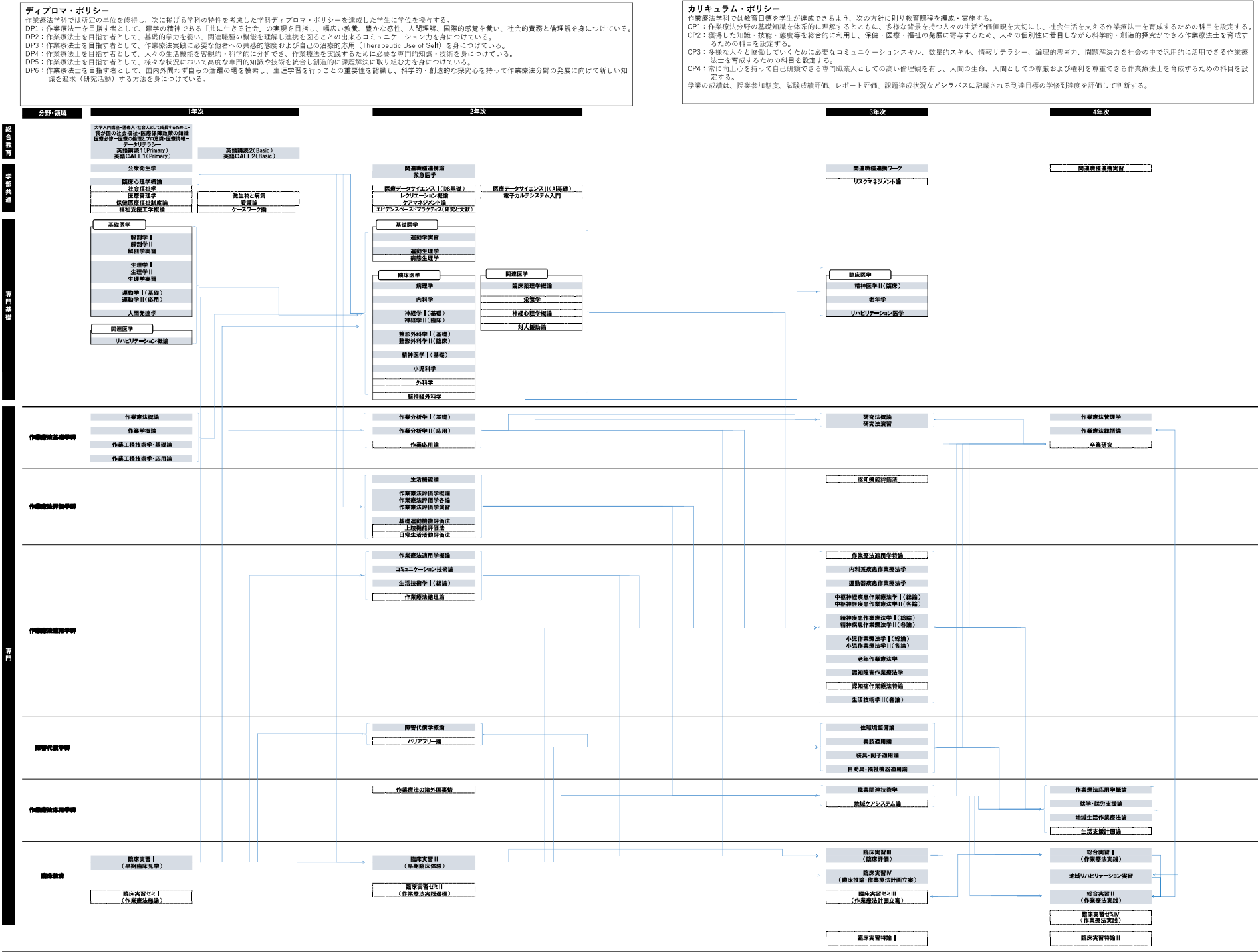
授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育／学部共通	公衆衛生学	1 2 3	2		30		OO-1001-17A
	救急医学	2 3	1		15		OO-1002-12A
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		OO-1003-77C
	リハビリテーション概論	1 2 3	2		30		OO-1004-17A
	関連職種連携論	2	2		30		OO-1005-12A
	看護論	1		2	30		OO-1022-71C
	ケアマネジメント論	2 3 4	1		15		OO-1006-72C
	ケースワーク論	1 2 3 4	1		15		OO-1007-77C
	医療管理学	1 2 3 4	2		30		OO-1008-77C
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4	2		30		OO-1009-77C
	社会福祉学	1 2 3 4	2		30		OO-1010-77C
	臨床心理学概論	1 2 3	2		30		OO-1011-17A
	福祉支援工学概論	1 2 3 4	2		30		OO-1013-77C
	関連職種連携ワーク	3	1		30		OO-1014-13D
	関連職種連携実習	4	1		45		OO-1015-74H
	リスクマネジメント論	3 4	2		30		OO-1016-73C
	電子カルテシステム入門	2 3 4	1		15		OO-1017-72C
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4	1		15		OO-1018-72C
	レクリエーション概論	2 3 4	1		15		OO-1019-72C
専門教育科目	解剖学Ⅰ（運動器系、循環器系）	1	1		30		OO-2101-11A
	解剖学Ⅱ（内臓学、神経系、感覚器系）	1	1		30		OO-2102-11A
	解剖学実習	1	1		45		OO-2103-11G
	生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1		30		OO-2104-11A
	生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1		30		OO-2105-11A
	生理学実習	1	1		45		OO-2106-11G
	運動学Ⅰ（基礎）	1	1		30		OO-2107-11A
	運動学Ⅱ（応用）	1	1		30		OO-2108-11A
	運動学実習	2	1		45		OO-2109-22G
	運動生理学	2	1		30		OO-2110-22A
	病理学	2	1		30		OO-2201-22A
	内科学	2	1		30		OO-2202-22A
	神経学Ⅰ（基礎）	2	1		30		OO-2203-22A
	神経学Ⅱ（臨床）	2	1		30		OO-2204-22A
	整形外科Ⅰ（基礎）	2	1		30		OO-2205-22A
	整形外科Ⅱ（臨床）	2	1		30		OO-2206-22A
	精神医学Ⅰ（基礎）	2	1		30		OO-2207-22A
	精神医学Ⅱ（臨床）	3	1		30		OO-2208-23A
	小児科学	2	1		30		OO-2209-22A
	老年学	3	1		30		OO-2210-23A
	リハビリテーション医学	3	1		30		OO-2211-23A
	人間発達学	1	1		30		OO-2111-11A
	病態生理学	2		1	15		OO-2112-82C
	臨床薬理学概論	2	1		15		OO-2301-22A
	栄養学	2		1	15		OO-2302-82C
	外科学	2		1	15		OO-2212-82C
	脳神経外科学	2		1	15		OO-2213-82C
	神経心理学概論	2		1	15		OO-2303-82C
	対人援助論	2 3 4		1	15		OO-2304-82C
専門	作業療法概論	1	1		15	作業療法基礎学群	OO-3A01-11A
	作業学概論	1	1		15	〃	OO-3A02-11A
	作業工程技術学・基礎論	1	1		30	〃	OO-3A03-11D
	作業工程技術学・応用論	1	1		30	〃	OO-3A04-11D
	作業分析学Ⅰ（基礎）	2	1		30	〃	OO-3A05-12A
	作業分析学Ⅱ（応用）	2	1		30	〃	OO-3A06-12A
	作業応用論	2 3 4		1	30	〃	OO-3A07-72F
	研究法概論	3	1		15	〃	OO-3A08-13A
	研究法演習	3	1		30	〃	OO-3A09-13D
	卒業研究	4		1	30	〃	OO-3A10-94L
	作業療法管理学（倫理・管理）	4	1		15	〃	OO-3A11-14A
	作業療法総括論	4	1		30	〃	OO-3A12-34A

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	作業療法評価学概論	2	1	15	作業療法評価学群	OO-3B01-22A
		作業療法評価学各論	2	1	30	〃	OO-3B02-22A
		作業療法評価学演習	2	1	30	〃	OO-3B03-22D
		基礎運動機能評価法	2	1	30	〃	OO-3B04-22D
		生活機能論	2	1	30	〃	OO-3B05-22A
		上肢機能評価法	2	1	15	〃	OO-3B06-82C
		日常生活活動評価法	2	1	15	〃	OO-3B07-82C
		認知機能評価法	3	1	15	〃	OO-3B08-83C
		作業療法諸理論	2 3 4	1	15	作業療法適用学群	OO-3C01-82C
		作業療法適用学概論	2	1	15	〃	OO-3C02-32A
		コミュニケーション技術論	2	1	30	〃	OO-3C17-32A
		内科系疾患作業療法学	3	1	30	〃	OO-3C03-33A
		生活技術学Ⅰ（総論）	2	1	30	〃	OO-3C15-32A
		生活技術学Ⅱ（各論）	3	1	30	〃	OO-3C16-33A
		運動器疾患作業療法学	3	1	30	〃	OO-3C04-33A
		中枢神経疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1	30	〃	OO-3C05-33A
		中枢神経疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1	30	〃	OO-3C06-33A
		精神疾患作業療法学Ⅰ（総論）	3	1	30	〃	OO-3C07-33A
		精神疾患作業療法学Ⅱ（各論）	3	1	30	〃	OO-3C08-33A
		小児作業療法学Ⅰ（総論）	3	1	30	〃	OO-3C09-33A
		小児作業療法学Ⅱ（各論）	3	1	30	〃	OO-3C10-33A
		老年作業療法学	3	1	30	〃	OO-3C11-33A
		認知障害作業療法学	3	1	30	〃	OO-3C12-33A
		認知症作業療法特論	3	1	15	〃	OO-3C13-93C
		作業療法適用学特論	3	1	15	〃	OO-3C14-93C
		作業療法応用学概論	4	1	15	作業療法応用学群	OO-3E01-34A
		就学・就労支援論	4	1	15	〃	OO-3E02-34A
		職業関連技術学	3	1	30	〃	OO-3E03-33A
		作業療法の諸外国事情	2 3 4	1	15	〃	OO-3E04-92C
		地域生活作業療法論	4	1	30	〃	OO-3E05-34A
		地域ケアシステム論	3 4	1	15	〃	OO-3E06-93C
		生活支援計画論	4	1	15	〃	OO-3E07-93C
		障害代償学概論	2	1	15	障害代償学群	OO-3D01-32A
		義肢適用論	3	1	15	〃	OO-3D02-33A
		装具・副子適用論	3	1	30	〃	OO-3D03-33A
		自助具・福祉機器適用論	3	1	30	〃	OO-3D04-33A
		住環境整備論	3	1	15	〃	OO-3D05-33A
		バリアフリー論	2 3 4	1	15	〃	OO-3D06-92C
		臨床実習特論Ⅰ（OSCE）	3	1	15	臨床教育	OO-3F01-93F
		臨床実習特論Ⅱ（OSCE）	4	1	15	〃	OO-3F02-94F
		臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	1	1	45	〃	OO-3F03-31G
		臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	2	1	45	〃	OO-3F04-32G
		臨床実習Ⅲ（臨床評価）	3	3	135	〃	OO-3F05-33G
		臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	3	5	225	〃	OO-3F06-33G
		総合実習Ⅰ（作業療法実践）	4	6	270	〃	OO-3F07-34G
		総合実習Ⅱ（作業療法実践）	4	6	270	〃	OO-3F08-34G
		地域リハビリテーション実習	4	1	45	〃	OO-3F09-34G
		臨床実習ゼミⅠ（作業療法総論）	1	1	15	〃	OO-3F10-91F
		臨床実習ゼミⅡ（作業療法実践過程）	2	1	15	〃	OO-3F11-92F
		臨床実習ゼミⅢ（作業療法計画立案）	3	1	15	〃	OO-3F12-93F
		臨床実習ゼミⅣ（作業療法実践）	4	1	15	〃	OO-3F13-94F

		ディプロマ・ポリシー（DP）						
		【DP1】 作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	【DP2】 作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種の機能を理解し連携を図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。	【DP3】 作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治療的応用（Therapeutic Use of Self）を身につけている。	【DP4】 作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。	【DP5】 作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組む力を身につけている。	【DP6】 作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （ 到達目標・SBOs）	1 年 次	【SBOs1/CP1】 作業療法を含む保健医療福祉領域とその関連領域に関する基本的知識を修得する。	【DP1/SBOs1/CP1】 公衆衛生学 微生物と病気、保健医療福祉制度論 文学論、演劇論、心理学、哲学、コミュニケーション概論、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、死生学、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、統計学、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、データリテラシー、医学／医療史、人間工学、郷土論～栃木学～、医療福祉教養講義、メディカルマナー入門、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-、総合講義（現代社会をどう見るか）、食と人間、持続可能な発展、英語講読ほか（語学）、健康科学理論、健康科学実践、ボランティア実践	【DP2/SBOs1/CP1】 看護論、ケースワーク論、医療管理学、社会福祉学	【DP3/SBOs1/CP1】 臨床心理学概論	【DP4/SBOs1/CP1】 解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】 福祉支援工学概論、教育学、教育方法論
		【SBOs1/CP2】 人々や社会とのかかわりにおける作業療法の役割を理解する。	【DP1/SBOs1/CP2】 作業療法概論、臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	【DP2/SBOs1/CP2】 リハビリテーション概論、作業療法概論、作業学概論、作業工程技術学・基礎論、作業工程技術学・応用論、臨床実習Ⅰ（早期臨床見学）	【DP3/SBOs1/CP2】 作業療法概論、作業学概論、作業工程技術学・基礎論、作業工程技術学・応用論	【DP4/SBOs1/CP2】 人間発達学、作業療法概論、作業学概論、作業工程技術学・基礎論、作業工程技術学・応用論	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 作業療法学生として大学生活を送るにあたって必要な汎用的技能を身につける。	【DP1/SBOs1/CP3】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	【DP2/SBOs1/CP3】	【DP3/SBOs1/CP3】	【DP4/SBOs1/CP3】	【DP5/SBOs1/CP3】 リハビリテーション概論、作業療法概論、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ	【DP6/SBOs1/CP3】 臨床実習ゼミⅠ
		【SBOs1/CP4】 大学生として保健医療福祉領域の学修を進めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】 リハビリテーション概論、作業療法概論	【DP6/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 作業療法専門分野および関連領域における基礎的知識を修得する。	【DP1/SBOs2/CP1】 救急医学、作業療法の諸外国事情、バリアフリー論、医療データサイエンスⅠ、医療データサイエンスⅡ	【DP2/SBOs2/CP1】 バリアフリー論	【DP3/SBOs2/CP1】 精神医学Ⅰ、対人援助論、作業応用論、作業療法評価学概論、作業療法評価学演習、作業療法適応学概論、コミュニケーション技術論、臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	【DP4/SBOs2/CP1】 栄養学、バリアフリー論	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】 作業療法の諸外国事情、海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ
		【SBOs2/CP2】 生活機能に応じた作業療法のかかわりを理解できる。	【DP1/SBOs2/CP2】 生活機能論、作業療法適応学概論、障害代償学概論、臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）、	【DP2/SBOs2/CP2】 作業分析学Ⅰ、作業分析学Ⅱ、作業応用論、作業療法評価学概論、作業療法評価学各論、作業療法評価学演習、日常生活活動評価法、作業療法諸理論、作業療法適応学概論、生活技術学Ⅰ、障害代償学概論、臨床実習Ⅱ（早期臨床体験）	【DP3/SBOs2/CP2】	【DP4/SBOs2/CP2】 運動学実習、運動生理学、病理学、内科学、神経学Ⅰ、神経学Ⅱ、整形外科Ⅰ、整形外科Ⅱ、精神医学Ⅰ、小児科学、病態生理学、臨床薬理学概論、外科学、脳神経外科学、神経心理学概論、対人援助論、作業分析学Ⅰ、作業分析学Ⅱ、作業応用論、作業療法評価学概論、作業療法評価学各論、作業療法評価学演習、基礎運動機能評価法、生活機能論、上肢機能評価法、日常生活活動評価法、作業療法適応学概論、生活技術学Ⅰ、障害代償学概論	【DP5/SBOs2/CP2】 作業療法評価学概論、作業療法評価学各論、作業療法評価学演習、生活機能論、作業療法諸理論、作業療法適応学概論、生活技術学Ⅰ、障害代償学概論	【DP6/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 作業療法分野の専門教育を深めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。	【DP1/SBOs2/CP3】 雑談と傾聴～話す力と聴く力～、英語講読3、英語講読4、英語会話3、英語会話4	【DP2/SBOs2/CP3】 電子カルテシステム入門	【DP3/SBOs2/CP3】	【DP4/SBOs2/CP3】	【DP5/SBOs2/CP3】	【DP6/SBOs2/CP3】 作業分析学Ⅰ、作業分析学Ⅱ、臨床実習ゼミⅡ
		【SBOs2/CP4】 作業療法学生として専門教育を深めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】 関連職種連携論、ケアマネジメント論	【DP3/SBOs2/CP4】	【DP4/SBOs2/CP4】	【DP5/SBOs2/CP4】	【DP6/SBOs2/CP4】 エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）

		ディプロマ・ポリシー（DP）						
		【DP1】 作業療法士を目指す者として、建学の精神である「共に生きる社会」の実現を目指し、幅広い教養、豊かな感性、人間理解、国際的感覚を養い、社会的責務と倫理観を身につけている。	【DP2】 作業療法士を目指す者として、基礎的学力を養い、関連職種の機能を理解し連携を図ることの出来るコミュニケーション力を身につけている。	【DP3】 作業療法士を目指す者として、作業療法実践に必要な他者への共感的態度および自己の治療的応用（Therapeutic Use of Self）を身につけている。	【DP4】 作業療法士を目指す者として、人々の生活機能を客観的・科学的に分析でき、作業療法を実践するために必要な専門的知識・技術を身につけている。	【DP5】 作業療法士を目指す者として、様々な状況において高度な専門的知識や技術を統合し創造的に課題解決に取り組む力を身につけている。	【DP6】 作業療法士を目指す者として、国内外問わず自らの活躍の場を模索し、生涯学習を行うことの重要性を認識し、科学的・創造的な探究心を持って作業療法分野の発展に向けて新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （到達目標・SBOs）	3 年 次	【SBOs3/CP1】 作業療法専門分野および関連領域における応用的な知識を修得する。	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 地域ケアシステム論	【DP3/SBOs3/CP1】 レクリエーション概論	【DP4/SBOs3/CP1】 リスクマネジメント論、老年学、リハビリテーション医学	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】 研究法概論、研究法演習
		【SBOs3/CP2】 生活機能に応じた作業療法評価を実施できる。	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】 内科系疾患作業療法学、運動器疾患作業療法学、中枢神経疾患作業療法学Ⅰ、中枢神経疾患作業療法学Ⅱ、精神疾患作業療法学Ⅰ、精神疾患作業療法学Ⅱ、小児作業療法学Ⅰ、小児作業療法学Ⅱ、老年作業療法学、認知障害作業療法学、 <u>認知症作業療法特論</u> 、生活技術学Ⅱ、職業関連技術学、義肢適用論、装具・副子適用論、自助具・福祉機器適用論、住環境整備論、 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP3/SBOs3/CP2】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP4/SBOs3/CP2】 精神医学Ⅱ、 <u>認知機能評価法</u> 、内科系疾患作業療法学、運動器疾患作業療法学、中枢神経疾患作業療法学Ⅰ、中枢神経疾患作業療法学Ⅱ、精神疾患作業療法学Ⅰ、精神疾患作業療法学Ⅱ、小児作業療法学Ⅰ、小児作業療法学Ⅱ、老年作業療法学、 <u>認知症作業療法特論</u> 、生活技術学Ⅱ、職業関連技術学、義肢適用論、装具・副子適用論、自助具・福祉機器適用論、住環境整備論、 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP5/SBOs3/CP2】 内科系疾患作業療法学、運動器疾患作業療法学、中枢神経疾患作業療法学Ⅰ、中枢神経疾患作業療法学Ⅱ、精神疾患作業療法学Ⅰ、精神疾患作業療法学Ⅱ、小児作業療法学Ⅰ、小児作業療法学Ⅱ、老年作業療法学、 <u>認知症作業療法特論</u> 、生活技術学Ⅱ、職業関連技術学、義肢適用論、装具・副子適用論、自助具・福祉機器適用論、住環境整備論	【DP6/SBOs3/CP2】 <u>作業療法適用学特論</u>
		【SBOs3/CP3】 作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な汎用的技能を身につける。	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）、関連職種連携ワーク	【DP3/SBOs3/CP3】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP4/SBOs3/CP3】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP5/SBOs3/CP3】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP6/SBOs3/CP3】 <u>臨床実習ゼミⅢ</u>
		【SBOs3/CP4】 作業療法学生として臨床場面に参加するにあたって必要な態度・志向性を身につける。	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）、関連職種連携ワーク	【DP3/SBOs3/CP4】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP4/SBOs3/CP4】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP5/SBOs3/CP4】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）	【DP6/SBOs3/CP4】 <u>臨床実習特論Ⅰ（OSCE）</u> 、臨床実習Ⅲ（臨床評価）、臨床実習Ⅳ（臨床推論・作業療法計画立案）
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 作業療法専門分野およびその関連領域における発展的な知識を修得する。	【DP1/SBOs4/CP1】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	【DP2/SBOs4/CP1】 <u>生活支援計画論</u> 、就学・就労支援論、地域生活作業療法論	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 <u>生活支援計画論</u> 、就学・就労支援論、地域生活作業療法論	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】 作業療法応用学概論、作業療法総括論
		【SBOs4/CP2】 生活機能に応じた作業療法による治療・指導・援助を提供できる。	【DP1/SBOs4/CP2】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習	【DP2/SBOs4/CP2】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP3/SBOs4/CP2】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP4/SBOs4/CP2】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP5/SBOs4/CP2】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP6/SBOs4/CP2】 <u>臨床実習ゼミⅣ</u>
		【SBOs4/CP3】 作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な汎用的技能を身につける。	【DP1/SBOs4/CP3】 作業療法管理学、作業療法応用学概論	【DP2/SBOs4/CP3】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP3/SBOs4/CP3】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP4/SBOs4/CP3】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP5/SBOs4/CP3】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP6/SBOs4/CP3】 <u>卒業研究</u>
		【SBOs4/CP4】 作業療法士として職業生活を始めるにあたって必要な態度・志向性を身につける。	【DP1/SBOs4/CP4】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習	【DP2/SBOs4/CP4】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u> 、 <u>関連職種連携実習</u>	【DP3/SBOs4/CP4】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP4/SBOs4/CP4】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP5/SBOs4/CP4】 総合実習Ⅰ（作業療法実践）、総合実習Ⅱ（作業療法実践）、地域リハビリテーション実習、 <u>臨床実習特論Ⅱ（OSCE）</u>	【DP6/SBOs4/CP4】 <u>卒業研究</u>

保健医療学部 作業療法学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】





## 8-4 保健医療学部 言語聴覚学科

### 8-4-1 教育研究上の目的

保健医療学部教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部言語聴覚学科教育研究上の目的

言語聴覚学科は、検査、指導、訓練の技術を修得し、コミュニケーション能力や言語能力に障害をもつ方の回復を支援するために必要なスキルを身に付け、人間の尊厳を支える高度な専門職としての言語聴覚士の育成を目的とする。

### 8-4-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、言語聴覚士をめざす者として、豊かな心、コミュニケーション能力、多彩な学問領域に対する関心や学ぶ意欲を持ち、保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応できる優れた臨床家となり、保健・医療・福祉・教育などの分野の発展に寄与することが期待できる人

#### 2. 言語聴覚学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

高等学校時代の文系科目の修得を通して身につけた読解力・文章力・コミュニケーション能力、及び理数系科目の修得を通して身につけた論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

新しい知識を学ぶ意欲、筋道を立てて科学的に思考・分析・判断し、表現する力、言語聴覚領域とその関連分野の進歩や国際化に対応できる好奇心・向上心と努力を継続する力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、言語聴覚士として「共に生きる社会」の実現に貢献したいという意志を持ち、他を思いやり、他者の意見を受け入れ主体的に協調しようとする態度を身につけていること。

### 8-4-3 ディプロマ・ポリシー

---

言語聴覚学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。

DP2：言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている。

DP3：言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基盤となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている。

DP4：言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている。

DP5：言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている。

DP6：言語聴覚士を目指す者として、他職種の専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている。

DP7：言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている。



#### 8-4-4 カリキュラム・ポリシー

---

言語聴覚学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：言語聴覚療法の基盤となる基礎的な知識・技能を有する人材を育成するための科目を設定する。

CP2：高度な専門的知識・技能を有し、適切な言語聴覚療法を提供できる人材を育成するための科目を設定する。

CP3：臨床思考力・技能を高めるとともに人間性を養い、チーム医療・チームケアの一員として活動できる人材を育成するための科目を設定する。

CP4：大学院教育・生涯教育を視野に、常に向上心を持って自己研鑽できる専門職業人としての高い倫理観を有した人材を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

## 8-4-5 教育目標

---

### <1 年次 (SBOs1) >

CP1：社会人・医療人としての基礎学力と多文化・異文化理解を含む教養を身につける。

CP2：保健医療福祉における言語聴覚療法の位置づけを理解し、言語聴覚士の役割を説明できる。

CP3：言語聴覚士の職務と社会での役割を理解し、基本的なコミュニケーションスキルを身につけることができる。

CP4：多様な学問領域や社会問題に関心を持ち、主体的な学びを通し、豊かな人間性を獲得することができる。

### <2 年次 (SBOs2) >

CP1：言語聴覚士に必要な保健医療福祉や多文化・異文化に関する知識を修得する。

CP2：言語聴覚臨床の流れを理解し、各種言語聴覚障害の原因・症状・発生メカニズムに関する基本的知識や論理的思考力を獲得する。

CP3：情報収集の手法について学び、データの適切な管理とまとめ方を身につけることができる。

CP4：チーム医療・チームケアの基礎を理解し、他者と協力する態度や姿勢を身につける。

### <3 年次 (SBOs3) >

CP1：言語聴覚障害領域および関連領域における基礎的知識を修得する。

CP2：各種言語聴覚障害の評価・診断および代表的な訓練・指導に関する知識や技能を修得できる。

CP3：言語聴覚障害および関連領域から収集した情報を統合し、論理的に解釈できる。

CP4：言語聴覚士に必要とされる高い倫理観と探究心を身につけることができる。

### <4 年次 (SBOs4) >

CP1：言語聴覚障害領域および関連領域における専門的知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する。

CP2：言語聴覚療法に関する知識や技能を統合し、代表的な言語聴覚障害の評価・診断および訓練・指導を実施することができる。

CP3：リサーチマインドを持ち、科学的な根拠に基づく臨床の概念や研究のプロセスに関する基礎知識を修得することができる。

CP4：チーム医療の中で対象者中心の臨床を実践するために、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につける。



## 8-4-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-4-9 授業科目一覧」を参照してください。

### (1) 卒業に必要な単位数【言語聴覚学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分		最 低 単 位 数	
		必 修	選 択
総合教育科目	人間系		6単位以上
	社会系	1単位	5単位以上
	自然・情報系	4単位	1単位以上
	総合系	1単位	
	外国語系	4単位 (5単位) ※2	2単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※2
	保健体育系		
	小 計	10単位 (11単位) ※2	18単位以上 (17単位以上または19単位以上) ※2
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	8単位
		学科専門基礎	34単位
		小 計	42単位
	専門科目		54単位
	小 計		96単位
合 計		106単位 (107単位) ※2	20単位以上 (19単位以上または21単位以上) ※2
総 計		126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※2	

※1 後述の「8-4-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 （ ）内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-4-7 進級条件

### (1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 学年必修の専門基礎科目 11 科目（以下）のうち、7 科目以上修得していること。

保健医療福祉制度論、解剖学、生理学、病理学、医学概論、精神医学、臨床神経学、生涯発達心理学、言語学Ⅰ、言語学Ⅱ、基礎音声学

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2学年までの必修の専門科目の単位をすべて修得していること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

3学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

#### 8-4-8 科目履修条件

---

(1) 選択科目のうち必ず履修しなければならない科目

専門基礎科目における以下の選択科目から2単位以上履修すること。

\* 以下は選択科目ですが、履修を推奨する科目です。

公衆衛生学、微生物と病気、ケースワーク論、福祉支援工学概論、 リスクマネジメント論、児童精神医学、老年学、遺伝学、脳神経外科学
--

(2) 卒業研究

専門科目における卒業研究を履修する者は、言語聴覚障害学研究法を履修すること。

(3) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-4-9 授業科目一覧（総合教育科目：言語聴覚学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30	OS-0101-77C
		演劇論	1	2 3 4	1	15	OS-0102-77C
		心理学	1	2 3 4	2	30	OS-0104-77C
		哲学	1	2 3 4	2	30	OS-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30	OS-0106-77C
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30	OS-0107-77C
		人間学	1	2 3 4	2	30	OS-0108-77C
		歴史学	1	2 3 4	2	30	OS-0109-77C
		倫理学	1	2 3 4	2	30	OS-0110-77C
		宗教学	1	2 3 4	2	30	OS-0111-77C
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30	OS-0112-77C
		文化人類学	1	2 3 4	2	30	OS-0113-77C
		教育学	1	2 3 4	2	30	OS-0114-77C
		教育方法論	1	2 3 4	2	30	OS-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1	2 3 4	2	30	OS-0116-77C
		生きがい論	1	2 3 4	2	30	OS-0117-77C
	社会系	法学	1	2 3 4	2	30	OS-0201-77C
		日本国憲法	1	2 3 4	2	30	OS-0202-77C
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30	OS-0203-77C
		社会学	1	2 3 4	2	30	OS-0206-77C
		日本政治経済論	1	2 3 4	2	30	OS-0207-77C
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30	OS-0208-77C
		福祉経済学	1	2 3 4	2	30	OS-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30	OS-0212-77C
		国際関係論	1	2 3 4	2	30	OS-0223-77C
		世界の経済	1	2 3 4	2	30	OS-0220-77C
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30	OS-0224-77C
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30	OS-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2 3 4	1	30	OS-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3 4	1	45	OS-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2 3 4	1	30	OS-0228-17B
		地球環境論	1	2 3 4	2	30	OS-0229-77C
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30	OS-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30	OS-0231-77C
		手話入門	1	2 3 4	2	30	OS-0232-77C
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30	OS-0218-77C
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30	OS-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1	2 3 4	2	30	OS-0301-17B
		疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30	OS-0304-77C
		数学	1	2 3 4	2	30	OS-0305-77C
		物理学	1	2 3 4	2	30	OS-0306-77C
		化学	1	2 3 4	2	30	OS-0309-77C
		生物学	1	2 3 4	2	30	履修推奨科目 OS-0312-77C
		コンピュータの基礎	1	2 3 4	2	30	OS-0314-77C
		データリテラシー	1	2 3 4	1	30	OS-0318-17E
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30	OS-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30	OS-0321-72F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報	1	2 3 4	1	30	OS-0323-17B
		医学／医療史	1	2 3 4	2	30	OS-0324-77C
		人間工学	1	2 3 4	2	30	OS-0325-77C
	総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために・	1		1	30	OS-0401-11B
		郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15	OS-0402-77C
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15	OS-0403-77C
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30	OS-0404-77C
		総合講義～超高齢社会で認知症と向き合う～	1	2 3 4	1	15	OS-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2 3 4	1	15	OS-0406-77C
		食と人間	1	2	1	15	OS-0407-71C
		持続可能な発展	1	2 3 4	2	30	OS-0409-77C
		ボランティア実践	1	2 3 4	1	15	OS-0412-77I

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1		30		OS-0501-11E
		英語講読 2 (Basic)	1		30		OS-0502-11E
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		OS-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		OS-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30		OS-0505-11E
		英語 CALL2 (Basic)	1	1	30		OS-0506-11E
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		OS-0516-80F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		OS-0517-80F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OS-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OS-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30		OS-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30		OS-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30		OS-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		OS-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		OS-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		OS-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		OS-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		OS-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4	1	30		OS-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30		OS-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30		OS-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		OS-0617-70C
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		OS-0701-77C
		健康科学実践	1 2 3 4	1	30		OS-0702-77I

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

## 8-4-9 授業科目一覧（専門教育科目：言語聴覚学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1 2 3 4		2	30		OS-1001-77C
	救急医学	1 2 3	1		15		OS-1002-11A
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		OS-1003-77C
	リハビリテーション概論	1 2	2		30		OS-1004-11A
	関連職種連携論	2	2		30		OS-1005-12A
	看護論	1		2	30		OS-1022-71C
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15		OS-1006-72C
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15		OS-1007-77C
	医療管理学	1 2 3 4		2	30		OS-1008-77C
	保健医療福祉制度論	1	2		30		OS-1009-11A
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30		OS-1010-77C
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30	必修科目として別にあるため選択しないこと	OS-1011-77C
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30		OS-1013-77C
	関連職種連携ワーク	3	1		30		OS-1014-13D
	関連職種連携実習	4		1	45	履修推奨科目	OS-1015-74H
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		OS-1016-73C
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		OS-1017-72C
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		OS-1019-72C
専門教育科目	解剖学	1	2		30		OS-2201-11A
	生理学	1	2		30		OS-2202-11A
	病理学	1	1		15		OS-2203-11A
	医学概論	1	1		15		OS-2204-11A
	内科学	3	1		30		OS-2205-13A
	精神医学	1	1		30		OS-2206-11A
	リハビリテーション医学	2	1		30		OS-2207-12A
	小児科学	2	1		30		OS-2208-12A
	耳鼻咽喉科学	3	1		30		OS-2209-13A
	臨床神経学	1	1		30		OS-2210-11A
	形成外科学	2	1		15		OS-2211-12A
	臨床歯科医学	2	1		15		OS-2212-12A
	口腔外科学	2	1		15		OS-2213-12A
	音声言語医学	2	1		15		OS-2214-12A
	中枢神経機能学	2	1		30		OS-2215-12A
	聴覚医学	2	1		30		OS-2216-12A
	児童精神医学	1 ② 3 4		1	15		OS-2217-57A
	老年学	1 ② 3 4		1	30		OS-2218-57A
	遺伝学	① 2 3 4		1	15		OS-2219-57A
	脳神経外科学	1 ② 3 4		1	15		OS-2220-57A
	臨床心理学	2	1		30		OS-2A01-22A
	生涯発達心理学	1	1		30		OS-2A02-21A
	神経心理学	2	1		30		OS-2A03-22A
	学習・認知心理学	2	2		30		OS-2A04-22A
	心理測定法	2	2		30		OS-2A05-22A
	言語学Ⅰ	1	1		30		OS-2B01-11A
	言語学Ⅱ	1	1		30		OS-2B02-21A
	言語発達学	2	1		30		OS-2B03-22A
	基礎音声学	1	2		30		OS-2B04-11A
	音声学	2	2		30		OS-2B05-22A
	音声音響学	2	1		30		OS-2B06-12A
	聴覚心理学	2	1		30		OS-2A06-22A
専門	言語聴覚障害学概論	1	1		30		OS-3C01-11A
	コミュニケーション技能演習	1	1		30		OS-3C02-21D
	コミュニケーション障害演習	2	1		15		OS-3C03-22D
	言語聴覚障害診断学	3	1		30		OS-3C04-23A
	言語聴覚療法管理学	3	2		30		OS-3D01-23A
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ	2	1		30		OS-3D02-22A
	失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ	2	1		30		OS-3D03-22A
	失語症学Ⅰ（評価・診断）	3	1		30		OS-3D04-33A

（注意）配当年次の○印は、その年次の履修を原則とする。



授業科目の名称		配当年度	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	失語症学Ⅱ（治療）	3	1	30		OS-3D05-33A
		失語症・高次脳機能障害学演習	3	1	30		OS-3D06-33D
		高次脳機能障害学	3	1	30		OS-3D07-33A
		言語発達障害学総論	2	1	30		OS-3D08-22A
		言語発達障害学各論	2	1	30		OS-3D09-22A
		言語発達障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1	30		OS-3D10-33A
		言語発達障害学Ⅰ演習（評価・診断）	3	1	30		OS-3D11-33D
		言語発達障害学Ⅱ（指導）	3	1	30		OS-3D12-33A
		言語発達障害学Ⅱ演習（指導）	3	1	30		OS-3D13-33D
		聴覚障害学総論	2	1	30		OS-3D14-22A
		聴覚機能評価学	2	2	60		OS-3D15-22D
		聴覚補償論（補聴器・人工内耳など）	3	1	30		OS-3D16-33A
		小児聴覚障害学Ⅰ（評価・診断）	3	1	30		OS-3D17-33A
		小児聴覚障害学Ⅱ（指導）	3	1	30		OS-3D18-33D
		成人聴覚障害学（二重障害を含む）	3	1	30		OS-3D19-33A
		発声発語障害学総論	2	2	30		OS-3D20-22A
		構音障害学Ⅰ（理論）	2	1	30		OS-3D21-22A
		構音障害学Ⅱ（評価・診断）	3	1	30		OS-3D22-33D
		構音障害学演習（治療）	3	1	30		OS-3D23-33D
		流暢性障害学	3	1	30		OS-3D24-33A
		音声障害学	2	1	30		OS-3D25-32A
		摂食・嚥下障害学Ⅰ（理論・評価・診断）	3	1	30		OS-3D26-33A
		摂食・嚥下障害学Ⅱ（治療）	3	1	30		OS-3D27-33D
		地域言語聴覚療法学	3	2	30		OS-3D28-23A
		言語聴覚障害学研究法	3		2	30	OS-3E01-53D
		言語聴覚障害基礎演習	3	1	15		OS-3C05-33D
		言語聴覚療法特論	4	1	15		OS-3C06-34A
		言語聴覚障害学特論（総括）	4	1	15		OS-3C07-34A
		卒業研究	4		4	60	OS-3E02-94K
		見学実習	2	2		90	OS-3F01-32G
		評価実習	3	3		135	OS-3F02-33G
		総合実習	4	10		450	OS-3F03-34G

言語聴覚学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2025(令和7)年度以降入学生版】

			ディプロマ・ポリシー（DP）						
			【DP1】 言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている	【DP2】 言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている	【DP3】 言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基盤となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている	【DP4】 言語聴覚士を目指す者として、他職種の専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている	【DP5】 言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている	【DP6】 言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている	【DP7】 言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求（研究活動）する方法を身につけている
各 年 次 の 教 育 目 標 （ 到達目標・SBOs）	1 年 次	【SBOs1/CP1】 ①社会人・医療人としての基礎学力と多文化・異文化理解を含む教養を身につける	【DP1/SBOs1/CP1】 データリテラシー、大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-、健康科学理論、健康科学実践、食と人間、メディカルマナー入門	【DP2/SBOs1/CP1】 英語講読1、英語講読2、英語CALL1、英語CALL2 英語会話1（Primary）、英語会話2（Basic）、聖書英語1（Primary）、聖書英語2（Basic）、医学英語1（Primary）、医学英語2（Basic）、英語リスニング1（Primary）、英語リスニング2（Basic）、英語ライティング1（Primary）、英語ライティング2（Basic）、英語医療通訳入門1（Primary）、英語医療通訳入門2（Basic）、資格英語1（Primary）、資格英語2（Basic）、基礎英文法1（Primary）、基礎英文法2（Basic）、上級英語会話1（発展）、上級英語会話2（総合）、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎	【DP3/SBOs1/CP1】 社会福祉学	【DP4/SBOs1/CP1】 福祉支援工学概論 医療管理学 ケースワーク論 看護論	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】
		【SBOs1/CP2】 ②保健医療福祉における言語聴覚療法の位置づけを理解し、言語聴覚士の役割を説明できる	【DP1/SBOs1/CP2】 医療福祉教養講義	【DP2/SBOs1/CP2】	【DP3/SBOs1/CP2】 リハビリテーション概論、保健医療福祉制度論、言語聴覚障害学概論、救急医学	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 ③言語聴覚士の職務と社会での役割を理解し、基本的なコミュニケーションスキルを身につけることができる	【DP1/SBOs1/CP3】	【DP2/SBOs1/CP3】	【DP3/SBOs1/CP3】 統計学	【DP4/SBOs1/CP3】	【DP5/SBOs1/CP3】 コミュニケーション技能演習	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 ④多様な学問領域や社会問題に関心をもち、主体的な学びを通し、豊かな人間性を獲得することができる	【DP1/SBOs1/CP4】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-、データリテラシー ボランティア実践、文学論、演劇論、心理学、哲学、コミュニケーション概論、雑談と傾聴～話す力と聴く力～、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学-死を通して生を考える-、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史、持続可能な発展、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、コンピュータの基礎、医学／医療史、人間工学、郷土論～栃木学～、総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-、総合講義（現代社会をどう見るか）	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】 解剖学、生理学、病理学、医学概論、精神医学、臨床神経学、生涯発達心理学、言語学Ⅰ・Ⅱ、基礎音声学、公衆衛生学、微生物と病気、ケースワーク論、遺伝学	【DP4/SBOs1/CP4】 福祉支援工学概論	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】	【DP7/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 ①言語聴覚士に必要な保健医療福祉や多文化・異文化に関する知識を修得する。	【DP1/SBOs2/CP1】	【DP2/SBOs2/CP1】 海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ、英語講読3、英語講読4、英語会話3（Intermediate）、英語会話4（Advanced）	【DP3/SBOs2/CP1】 失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ・Ⅱ、言語発達障害学総論・各論、聴覚障害学総論、聴覚機能評価学、発声発語障害学総論、構音障害学Ⅰ（理論）、音声障害学	【DP4/SBOs2/CP1】 レクリエーション概論 ケアマネジメント論	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 ②言語聴覚臨床の流れを理解し、各種言語聴覚障害の原因・症状・発生メカニズムに関する基本的知識や論理的思考力を獲得する。	【DP1/SBOs2/CP2】	【DP2/SBOs2/CP2】	【DP3/SBOs2/CP2】 リハビリテーション医学、小児科学、形成外科学、臨床歯科医学、口腔外科学、音声言語医学、中枢神経機能学、聴覚医学、臨床心理学、神経心理学、学習・認知心理学、言語発達学、音声学、音声音響学、聴覚心理学、児童精神医学、老年学、脳神経外科学	【DP4/SBOs2/CP2】	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 ③情報収集の手法について学び、データの適切な管理とまとめ方を身につけることができる。	【DP1/SBOs2/CP3】 医療データサイエンスⅠ（DS基礎）、医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	【DP2/SBOs2/CP3】	【DP3/SBOs2/CP3】 心理測定法	【DP4/SBOs2/CP3】	【DP5/SBOs2/CP3】	【DP6/SBOs2/CP3】	【DP7/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 ④チーム医療・チームケアの基礎を理解し、他者と協力する態度や姿勢を身につける	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】	【DP4/SBOs2/CP4】 関連職種連携論 電子カルテシステム入門	【DP5/SBOs2/CP4】 コミュニケーション障害演習、見学実習	【DP6/SBOs2/CP4】	【DP7/SBOs2/CP4】

			ディプロマ・ポリシー(DP)						
			【DP1】 言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている	【DP2】 言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている	【DP3】 言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基盤となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている	【DP4】 言語聴覚士を目指す者として、他職種の専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている	【DP5】 言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている	【DP6】 言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている	【DP7】 言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求(研究活動)する方法を身につけている
各 年 次 の 教 育 目 標  ( 到達目標・SBOs)	3 年 次	【SBOs3/CP1】 ①言語聴覚障害領域および関連領域における基礎的知識を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】 内科学, 耳鼻咽喉科学, <a href="#">リスクマネジメント論</a>	【DP4/SBOs3/CP1】	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】	【DP7/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 ②各種言語聴覚障害の評価・診断および代表的な訓練・指導に関する知識や技能を修得できる。	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】 失語症学Ⅰ・Ⅱ, 高次脳機能障害学, 言語発達障害学Ⅰ・Ⅱ, 聴覚補償論, 小児聴覚障害学Ⅰ・Ⅱ, 成人聴覚障害学, 構音障害学Ⅱ, 摂食・嚥下障害学Ⅰ・Ⅱ, 流暢性障害学	【DP5/SBOs3/CP2】 失語症・高次脳機能障害学演習, 言語発達障害学Ⅰ演習・Ⅱ演習, 構音障害学演習, 言語聴覚障害基礎演習	【DP6/SBOs3/CP2】	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 ③言語聴覚障害および関連領域から収集した情報を統合し、論理的に解釈できる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】	【DP5/SBOs3/CP3】 言語聴覚障害診断学, 言語聴覚療法管理学	【DP6/SBOs3/CP3】 関連職種連携ワーク, 評価実習	【DP7/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 ④言語聴覚士に必要なとされる高い倫理観と探求心を身につけることができる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】	【DP5/SBOs3/CP4】 地域言語聴覚療法学	【DP6/SBOs3/CP4】	【DP7/SBOs3/CP4】 <a href="#">言語聴覚障害学研究法</a>
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 ①言語聴覚障害領域および関連領域における専門的知識を修得し、それらを臨床応用できる能力を獲得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】 言語聴覚障害学特論(総括)
		【SBOs4/CP2】 ②言語聴覚療法に関する知識や技能を統合し、代表的な言語聴覚障害の評価・診断および訓練・指導を実施することができる。	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】 総合実習	【DP7/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 ③リサーチマインドを持ち、科学的な根拠に基づく臨床の概念や研究のプロセスに関する基礎知識を修得することができる。	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】 言語聴覚療法特論, <a href="#">卒業研究</a>
		【SBOs4/CP4】 ④チーム医療の中で対象者中心の臨床を実践するために、生涯にわたって学ぶ姿勢を身につける	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】	【DP6/SBOs4/CP4】	【DP7/SBOs4/CP4】 <a href="#">関連職種連携実習</a>

保健医療学部 言語聴覚学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

言語聴覚学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。  
DP1:言語聴覚士を目指す者として、社会的責務と倫理観を基盤とした幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。  
DP2:言語聴覚士を目指す者として、国際化社会に対応できるグローバルな感覚と視点を身につけている。  
DP3:言語聴覚士を目指す者として、言語聴覚障害学の基盤となる知識・技能を修得し、科学的・論理的思考力を身につけている。  
DP4:言語聴覚士を目指す者として、多岐にわたる言語聴覚障害に対応可能な専門的知識と臨床技能を修得し、体系的に実践する力を身につけている。  
DP5:言語聴覚士を目指す者として、高いコミュニケーションスキルを有し、「対象者中心の臨床」を実践する力を身につけている。  
DP6:言語聴覚士を目指す者として、他職種の専門性を理解したうえで協働・連携し、チームの一員として貢献する力を身につけている。  
DP7:言語聴覚士を目指す者として、自らの専門性について主体的に探究し、資質向上のために生涯にわたって努力し続けることの重要性を認識し、新しい知識を追求(研究活動)する方法を身につけている。

カリキュラム・ポリシー

言語聴覚学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。  
CP1:言語聴覚療法の基盤となる基礎的な知識・技能を有する人材を育成するための科目を設定する。  
CP2:高度な専門的知識・技能を有し、適切な言語聴覚療法を提供できる人材を育成するための科目を設定する。  
CP3:臨床思考力・技能を高めるとともに人間性を養い、チーム医療・チームケアの一員として活動できる人材を育成するための科目を設定する。  
CP4:大学院教育・生涯教育を視野に、常に向上心を持って自己研鑽できる専門職業人としての高い倫理観を有した人材を育成するための科目を設定する。  
学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

分野・領域		1年次				2年次				3年次				4年次			
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期	
総合教育科目		(必)英語CALL1		(必)英語CALL2		(選)英語講義3		(選)英語講義4									
		(必)英語講義1		(必)英語講義2		(選)医療データサイエンスⅠ(DS基礎)		(選)医療データサイエンスⅡ(AI基礎)									
		(必)大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-		(必)統計学													
		(必)データリテラシー		(必)我が国の社会福祉・医療保障政策の知識													
		(選)健康科学理論(VOD)		(必)医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-													
		(選)健康科学実践		(選)コンピューターの基礎													
		(推薦)生物学		(選)手話入門													
関連職種連携教育系								(必)関連職種連携論		(必)関連職種連携ワーク		(選)関連職種連携実習					
医学系 (基礎医学、臨床医学)		(必)リハビリテーション概論		(必)保健医療福祉制度論		(必)音声言語医学		(必)中枢神経機能学		(必)耳鼻咽喉科学		(選)リスクマネジメント論					
		(必)生理学		(必)病理学		(必)臨床歯科医学		(必)聴覚医学		(必)内科学							
		(必)解剖学		(必)医学概論		(必)小児科学		(必)リハビリテーション医学									
		(選)福祉支援工学概論		(必)救急医学		(選)児童精神医学		(必)口腔外科学									
		(選)医療管理学		(必)精神医学		(選)老年学		(必)形成外科学									
		(選)社会福祉学		(必)臨床神経学		(選)ケアマネジメント論		(選)脳神経外科学									
		(選)公衆衛生学		(選)遺伝学		(選)レクリエーション概論		(選)電子カルテシステム入門									
				(選)微生物と病気													
				(選)ケースワーク論													
		(選)看護論															
心理学系		(必)生涯発達心理学				(必)神経心理学											
						(必)学習・認知心理学											
						(必)心理測定法											
						(必)臨床心理学											
						(選)臨床心理学選論											
音声・言語学系		(必)言語学Ⅰ		(必)言語学Ⅱ		(必)音声学		(必)聴覚心理学									
				(必)基礎音声学		(必)音声音響学											
						(必)言語発達学											
言語聴覚障害学総論		(必)言語聴覚障害学概論								(必)言語聴覚障害診断学		(必)言語聴覚障害学特論(総括)					
		(必)コミュニケーション技能演習				(必)コミュニケーション障害演習				(必)言語聴覚障害基礎演習		(必)言語聴覚療法特論					
言語聴覚障害学各論	失語・高次脳機能障害学系					(必)失語症・高次脳機能障害学総論Ⅰ		(必)失語症・高次脳機能障害学総論Ⅱ		(必)失語症学Ⅰ(評価・診断)		(必)評価実習	(必)失語症学Ⅱ(治療)				
													(必)失語症・高次脳機能障害学演習				
	言語発達障害学系					(必)言語発達障害学総論		(必)言語発達障害学各論		(必)言語発達障害学Ⅰ(評価・診断)			(必)言語発達障害学Ⅱ(指導)				
										(必)言語発達障害学Ⅰ演習(評価・診断)			(必)言語発達障害学Ⅱ演習(指導)				
	発声発語・摂食嚥下障害学系					(必)発声発語障害学総論		(必)構音障害学Ⅰ(理論)		(必)構音障害学Ⅱ(評価・診断)			(必)構音障害学演習(治療)				
								(必)音声障害学		(必)摂食・嚥下障害学Ⅰ(理論・評価診断)			(必)摂食・嚥下障害学Ⅱ(治療)				
聴覚障害学系											(必)流暢性障害学						
					(必)聴覚障害学総論		(必)聴覚機能評価学		(必)聴覚補償論(補聴器・人工内耳など)		(必)小児聴覚障害学Ⅱ(指導)						
言語聴覚療法管理学										(必)小児聴覚障害学Ⅰ(評価・診断)							
地域言語聴覚療法学										(必)成人聴覚障害学(二重障害を含む)				(必)言語聴覚療法管理学			
卒業研究系										(選)言語聴覚障害学研究法		(選)卒業研究					
臨床実習系								見学実習		(必)評価実習		(必)総合実習					

## 8-5 保健医療学部 視機能療法学科

### 8-5-1 教育研究上の目的

保健医療学部教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部視機能療法学科教育研究上の目的

視機能療法学科は、繊細な目を守るエキスパートとしての質の高い専門知識や技術を幅広く修得し、医療人としての総合力を高め、「見ること」、「見えること」の素晴らしさを伝えることのできる視能訓練士の育成を目的とする。

### 8-5-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、視能訓練士として、豊かな心、コミュニケーション能力、新しい知識の追求に向けた関心や意欲を持ち備え、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、学びを深めるための客観的・科学的な分析・判断力を養うことが期待できる人

#### 2. 視機能療法学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

専門知識を修得するために必要な高等学校までの語学系科目と理数系科目の基本的知識及び技能としての読解力、文章力、コミュニケーション能力、論理的な思考力、科学的な理解力を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶための積極的な意欲を有し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、学修で得た知識・技能をもとにした客観的な思考力及び理解力、筋道を立てて科学的に考えることができる分析力及び判断力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、視能訓練士として「共に生きる社会」の実現

に寄与すべく、地域とのつながりを大切に考えることができ、保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持ち、積極的に自ら研鑽し、また相手の立場に立って物事を考え多職種と協調的に連携を図る態度を身につけていること。

### 8-5-3 ディプロマ・ポリシー

---

視機能療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。

DP2：視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけ理解している。

DP3：視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。

DP4：視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。

DP5：視能訓練士を目指す者として、倫理観を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。

DP6：視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析し的確に判断することができる。

DP7：視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求（研究活動）に対して関心と意欲を持っている。

#### 8-5-4 カリキュラム・ポリシー

---

視機能療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：視機能療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な視機能評価と視能訓練計画を立案できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

CP3：視機能評価の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

CP4：常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる視能訓練士を育成するための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

## 8-5-5 教育目標

---

### <1 年次 (SBOs1) >

- CP1：保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する。
- CP2：保健医療福祉に関する基本的知識と視機能療法学のかかわりを理解する。
- CP3：視機能療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーション能力を高める。
- CP4：主体的で自律性を持った学修スタイルに転換し、学修方法や学生生活の自己管理方法など基礎能力を高める。

### <2 年次 (SBOs2) >

- CP1：保健医療福祉や異文化に関する発展的知識を修得する。
- CP2：病態に応じた視能検査手技を正確に実施できる。
- CP3：データと情報を適切に収集し、管理することができる。
- CP4：他職種と協働し、チームの一員として貢献できる。

### <3 年次 (SBOs3) >

- CP1：視機能療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する。
- CP2：病態に応じた視機能検査を正確に実施し、適切な視能矯正プログラムを計画できる。
- CP3：収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる。
- CP4：視機能療法の発展的な専門知識を修得し、関連する職種間との連携に貢献できる。

### <4 年次 (SBOs4) >

- CP1：視機能療法専門分野および関連領域における知識の修得と、それらを臨床応用できる能力を獲得する。
- CP2：医学的根拠に基づいた視機能検査および視能矯正プログラムを立案し評価をすることができる。
- CP3：臨床的な疑問点を解決するための応用的洞察力を涵養し、リサーチマインドを形成する。
- CP4：視機能療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる。





## 8-5-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-5-9 授業科目一覧」を参照してください。

### (1) 卒業に必要な単位数【視機能療法学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数		
			必 修	選 択	
総合教育科目	人間系		2単位	人間系、社会系、 自然・情報系、 総合系、外国語系、 保健体育系から、 さらに3単位以上	
	社会系		1単位		
	自然・情報系		12単位		
	総合系		1単位		
	外国語系		4単位 (5単位) ※1		4単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系				
	小 計		20単位 (21単位) ※1	4単位以上 (6単位以上または8単位以上) ※1	3単位以上
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	11単位		専門教育科目から  3単位以上
		学科専門基礎	25単位		
		小 計	36単位		
	専門科目		60単位		
	小 計		96単位		3単位以上
合 計			116単位 (117単位) ※1	4単位以上 (9単位以上または11単位以上) ※1	6単位以上
			126単位以上 (126単位以上または128単位以上) ※1		
総 計					

※1 ( )内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

#### 8-5-7 進級条件

---

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 学年必修専門基礎科目 11 科目のうち 9 科目以上修得していること。

なお、生理光学Ⅰ（基礎）の単位を修得していること。

必修専門科目の視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）の単位を修得していること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 学年までの必修の総合教育科目と専門基礎科目のうち未修得科目が 2 科目以下であること。

なお、視器解剖病態学、視覚運動生理学の単位を修得していること。

2 学年までの必修専門教育科目（専門基礎科目を除く）の単位をすべて修得していること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの全必修科目（総合教育科目、専門基礎科目、専門科目）の単位をすべて修得していること。

#### 8-5-8 科目履修条件

---

(1) 「生理光学Ⅲ（実践）」（全学生）

生理光学Ⅱ（応用）の単位を修得していること。

(2) 「視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）」（全学生）

視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）の単位を修得していること。

## 8-5-9 授業科目一覧（総合教育科目：視機能療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30	OC-0101-77C
		演劇論	1	2 3 4	1	15	OC-0102-77C
		心理学	1	2 3 4	2	30	OC-0104-17A
		哲学	1	2 3 4	2	30	OC-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30	OC-0106-77C
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30	OC-0107-77C
		人間学	1	2 3 4	2	30	OC-0108-77C
		歴史学	1	2 3 4	2	30	OC-0109-77C
		倫理学	1	2 3 4	2	30	OC-0110-77C
		宗教学	1	2 3 4	2	30	OC-0111-77C
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30	OC-0112-77C
		文化人類学	1	2 3 4	2	30	OC-0113-77C
		教育学	1	2 3 4	2	30	OC-0114-77C
		教育方法論	1	2 3 4	2	30	OC-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1	2 3 4	2	30	OC-0116-77C
		生きがい論	1	2 3 4	2	30	OC-0117-77C
	社会系	法学	1	2 3 4	2	30	OC-0201-77C
		日本国憲法	1	2 3 4	2	30	OC-0202-77C
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30	OC-0203-77C
		社会学	1	2 3 4	2	30	OC-0206-77C
		日本政治経済論	1	2 3 4	2	30	OC-0207-77C
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30	OC-0208-77C
		福祉経済学	1	2 3 4	2	30	OC-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30	OC-0212-77C
		国際関係論	1	2 3 4	2	30	OC-0223-77C
		世界の経済	1	2 3 4	2	30	OC-0220-77C
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30	OC-0224-77C
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30	OC-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2 3 4	1	30	OC-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3 4	1	45	OC-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1	2 3 4	1	30	OC-0228-17A
		地球環境論	1	2 3 4	2	30	OC-0229-77C
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30	OC-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30	OC-0231-77C
		手話入門	1	2 3 4	2	30	OC-0232-77C
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30	OC-0218-77C
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30	OC-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1	2 3 4	2	30	OC-0301-17A
		疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30	OC-0304-17A
		数学	1	2 3 4	2	30	OC-0305-17A
		物理学	1	2 3 4	2	30	OC-0306-17A
		化学	1	2 3 4	2	30	OC-0309-77C
		生物学	1	2 3 4	2	30	OC-0312-17A
		コンピュータの基礎	1	2 3 4	2	30	OC-0314-77A
		データリテラシー	1	2 3 4	1	30	OC-0318-17D
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30	OC-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30	OC-0321-72F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報	1	2 3 4	1	30	OC-0323-17A
		医学／医療史	1	2 3 4	2	30	OC-0324-77C
		人間工学	1	2 3 4	2	30	OC-0325-77C
	総合系	大学入門講座・医療人・社会人として成長するために・	1		1	30	OC-0401-11A
		郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15	OC-0402-77C
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15	OC-0403-77C
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30	OC-0404-77C
		総合講義～超高齢社会で認知症と向き合う～	1	2 3 4	1	15	OC-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2 3 4	1	15	OC-0406-77C
		食と人間	1	2	1	15	OC-0407-71C
		持続可能な発展	1	2 3 4	2	30	OC-0409-77C
		ボランティア実践	1	2 3 4	1	15	OC-0412-77I

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1		30		OC-0501-11D
		英語講読 2 (Basic)	1		30		OC-0502-11D
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		OC-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		OC-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1	30		OC-0505-11D
		英語 CALL2 (Basic)	1	1	30		OC-0506-11D
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4	1	30		OC-0516-82F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4	1	30		OC-0517-82F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4	1	30		OC-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4	1	30		OC-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4	1	30		OC-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4	1	30		OC-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4	1	30		OC-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4	1	30		OC-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4	1	30		OC-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4	1	30		OC-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4	1	30		OC-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4	1	30		OC-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4	1	30		OC-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4	1	30		OC-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4	1	30		OC-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4	1	30		OC-0617-70C
	保健	健康科学理論	1 2 3 4	1	15		OC-0701-77C
	体育系	健康科学実践	1 2 3 4	1	30		OC-0702-77I

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

8-5-9 授業科目一覧（専門教育科目：視機能療法学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	1	2		30		OC-1001-11A
	救急医学	2		1	15		OC-1002-72C
	微生物と病気	1 2 3 4	2		30		OC-1003-77C
	リハビリテーション概論	1	2		30		OC-1004-11A
	関連職種連携論	2	2		30		OC-1005-12A
	看護論	1		2	30		OC-1022-71C
	ケアマネジメント論	2		1	15		OC-1006-72C
	ケースワーク論	1 2		1	15		OC-1007-71C
	医療管理学	1 2		2	30		OC-1008-71C
	保健医療福祉制度論	1 2		2	30		OC-1009-71C
	社会福祉学	1	2		30		OC-1010-11A
	臨床心理学概論	2	2		30		OC-1011-12A
	福祉支援工学概論	1 2		2	30		OC-1013-71C
	関連職種連携ワーク	3	1		30		OC-1014-13D
	関連職種連携実習	4		1	45		OC-1015-74G
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		OC-1016-73C
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		OC-1017-72C
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		OC-1018-72C
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		OC-1019-72C
専門教育科目	専門基礎	解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）	1	1	30		OC-2101-11A
		解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）	1	1	30		OC-2102-11A
		生理学Ⅰ（植物性機能）	1	1	30		OC-2103-11A
		生理学Ⅱ（動物性機能）	1	1	30		OC-2104-11A
		人間発達学	1	1	30		OC-2105-11A
		病理学	2		1	30	OC-2106-72A
		関係法規・医学概論	2	1	15		OC-2107-12A
		内科学Ⅰ（基礎）	2	1	30		OC-2201-12A
		内科学Ⅱ（応用）	2		1	30	OC-2202-82A
		神経学	2		1	30	OC-2203-72A
		精神衛生	2	1	30		OC-2204-12A
		リハビリテーション医学	2	1	30		OC-2205-12A
		小児科学	2	1	30		OC-2206-12A
		老年学	2		1	30	OC-2207-72A
		神経心理学概論	2		2	30	OC-2208-72A
		薬理学	2	1	30		OC-2108-12A
		外科学	2		1	15	OC-2209-72A
		栄養学	2		1	15	OC-2109-72A
		保育	2	1	15		OC-2110-12A
		視能学概論	1	2	30		OC-2301-11A
		視器解剖生理学	1	2	30		OC-2302-11A
		視器解剖病態学	2	2	30		OC-2303-12A
		視覚運動生理学	2	2	30		OC-2304-12A
		生理光学Ⅰ（基礎）	1	2	30		OC-2305-11A
		視覚臨床生理学	3	2	30		OC-2306-33A
		高次脳機能障害	3	1	30		OC-2307-33A
	専門	生理光学Ⅱ（応用）	2	2	30		OC-3A01-22A
		生理光学Ⅲ（実践）	2	2	30		OC-3A02-22A
		生理光学実習	2	2	90		OC-3A03-22G
		臨床屈折矯正学演習	3	1	30		OC-3A04-33D
		視能障害学Ⅰ（基礎）	2	2	30		OC-3C01-12A
		視能障害学Ⅱ（応用）	3	2	30		OC-3C02-23A
		神経眼科学	3	2	30		OC-3C03-23A
		視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	1	2	30		OC-3A05-11A
		視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	2	2	30		OC-3A06-22A
		視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	2	2	30		OC-3A07-32A
		視能矯正学実習	2	2	90		OC-3A08-22G
		視能検査学Ⅰ（機能検査）	3	2	30		OC-3B01-23A
		視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）	3	2	30		OC-3B02-23A
		視能検査学実習Ⅰ（機能検査）	3	3	135		OC-3B03-23G
		視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	3	3	135		OC-3B04-23G

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）	2	2	30		OC-3D01-12A
		視能訓練学Ⅱ（弱視、斜視の病態）	3	2	30		OC-3D02-23A
		視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	3	2	30		OC-3D03-33A
		視能学総合演習Ⅰ（実践）	3	1	30		OC-3E01-23D
		視能学総合演習Ⅱ（発展）	4	2	60		OC-3E02-34D
		臨地実習Ⅰ（基本）	3	1	45		OC-3E03-13G
		臨地実習Ⅱ（応用）	4	1	45		OC-3E04-24G
		臨地実習Ⅲ（発展）	4	12	540		OC-3E05-34G
		視能学評価実習	4	1	45		OC-3E06-34G
		保健福祉実習	3	1	45		OC-3E07-23G
		視覚リハビリテーション	3	1	30		OC-3D04-23A
		視覚リハビリテーション演習	3	1	30		OC-3D05-23D
		視能学研究法Ⅰ（文献詳読）	3	1	15		OC-3F01-23J
		視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	3	1	15		OC-3F02-33J
		卒業研究	4		2	60	OC-3F03-94J

保健医療学部視機能療法学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2025(令和7)年度以降入学生版】

			ディプロマ・ポリシー（DP）							
			【DP1】 建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。	【DP2】 視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけている。	【DP3】 視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。	【DP4】 視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。	【DP5】 視能訓練士を目指す者として、倫理感を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。	【DP6】 視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析的確に判断することができる。	【DP7】 視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求（研究活動）に対して関心と意欲を持っている。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （ 到達目標・SBOs）	1  年  次	【SBOs1/CP1】 保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する	【DP1/SBOs1/CP1】 心理学、統計学、英語講読1（Primary）、英語講読2（Basic）、英語CALL1（Primary）、英語CALL2（Basic）、文学論、演劇論、哲学、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学、生きがい論、法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、組織運営管理論、経済の仕組み、経済の歴史、コンピュータの基礎、人間工学、郷土論～栃木学～、医療福祉教養講義、食と人間、持続可能な発展、ボランティア実践、英語会話1（Primary）、英語会話2（Basic）、聖書英語1（Primary）、聖書英語2（Basic）、医学英語1（Primary）、医学英語2（Basic）、英語リスニング1（Primary）、英語リスニング2（Basic）、英語ライティング1（Primary）、英語ライティング2（Basic）、英語医療通訳入門1（Primary）、英語医療通訳入門2（Basic）、資格英語1（Primary）、資格英語2（Basic）、基礎英文法1（Primary）、基礎英文法2（Basic）、上級英語会話1（発展）、上級英語会話2（総合）、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、スペイン語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎、医療管理学	【DP2/SBOs1/CP1】 公衆衛生学、リハビリテーション概論、解剖学Ⅰ（運動器系、内臓器系）、解剖学Ⅱ（内臓器系、神経系）、生理学Ⅰ（植物性機能）、生理学Ⅱ（動物性機能）、人間発達学、微生物と病気	【DP3/SBOs1/CP1】 アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、地球環境論、手話入門	【DP4/SBOs1/CP1】	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】	
		【SBOs1/CP2】 保健医療福祉に関する基本的知識と視機能療法学のかかわりを理解する	【DP1/SBOs1/CP2】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識、疫学・保健医療統計学、数学、物理学、生物学、医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-、視能学概論、化学、医学／医療史、健康科学理論、健康科学実践、看護論、ケースワーク論、保健医療福祉制度論	【DP2/SBOs1/CP2】 視能学概論、福祉支援工学概論	【DP3/SBOs1/CP2】 視能学概論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】	
		【SBOs1/CP3】 視機能療法に必要な論理的思考を養い、コミュニケーション能力を高める	【DP1/SBOs1/CP3】 総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-、総合講義（現代社会をどう見るか）	【DP2/SBOs1/CP3】 視器解剖生理学、生理光学Ⅰ（基礎）	【DP3/SBOs1/CP3】 社会福祉学、コミュニケーション概論、雑談と傾聴～話す力と聴く力～、メディカルマナー入門	【DP4/SBOs1/CP3】 生理光学Ⅰ（基礎）、視能矯正学Ⅰ（外眼筋の作用と眼球運動）	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】	
		【SBOs1/CP4】 主体的で自律性を持った学修スタイルに転換し、学修方法や学生生活の自己管理方法など基礎能力を高める	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】	【DP6/SBOs1/CP4】 データリテラシー	【DP7/SBOs1/CP4】	
	2  年  次	【SBOs2/CP1】 保健医療福祉や異文化に関する発展的知識を修得する	【DP1/SBOs2/CP1】 英語講読3（Intermediate）、英語講読4（Advanced）、英語会話3（Intermediate）、英語会話4（Advanced）、ケアマネジメント論	【DP2/SBOs2/CP1】 臨床心理学概論、関係法規・医学概論、救急医学、栄養学	【DP3/SBOs2/CP1】 レクリエーション概論 海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ	【DP4/SBOs2/CP1】	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】	
		【SBOs2/CP2】 病態に応じた視能検査手技を正確に実施できる	【DP1/SBOs2/CP2】 視能障害学Ⅰ（基礎）	【DP2/SBOs2/CP2】 視器解剖病態学、視覚運動生理学、視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）、内科学Ⅰ（基礎）、病理学、内科学Ⅱ（応用）、神経学、外科学、神経心理学概論	【DP3/SBOs2/CP2】 保育	【DP4/SBOs2/CP2】 視能訓練学Ⅰ（病態評価の基本的知識）、視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】	
		【SBOs2/CP3】 データと情報を適切に収集し、管理することができる	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】 生理光学Ⅱ（応用）、生理光学Ⅲ（実践）、生理光学実習、薬理学	【DP3/SBOs2/CP3】	【DP4/SBOs2/CP3】 視能矯正学Ⅱ（両眼視の基礎）、視能矯正学実習、生理光学Ⅱ（応用）、生理光学Ⅲ（実践）	【DP5/SBOs2/CP3】 電子カルテシステム入門	【DP6/SBOs2/CP3】 エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）、医療データサイエンスⅠ（DS基礎）、医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	【DP7/SBOs2/CP3】	
		【SBOs2/CP4】 多職種と協働し、チームの一員として貢献できる	【DP1/SBOs2/CP4】	【DP2/SBOs2/CP4】 リハビリテーション医学、精神衛生、小児科学、老年学	【DP3/SBOs2/CP4】 海外保健福祉事情Ⅰ・Ⅱ	【DP4/SBOs2/CP4】 視能矯正学Ⅲ（弱視・斜視の基本的知識）	【DP5/SBOs2/CP4】 関連職種連携論	【DP6/SBOs2/CP4】	【DP7/SBOs2/CP4】	



			ディプロマ・ポリシー（DP）						
			【DP1】 建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。	【DP2】 視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけている。	【DP3】 視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。	【DP4】 視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。	【DP5】 視能訓練士を目指す者として、倫理感を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。	【DP6】 視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析し的確に判断することができる。	【DP7】 視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求（研究活動）に対して関心と意欲を持っている。
各 年 次 の 教 育 目 標 （ 到達目標・SBOs）	3 年 次	【SBOs3/CP1】 視機能療法専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】 視能検査学Ⅰ（機能検査）、視覚臨床生理学、 <a href="#">リスクマネジメント論</a>	【DP3/SBOs3/CP1】	【DP4/SBOs3/CP1】 神経眼科学、視覚リハビリテーション、視覚臨床生理学	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】	【DP7/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 病態に応じた視機能検査を正確に実施し、適切な視能矯正プログラムを計画できる	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】 臨床屈折矯正学演習、視能障害学Ⅱ（応用）、視能検査学Ⅱ（形態・画像検査）、視覚臨床生理学	【DP3/SBOs3/CP2】 保健福祉実習	【DP4/SBOs3/CP2】 視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）、視覚リハビリテーション演習、視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	【DP5/SBOs3/CP2】 保健福祉実習	【DP6/SBOs3/CP2】 視能検査学実習Ⅱ（形態・画像検査）	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 収集した情報を基に、障害像の統合と解釈ができる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】 視能検査学実習Ⅰ（機能検査）、視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	【DP3/SBOs3/CP3】	【DP4/SBOs3/CP3】 高次脳機能障害、視能訓練学Ⅱ（弱視、斜視の病態）、視能訓練学Ⅲ（視能矯正管理の実践）	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】 視能学総合演習Ⅰ（実践）	【DP7/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 視機能療法の発展的な専門知識を修得し、関連する職種間との連携に貢献できる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】 臨地実習Ⅰ（基本）	【DP5/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク、臨地実習Ⅰ（基本）	【DP6/SBOs3/CP4】 臨地実習Ⅰ（基本）、視能学研究法Ⅰ（文献詳読）、視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）	【DP7/SBOs3/CP4】 視能学研究法Ⅰ（文献詳読）、視能学研究法Ⅱ（データ解析と考察）
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 視機能療法専門分野および関連領域における知識の修得と、それらを臨床応用できる能力を獲得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】 視能学評価実習	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 医学的根拠に基づいた視機能検査および視能矯正プログラムを立案し評価をすることができる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】	【DP5/SBOs4/CP2】 臨地実習Ⅱ（応用）、臨地実習Ⅲ（発展）	【DP6/SBOs4/CP2】 臨地実習Ⅱ（応用）、臨地実習Ⅲ（発展）	【DP7/SBOs4/CP2】 臨地実習Ⅱ（応用）、臨地実習Ⅲ（発展）
		【SBOs4/CP3】 臨床的な疑問点を解決するための応用的洞察力を涵養し、リサーチマインドを形成する	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】 <a href="#">卒業研究</a>	【DP7/SBOs4/CP3】 <a href="#">卒業研究</a>
		【SBOs4/CP4】 視機能療法における応用的・発展的な知識を修得し、関連職種へ情報提供および共有することができる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 <a href="#">関連職種連携実習</a>	【DP6/SBOs4/CP4】 視能学総合演習Ⅱ（発展）	【DP7/SBOs4/CP4】 視能学総合演習Ⅱ（発展）

保健医療学部 視機能療法学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】

ディプロマ・ポリシー

視機能療法学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。  
DP1:建学の精神「共に生きる社会」の実現を目指すことに共感し、医療専門職としての倫理観を身につけている。  
DP2:視能訓練士を目指す者として、視覚科学および眼科医療に必要な基本的な知識を身につけ理解している。  
DP3:視能訓練士を目指す者として、グローバルな視点を持ち、保健・医療・福祉について世界の情勢を広く理解している。  
DP4:視能訓練士を目指す者として、視機能の評価および治療に必要な知識と技術を身につけている。  
DP5:視能訓練士を目指す者として、倫理観を持ち、他職種との連携を通して視能訓練士の役割を理解し実践できる。  
DP6:視能訓練士を目指す者として、備えた知識や情報を科学的観点から分析的確に判断することができる。  
DP7:視能訓練士を目指す者として、向上心を持ち生涯学習の重要性を理解するとともに、新しい知識の追求(研究活動)に対して関心と意欲を持っている。

カリキュラム・ポリシー

視機能療法学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。  
CP1:視機能療法や関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。  
CP2:獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、病態に応じた適切な視機能評価と視能訓練計画を立案できる視能訓練士を育成するための科目を設定する。  
CP3:視機能評価の過程で得た情報を定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有し、チームを構築して問題解決にあたることのできる視能訓練士を育成するための科目を設定する。  
CP4:常に向上心を持って自己研鑽に努め、修得した知識や技術を関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる視能訓練士を育成するための科目を設定する。  
学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

		1年次		2年次		3年次		4年次	
分野・領域		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目	人間系	心理学							
	社会系	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識							
	自然・情報系	数学	統計学	医療データサイエンスⅠ(DS基礎)	医療データサイエンスⅡ(AI基礎)				
			疫学・保健医療統計学						
		物理学							
		生物学							
専門基礎／学部共通	総合系	データリテラシー							
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-							
		大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-							
		英語講読1	英語講読2						
	外国語系	英語CALL1	英語CALL2						
		医療管理学	微生物と病気	救急医学	臨床心理学概論		リスクマネジメント論		
専門基礎	専門基礎学部共通	保健医療福祉制度論	看護論	ケアマネジメント論	電子カルデシステム入門				
			ケースワーク論	エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)	レクリエーション概論				
			公衆衛生学						
			社会福祉学			関連職種連携論	関連職種連携ワーク	関連職種連携実習	
	基礎医学		福祉支援工学概論						
			リハビリテーション概論						
専門	臨床医学		人間発達学	保育	関係法規・医学概論				
		解剖学Ⅰ(運動器系、内臓器系)	解剖学Ⅱ(内臓器系、神経系)	病理学	薬理学				
		生理学Ⅰ(植物性機能)	生理学Ⅱ(動物性機能)		栄養学(前半)				
				小児科学	精神衛生				
	視覚機能の基礎及び障害の成り立ち				神経心理学概論				
				内科学Ⅰ(基礎)	内科学Ⅱ(応用)				
専門	視能矯正学			神経学					
				老年学					
				外科学(後半)					
				リハビリテーション医学					
	視能検査学	視能学概論	生理光学Ⅰ(基礎)	視器解剖病態学	視覚運動生理学	視覚臨床生理学	高次脳機能障害		
			視器解剖生理学	視能矯正学Ⅱ(両眼視の基礎)	視能矯正学Ⅲ(弱視・斜視の基本的知識)				
			視能矯正学Ⅰ(外眼筋の作用と眼球運動)						
				視能矯正学実習					
	視能障害学			生理光学Ⅱ(応用)	生理光学Ⅲ(実践)	臨床屈折矯正学演習			
				生理光学実習					
専門	視能訓練学								
	視能学演習・実習科目								
	視能学研究								

## 8-6 保健医療学部 放射線・情報科学科

### 8-6-1 教育研究上の目的

保健医療学部教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部放射線・情報科学科教育研究上の目的

放射線・情報科学科は、基礎から高度な専門技術まで、時代が求める質の高い医療の実現のためのハイレベルな専門知識と最先端技術を修得し、臨床現場における対応力を培い、社会に貢献する診療放射線技師の育成を目的とする。

### 8-6-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、診療放射線技師として「共に生きる社会」の実現に強く貢献したいと考え、これからの時代の保健医療を担っていこうとする情熱を持ち、自ら積極的に学ぶ意欲と能力を持つ人

#### 2. 放射線・情報科学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

診療放射線学分野で学修するために必要な数学、物理学、化学、生物学の基礎知識を有しており、さらに、科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するために必要な文章読解力、語学力の基礎技能を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

様々な事象を客観的かつ科学的に思考し、判断しようとする能力、また、得られた結果を相手の立場に立って分かりやすく伝えようとする表現力やコミュニケーション能力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を養うため、自ら積極的に研鑽する態度、また、自己の成長だけでなく、他者や周囲の環境にも目を向けて貢献しようとする姿勢を身につけていること。

### 8-6-3 ディプロマ・ポリシー

---

放射線・情報科学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマ・ポリシーを達成した学生に学位を授与する。

DP1：診療放射線技師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を修得している。

DP2：診療放射線技師を目指す者として必要な医学、医療、理工学および情報科学の基礎知識を有し、様々な事象を理解できる能力を修得している。

DP3：診療放射線技師を目指す者として必要な診療に係る専門知識と技術を有し、さらに情報科学の技術を駆使して臨床的に推論できる能力を修得している。

DP4：診療放射線技師を目指す者として必要な放射線を取り扱う上での安全管理や医療全般における安全管理に係る知識を有し、実践できる能力を修得している。

DP5：診療放射線技師を目指す者として、チーム医療を担うという価値を自覚し、他職種との連携が図れる能力を修得している。

DP6：診療放射線技師を目指す者として、診療行為や医療情報の適切な運用が自然に実践できる能力を修得している。

DP7：診療放射線技師を目指す者として、常に知的探究心を有し、問題解決できる能力を修得している。

#### 8-6-4 カリキュラム・ポリシー

---

放射線・情報科学科では教育目標を学生が達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。

CP1：診療放射線技師教育における基礎および専門分野の知識を体系的に理解するとともに、多文化・異文化に関する知識、人類の文化・社会と自然に関する知識を養うための科目を設定する。

CP2：診療放射線技師教育における獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を養うための科目を設定する。

CP3：診療放射線技師教育における臨床的技能としてのコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を養うための科目を設定する。

CP4：診療放射線技師教育における医療従事者としての自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任感、生涯学習力を養うための科目を設定する。

学業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学修到達度を評価して判断する。

## 8-6-5 教育目標

---

### <1 年次 (SBOs1) >

CP1：診療放射線技師に必要な教養や基礎知識を修得できる。

CP2：基礎知識を利用して課題を解決する能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師に必要な臨床的技能を学ぶための基礎を修得できる。

CP4：診療放射線技師を目指す学生としての豊かな人間性、医療福祉の幅広い知識を修得できる。

### <2 年次 (SBOs2) >

CP1：診療放射線技師に必要な基礎知識に加え専門知識を修得できる。

CP2：専門知識を利用して課題を解決する基礎的な技術と能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師に必要な臨床的基礎技術と能力を修得できる。

CP4：診療放射線技師だけでなく医療福祉における他職種の役割を理解できる。

### <3 年次 (SBOs3) >

CP1：診療放射線技師に必要な専門的で実践的な知識を修得できる。

CP2：専門知識を利用して課題を解決する実践的な技術と能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師に必要な臨床的技能を実践できる。

CP4：医療福祉における職種間のチームワーク、リーダーシップを理解できる。

### <4 年次 (SBOs4) >

CP1：診療放射線技師としてさらに専門性の高い知識を修得する。

CP2：専門知識を利用して課題を安全に解決し、高度な管理を実践する能力を修得できる。

CP3：診療放射線技師としてさらに高度な技能を実践できる。

CP4：診療放射線技師として発展し続ける能力、職種間連携を実践できる能力を修得できる。



## 8-6-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-6-9 授業科目一覧」を参照してください。

### (1) 卒業に必要な単位数【放射線・情報科学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数			
			必 修	選 択		
総合教育科目	人間系				2単位以上	人間系、 社会系、 自然・情報系、 総合系、 外国語系、 保健体育系 から、 さらに 5単位以上
	社会系		1単位		2単位以上	
	自然・情報系		4単位			
	総合系		1単位			
	外国語系		4単位 (5単位) ※2	4単位以上 ※1 (3単位以上 または 5単位以上) ※2		
	保健体育系					
	小 計		10単位 (11単位) ※2	4単位以上 (12単位以上または14単位以上) ※2	9単位以上	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	5単位		専門教育科目から  5単位以上	
		学科専門基礎	19単位			
		小 計	24単位			
	専門科目		76単位			
	小 計		100単位		5単位以上	
合 計			110単位 (111単位) ※2	4単位以上 (17単位以上または19単位以上) ※2	14単位以上	
			128単位以上 (128単位以上または130単位以上) ※2			
総 計						

※1 後述の「8-6-8 科目履修条件」に従うこと。

※2 ( )内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。



#### 8-6-7 進級条件

---

(1) 1 学年から 2 学年への進級条件

1 学年の全必修科目のうち、単位未修得科目数が 4 科目以下であること。

(2) 2 学年から 3 学年への進級条件

2 学年までの全必修科目のうち、単位未修得科目数が 2 科目以下であること、および選択科目から 10 単位以上修得していること。

(3) 3 学年から 4 学年への進級条件

3 学年までの全必修科目のうち、単位未修得科目数が 2 科目以下であること。

#### 8-6-8 科目履修条件

---

(1) 外国語系選択科目の履修条件

外国語系選択科目の履修条件は、「英語」科目から 2 単位を履修すること、および英語科目またはその他の外国語科目の中から 2 単位を履修すること。

(2) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-6-9 授業科目一覧（総合教育科目：放射線・情報科学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1	2 3 4	2	30	OR-0101-77C
		演劇論	1	2 3 4	1	15	OR-0102-77C
		心理学	1	2 3 4	2	30	OR-0104-77C
		哲学	1	2 3 4	2	30	OR-0105-77C
		コミュニケーション概論	1	2 3 4	2	30	OR-0106-77C
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1	2 3 4	2	30	OR-0107-77C
		人間学	1	2 3 4	2	30	OR-0108-77C
		歴史学	1	2 3 4	2	30	OR-0109-77C
		倫理学	1	2 3 4	2	30	OR-0110-77C
		宗教学	1	2 3 4	2	30	OR-0111-77C
		日本近現代史	1	2 3 4	2	30	OR-0112-77C
		文化人類学	1	2 3 4	2	30	OR-0113-77C
		教育学	1	2 3 4	2	30	OR-0114-77C
		教育方法論	1	2 3 4	2	30	OR-0115-77C
		死生学-死を通して生を考える-	1	2 3 4	2	30	OR-0116-77C
	社会系	生きがい論	1	2 3 4	2	30	OR-0117-77C
		法学	1	2 3 4	2	30	OR-0201-77C
		日本国憲法	1	2 3 4	2	30	OR-0202-77C
		法と道徳・倫理	1	2 3 4	2	30	OR-0203-77C
		社会学	1	2 3 4	2	30	OR-0206-77C
		日本政治経済論	1	2 3 4	2	30	OR-0207-77C
		マスメディア論	1	2 3 4	2	30	OR-0208-77C
		福祉経済学	1	2 3 4	2	30	OR-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1	2 3 4	2	30	OR-0212-77C
		国際関係論	1	2 3 4	2	30	OR-0223-77C
		世界の経済	1	2 3 4	2	30	OR-0220-77C
		国際医療福祉論	1	2 3 4	2	30	OR-0224-77C
		組織運営管理論	1	2 3 4	2	30	OR-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2 3 4	1	30	OR-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2 3 4	1	45	OR-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1		1	30	OR-0228-17B
		地球環境論	1	2 3 4	2	30	OR-0229-77C
		ボランティア論	1	2 3 4	2	30	OR-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1	2 3 4	2	30	OR-0231-77C
		手話入門	1	2 3 4	2	30	OR-0232-77C
		経済の仕組み	1	2 3 4	2	30	OR-0218-77C
		経済の歴史	1	2 3 4	2	30	OR-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1	2 3 4	2	30	OR-0301-77C
		疫学・保健医療統計学	1	2 3 4	2	30	OR-0304-77C
		数学	1	2 3 4	2	30	OR-0305-77C
		物理学	1	2 3 4	2	30	OR-0306-77C
		化学	1	2 3 4	2	30	OR-0309-77C
		生物学	1		2	30	OR-0312-71C
		コンピュータの基礎	1		2	30	OR-0314-11A
		データリテラシー	1		1	30	OR-0318-11D
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）		2 3 4	1	30	OR-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）		2 3 4	1	30	OR-0321-72F
		医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1		1	30	OR-0323-17B
		医学／医療史	1	2 3 4	2	30	OR-0324-77C
		人間工学	1	2 3 4	2	30	OR-0325-77C
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1		1	30	OR-0401-11B
		郷土論～栃木学～	1	2 3 4	1	15	OR-0402-77C
		医療福祉教養講義	1	2 3 4	1	15	OR-0403-77C
		メディカルマナー入門	1	2 3 4	2	30	OR-0404-77C
		総合講義－超高齢社会で認知症と向き合う－	1	2 3 4	1	15	OR-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1	2 3 4	1	15	OR-0406-77C
		食と人間	1	2	1	15	OR-0407-71C
		持続可能な発展	1	2 3 4	2	30	OR-0409-77C
		ボランティア実践	1	2 3 4	1	15	OR-0412-77I

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
				必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30		OR-0501-11E
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30		OR-0502-11E
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		OR-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		OR-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30		OR-0505-11E
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30		OR-0506-11E
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		OR-0516-82F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		OR-0517-82F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OR-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OR-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30		OR-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30		OR-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30		OR-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		OR-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		OR-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		OR-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		OR-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		OR-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4		1	30		OR-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30		OR-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30		OR-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		OR-0617-70C
	保健	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		OR-0701-77C
	体育系	健康科学実践	1 2 3 4		1	30		OR-0702-77I

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

## 8-6-9 授業科目一覧（専門教育科目：放射線・情報科学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門基礎／学部共通	公衆衛生学	2	2		30		OR-1001-12A
	救急医学	2		1	15		OR-1002-72C
	微生物と病気	1 2 3 4		2	30		OR-1003-77C
	リハビリテーション概論	1 2 3 4		2	30		OR-1004-77C
	関連職種連携論	2	2		30		OR-1005-12B
	看護論	1		2	30		OR-1022-71C
	ケアマネジメント論	2 3 4		1	15		OR-1006-72C
	ケースワーク論	1 2 3 4		1	15		OR-1007-77C
	医療管理学	1 2 3 4		2	30		OR-1008-77C
	保健医療福祉制度論	1 2 3 4		2	30		OR-1009-77C
	社会福祉学	1 2 3 4		2	30		OR-1010-77C
	臨床心理学概論	1 2 3 4		2	30		OR-1011-77C
	福祉支援工学概論	1 2 3 4		2	30		OR-1013-77C
	関連職種連携ワーク	3	1		30		OR-1014-13E
	関連職種連携実習	4		1	45		OR-1015-74H
	リスクマネジメント論	3 4		2	30		OR-1016-73C
	電子カルテシステム入門	2 3 4		1	15		OR-1017-72C
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	2 3 4		1	15		OR-1018-72C
	レクリエーション概論	2 3 4		1	15		OR-1019-72C
専門基礎	基礎数学	1	1		30		OR-2101-11A
	基礎統計学	2	1		30		OR-2107-12B
	自然科学概論	1	2		30		OR-2102-11A
	基礎物理学	1	1		30		OR-2104-11A
	基礎化学	1	1		30		OR-2105-11A
	基礎生物学	1	1		30		OR-2106-11A
	自然科学実験	1	1		45		OR-2103-11G
	解剖学Ⅰ（運動器系・循環器系・内臓系）	1	1		30		OR-2202-11A
	解剖学Ⅱ（内臓系・神経系・感覚器系）	1	1		30		OR-2203-11A
	生理学	1	2		30		OR-2204-21A
	病理学	2	2		30		OR-2205-22A
	病態生理学	2	1		15		OR-2206-22A
	臨床解剖学	3	1		30		OR-2207-23A
	医学概論	1	2		30		OR-2201-11A
	看護概論	3	1		15		OR-2208-13A
専門教育科目	応用数学	1		1	30		OR-3B03-91C
	放射線物理学Ⅰ（基礎）	1	1		30		OR-3B01-21A
	放射線物理学Ⅱ（発展）	2	1		30		OR-3B05-32A
	放射化学	2	1		30		OR-3B07-22A
	放射線生物学	2	1		30		OR-3B06-22A
	放射線科学演習	2		1	30		OR-3B10-82F
	放射線計測学	2	1		30		OR-3B08-22A
	放射線計測学実験	2	1		45		OR-3B12-22G
	放射線管理学	2	2		30		OR-3G01-22A
	放射線管理学実験	4	1		45		OR-3G03-34G
	放射線関係法規	3	1		15		OR-3G02-23A
	画像情報学Ⅰ（感光理論・処理）	1	2		30		OR-3F01-11A
	画像情報学Ⅱ（画質評価）	1	2		30		OR-3F02-21A
	画像情報学実験	1	1		45		OR-3F03-11G
	画像情報学特論	4		1	30		OR-3F05-94C
	コンピュータ演習Ⅰ（データ処理）	1		1	30		OR-3B04-71F
	コンピュータ演習Ⅱ（プログラミング）	2		1	30		OR-3B11-82F
	医療情報システム論	3	1		15		OR-3F04-33A
	医用工学	1	1		30		OR-3B02-21A
	医用工学演習	2	1		30		OR-3B09-22D
	X線機器工学	1	2		30		OR-3C03-21A
	診療画像機器工学	2	1		30		OR-3C08-22A
	X線機器工学実験	2	1		45		OR-3C07-22G
	診療画像機器工学実験	2	1		45		OR-3C11-22G
	診療放射線概論	1	1		15		OR-3C01-11A
	診療画像検査学概論	1	1		15		OR-3C02-11A
	X線検査学Ⅰ（単純撮影・他）	2	1		30		OR-3C04-22A
	X線検査学Ⅱ（造影検査・他）	2	1		30		OR-3C09-22A

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門 教育科目	専門	X線CT検査学	2	2	30		OR-3C06-22A
		MR I 検査学	2	2	30		OR-3C12-22A
		MR I 特論	4	1	30		OR-3C16-94C
		超音波検査学	2	2	30		OR-3C13-22A
		診療画像学実験 I (X線検査・他)	2	1	45		OR-3C05-22G
		診療画像学実験 II (CT・MRI・超音波検査・他)	2	1	45		OR-3C10-32G
		核医学 I (基礎)	2	2	30		OR-3D01-22A
		核医学 II (臨床)	3	2	30		OR-3D02-23A
		核医学実験	3	2	60		OR-3D03-23G
		核医学特論	4	1	30		OR-3D04-94C
		放射線治療学 I (物理・技術)	2	2	30		OR-3E01-22A
		放射線治療学 II (臨床)	3	2	30		OR-3E03-33A
		放射線治療機器工学	2	1	15		OR-3E02-22A
		放射線治療学実験	3	2	60		OR-3E04-23G
		放射線腫瘍特論	4	1	30		OR-3E05-94C
		画像解剖学	2	1	30		OR-3C14-22A
		画像診断学	4	1	30		OR-3C15-34A
		画像診断学演習	4	1	30		OR-3C17-94F
		死亡時画像診断学	4	1	30		OR-3C18-84C
		臨床医学 I (基礎)	3	1	30		OR-3A01-23A
		臨床医学 II (発展)	4	1	30		OR-3A03-34A
		臨床薬理学	3	1	15		OR-3A02-23A
		放射線救急医学	3	2	30		OR-3H02-23A
		医療安全概論	3	1	30		OR-3H01-23A
		医療安全管理学	4	1	30		OR-3H03-24A
		臨床画像学演習	3	2	60		OR-3I01-33D
		診療画像臨床実習	3	8	360		OR-3J01-33G
		核医学検査臨床実習	3	2	90		OR-3J02-33G
		放射線治療臨床実習	3	2	90		OR-3J03-33G
		診療放射線特論	4	1	30		OR-3K01-34B
		放射線学演習 I (基礎)	4	1	30		OR-3K02-34D
		放射線学演習 II (総合)	4	1	30		OR-3K03-34D
		卒業研究 I (調査・計画)	4	1	45		OR-3L01-34K
		卒業研究 II (研究報告)	4	1	45		OR-3L02-34K

放射線・情報科学科DP-教育目標カリキュラムマップ【2025(令和7)年度以降入学生版】

		ディプロマ・ポリシー(DP)							
		【DP1】 診療放射線技師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を修得している	【DP2】 診療放射線技師を目指す者として必要な医学、医療、理工学および情報科学の基礎知識を有し、様々な事象を理解できる能力を修得している	【DP3】 診療放射線技師を目指す者として必要な診療に係る専門知識と技術を有し、さらに情報科学の技術を駆使して臨床的に推論できる能力を修得している	【DP4】 診療放射線技師を目指す者として必要な放射線を取り扱う上での安全管理や医療全における安全管理に係る知識を有し、実践できる能力を修得している	【DP5】 診療放射線技師を目指す者として、チーム医療を担うという価値を自覚し、他職種との連携が図れる能力を修得している	【DP6】 診療放射線技師を目指す者として、診療行為や医療情報の適切な運用が自然に実践できる能力を修得している	【DP7】 診療放射線技師を目指す者として、常に知的探究心を有し、問題解決できる能力を修得している	
各 年 次 の 教 育 目 標 （ 到達 目 標 ・ S B O s ）	1 年 次	【SBOs1/CP1】 ①診療放射線技師に必要な教養や基礎知識を修得できる	【DP1/SBOs1/CP1】 英語講読1(Primary) 英語講読2(Basic) 英語CALL1(Primary) 英語CALL2(Basic) 総合教育科目(自然・情報系) 総合教育科目(総合系) 総合教育科目(外国語系) 総合教育科目(人間系) 総合教育科目(社会系) 総合教育科目(保健体育系)	【DP2/SBOs1/CP1】 コンピュータの基礎 データリテラシー 解剖学Ⅰ(運動器系・循環器系・内臓系) 解剖学Ⅱ(内臓系・神経系・感覚器系) 生理学 医学概論 基礎数学 自然科学概論 基礎物理学 基礎化学 基礎生物学 放射線物理学Ⅰ(基礎) 医用工学 微生物と病気 応用数学 コンピュータ演習Ⅰ(データ処理)	【DP3/SBOs1/CP1】 X線機器工学 画像情報学Ⅰ(感光理論・処理) 画像情報学Ⅱ(画質評価)	【DP4/SBOs1/CP1】	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】	【DP7/SBOs1/CP1】
		【SBOs1/CP2】 ②基礎知識を利用して課題を解決する能力を修得できる	【DP1/SBOs1/CP2】 自然科学実験	【DP2/SBOs1/CP2】 自然科学実験	【DP3/SBOs1/CP2】 画像情報学実験	【DP4/SBOs1/CP2】	【DP5/SBOs1/CP2】	【DP6/SBOs1/CP2】	【DP7/SBOs1/CP2】
		【SBOs1/CP3】 ③診療放射線技師に必要な臨床的技能を学ぶための基礎を修得できる	【DP1/SBOs1/CP3】	【DP2/SBOs1/CP3】	【DP3/SBOs1/CP3】 診療画像検査学概論	【DP4/SBOs1/CP3】	【DP5/SBOs1/CP3】	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 ④診療放射線技師を目指す学生としての豊かな人間性、医療福祉の幅広い知識を修得できる	【DP1/SBOs1/CP4】 大学入門講座 -医療人・社会人として成長するために- 医療必修 -医療の倫理とプロ意識・医療情報- 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	【DP2/SBOs1/CP4】	【DP3/SBOs1/CP4】 診療放射線概論	【DP4/SBOs1/CP4】	【DP5/SBOs1/CP4】 リハビリテーション概論 看護論 ケースワーク論 医療管理学 保健医療福祉制度論 社会福祉学 臨床心理学概論 福祉支援工学概論	【DP6/SBOs1/CP4】	【DP7/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 ①診療放射線技師に必要な基礎知識に加え専門知識を修得できる	【DP1/SBOs2/CP1】 総合教育科目(外国語系) 総合教育科目(社会系)	【DP2/SBOs2/CP1】 公衆衛生学 基礎統計学 病理学 病態生理学 放射線物理学Ⅱ(発展) 放射化学 放射線生物学 救急医学 コンピュータ演習Ⅱ(プログラミング) 医療データサイエンスⅠ(DS基礎) 医療データサイエンスⅡ(AI基礎)	【DP3/SBOs2/CP1】 画像解剖学 診療画像機器工学 X線検査学Ⅰ(単純撮影・他) X線検査学Ⅱ(造影検査・他) X線CT検査学 MRI検査学 超音波検査学 核医学Ⅰ(基礎) 放射線治療学Ⅰ(物理・技術) 放射線治療機器工学	【DP4/SBOs2/CP1】 放射線計測学 放射線管理学	【DP5/SBOs2/CP1】	【DP6/SBOs2/CP1】	【DP7/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 ②専門知識を利用して課題を解決する基礎的な技術と能力を修得できる	【DP1/SBOs2/CP2】	【DP2/SBOs2/CP2】 医用工学演習 放射線科学演習	【DP3/SBOs2/CP2】 X線機器工学実験 診療画像機器工学実験	【DP4/SBOs2/CP2】 放射線計測学実験	【DP5/SBOs2/CP2】	【DP6/SBOs2/CP2】	【DP7/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 ③診療放射線技師に必要な臨床的基礎技術と能力を修得できる	【DP1/SBOs2/CP3】	【DP2/SBOs2/CP3】	【DP3/SBOs2/CP3】 診療画像学実験Ⅰ(X線検査・他) 診療画像学実験Ⅱ (CT・MRI・超音波検査・他)	【DP4/SBOs2/CP3】	【DP5/SBOs2/CP3】	【DP6/SBOs2/CP3】	【DP7/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 ④診療放射線技師だけでなく医療福祉における他職種の役割を理解できる	【DP1/SBOs2/CP4】 レクリエーション概論	【DP2/SBOs2/CP4】	【DP3/SBOs2/CP4】	【DP4/SBOs2/CP4】	【DP5/SBOs2/CP4】 関連職種連携論 ケアマネジメント論 電子カルテシステム入門	【DP6/SBOs2/CP4】	【DP7/SBOs2/CP4】 エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)
	3 年 次	【SBOs3/CP1】 ①診療放射線技師に必要な専門的で実践的な知識を修得できる	【DP1/SBOs3/CP1】	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】 臨床解剖学 医療情報システム論 放射線救急医学 臨床医学Ⅰ(基礎) 臨床薬理学 核医学Ⅱ(臨床) 放射線治療学Ⅱ(臨床)	【DP4/SBOs3/CP1】 放射線関係法規	【DP5/SBOs3/CP1】	【DP6/SBOs3/CP1】 医療安全概論	【DP7/SBOs3/CP1】
		【SBOs3/CP2】 ②専門知識を利用して課題を解決する実践的な技術と能力を修得できる	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】	【DP4/SBOs3/CP2】	【DP5/SBOs3/CP2】	【DP6/SBOs3/CP2】	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 ③診療放射線技師に必要な臨床的技能を実践できる	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】 核医学実験 放射線治療学実験	【DP4/SBOs3/CP3】	【DP5/SBOs3/CP3】	【DP6/SBOs3/CP3】 臨床画像学演習 診療画像臨床実習 核医学検査臨床実習 放射線治療臨床実習	【DP7/SBOs3/CP3】
		【SBOs3/CP4】 ④医療福祉における職種間のチームワーク、リーダーシップを理解できる	【DP1/SBOs3/CP4】	【DP2/SBOs3/CP4】	【DP3/SBOs3/CP4】	【DP4/SBOs3/CP4】 リスクマネジメント論	【DP5/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク 看護概論	【DP6/SBOs3/CP4】	【DP7/SBOs3/CP4】
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 ①診療放射線技師としてさらに専門性の高い知識を修得する	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】 臨床医学Ⅱ(発展) 画像診断学 MRI特論 核医学特論 死亡時画像診断学 放射線腫瘍特論 画像情報学特論	【DP4/SBOs4/CP1】 医療安全管理学	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 ②専門知識を利用して課題を安全に解決し、高度な管理を実践する能力を修得できる	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】 放射線管理学実験	【DP5/SBOs4/CP2】	【DP6/SBOs4/CP2】	【DP7/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 ③診療放射線技師としてさらに高度な技能を実践できる	【DP1/SBOs4/CP3】	【DP2/SBOs4/CP3】	【DP3/SBOs4/CP3】 画像診断学演習	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】
		【SBOs4/CP4】 ④診療放射線技師として発展し続ける能力、職種間連携を実践できる能力を修得できる	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】	【DP5/SBOs4/CP4】 関連職種連携実習	【DP6/SBOs4/CP4】	【DP7/SBOs4/CP4】 診療放射線特論 放射線学演習Ⅰ(基礎) 放射線学演習Ⅱ(総合) 卒業研究Ⅰ(調査・計画) 卒業研究Ⅱ(研究報告)

保健医療学部 放射線・情報科学科 履修系統図【2025(令和7)年度入学生から】

ディプロマポリシー

DP1: 診療放射線技師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感・思いやりの心などの豊かな人間性を修得している。  
DP2: 診療放射線技師を目指す者として必要な医学、医療、理工学および情報科学の基礎知識を有し、様々な事象を理解できる能力を修得している。  
DP3: 診療放射線技師を目指す者として必要な診療に係る専門知識と技術を有し、さらに情報科学の技術を駆使して臨床的に推論できる能力を修得している。  
DP4: 診療放射線技師を目指す者として必要な放射線を取り扱う上での安全管理や医療全般における安全管理に係る知識を有し、実践できる能力を修得している。  
DP5: 診療放射線技師を目指す者として、チーム医療を担うという価値を自覚し、他職種との連携が図れる能力を修得している。  
DP6: 診療放射線技師を目指す者として、診療行為や医療情報の適切な運用が自然に実践できる能力を修得している。

カリキュラムポリシー

CP1: 診療放射線技師教育における基礎および専門分野の知識を体系的に理解するとともに、多文化・異文化に関する知識、人類の文化・社会と自然に関する知識を養うための科目を設定する。  
CP2: 診療放射線技師教育における獲得した知識・技能・態度等を総合的に利用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を養うための科目を設定する。  
CP3: 診療放射線技師教育における臨床的技能としてのコミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、問題解決力を養うための科目を設定する。  
CP4: 診療放射線技師教育における医療従事者としての自己管理能力、チームワーク、リーダーシップ、倫理観、社会的責任感、生涯学習力を養うための科目を設定する。

教育目標		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目	人間系	【配当年次:1～4年】 文学部、芸術部、心臓学、育学、コミュニケーション概論、補綴と補聴～技術力と聴く力～、人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、死生学～死を過して生を考える、生きがい論							
	社会系	【配当年次:1～4年】 法学、日本国憲法、法と道徳・倫理、社会学、日本政治経済論、マスメディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、地球環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、手話入門、経済の仕組み、経済の歴史							
	情報系	【配当年次:1～4年】 統計学、医学・保健医療統計学、数学、物理学、化学、生物学、医学／医歴史、人間工学							
	総合系	【配当年次:1～2年】 素心人間							
	外国語系	【配当年次:1～4年】 複言語～異文化～医療福祉教育実践、メデカルマナー入門、総合演義～超高齢社会で認知症と向き合う～、総合演義(現代社会をどう見るか)、持続可能な発展、ボランティア実践							
専門基礎／学部共通	幅広い教養、豊かな人間性、人間理解を修得する。	【配当年次:1～4年】 英語会話1(P)英語会話2(B)聴覚英語1(P)聴覚英語2(B)医学英語1(P)医学英語2(B)英語リスニング1(P)英語リスニング2(B)英語ライティング1(P)英語ライティング2(B)英語医療通訳入門1(P)英語医療通訳入門2(B)資格英語1(P)資格英語2(B)基礎英文法1(P)基礎英文法2(B)上級英語会話1(発展)上級英語会話2(総合)フランス語入門フランス語基礎							
		【配当年次:2～4年】 英語会話3(Intermediate)英語会話4(Advanced)英語会話3(Intermediate)英語会話4(Advanced)							
		英語基礎1(P)英語基礎2(B)英語CALL1(P)英語CALL2(B)							
		【配当年次:1～4年】 健康科学理論、健康科学実践							
		【配当年次:1～4年】 健康科学理論、健康科学実践							
専門基礎科目	専門科目を学習するための基礎を修得する。 医療人として修得するべきチーム医療について、他職種への理解を深める。	【配当年次:1～4年】 微生物と免疫、リハビリテーション概論、ケースワーク論、医療管理学、保健医療福祉制度論、社会福祉学、臨床心理学概論、福祉支援工学概論							
		【配当年次:2～4年】 ケアマネジメント論、電子カルテシステム入門、レクリエーション概論							
		【配当年次:3～4年】 リスクマネジメント論							
		看護学							
		看護学							
専門科目	専門科目を学習するために必要な基礎を修得する。	基礎数学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学							
		基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学							
		基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学							
		基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学							
		基礎物理学、基礎化学、基礎生物学、基礎物理学、基礎化学、基礎生物学							
専門科目	臨床医学系	臨床医学Ⅰ(基礎)、臨床医学Ⅱ(発展)							
	放射線理工学系	放射線物理学Ⅰ(基礎)、放射線物理学Ⅱ(発展)、放射線化学、放射線計測学、放射線計測学実験、放射線科学実習、医用工学実習、医用工学実習、医用工学実習							
	診療画像技術学系	診療放射線概論、診療画像検査工学、X線検査Ⅰ(基礎)、X線検査Ⅱ(発展)、X線検査Ⅲ(応用)、X線検査Ⅳ(応用)、X線検査Ⅴ(応用)、X線検査Ⅵ(応用)、X線検査Ⅶ(応用)、X線検査Ⅷ(応用)、X線検査Ⅸ(応用)、X線検査Ⅹ(応用)、X線検査Ⅺ(応用)、X線検査Ⅻ(応用)、X線検査Ⅼ(応用)、X線検査Ⅽ(応用)、X線検査Ⅾ(応用)、X線検査Ⅿ(応用)、X線検査ⅰ(応用)、X線検査ⅱ(応用)、X線検査ⅲ(応用)、X線検査ⅴ(応用)、X線検査ⅵ(応用)、X線検査ⅶ(応用)、X線検査ⅷ(応用)、X線検査ⅸ(応用)、X線検査ⅹ(応用)、X線検査ⅺ(応用)、X線検査ⅻ(応用)、X線検査ⅼ(応用)、X線検査ⅽ(応用)、X線検査ⅾ(応用)、X線検査ⅿ(応用)、X線検査ⅿ(応用)、X線検査ⅿ(応用)							
	核医学検査技術学系	核医学Ⅰ(基礎)、核医学Ⅱ(臨床)、核医学Ⅲ(発展)							
	放射線治療技術学系	放射線治療Ⅰ(基礎)、放射線治療Ⅱ(臨床)、放射線治療Ⅲ(発展)、放射線治療Ⅳ(発展)、放射線治療Ⅴ(発展)、放射線治療Ⅵ(発展)、放射線治療Ⅶ(発展)、放射線治療Ⅷ(発展)、放射線治療Ⅸ(発展)、放射線治療Ⅹ(発展)、放射線治療Ⅺ(発展)、放射線治療Ⅻ(発展)、放射線治療Ⅼ(発展)、放射線治療Ⅽ(発展)、放射線治療Ⅾ(発展)、放射線治療Ⅿ(発展)、放射線治療ⅰ(発展)、放射線治療ⅱ(発展)、放射線治療ⅲ(発展)、放射線治療ⅴ(発展)、放射線治療ⅵ(発展)、放射線治療ⅶ(発展)、放射線治療ⅷ(発展)、放射線治療ⅸ(発展)、放射線治療ⅹ(発展)、放射線治療ⅺ(発展)、放射線治療ⅻ(発展)、放射線治療ⅼ(発展)、放射線治療ⅽ(発展)、放射線治療ⅾ(発展)、放射線治療ⅿ(発展)、放射線治療ⅿ(発展)、放射線治療ⅿ(発展)							
	医療画像情報学系	医療画像情報Ⅰ(基礎)、医療画像情報Ⅱ(発展)、医療画像情報Ⅲ(発展)、医療画像情報Ⅳ(発展)、医療画像情報Ⅴ(発展)、医療画像情報Ⅵ(発展)、医療画像情報Ⅶ(発展)、医療画像情報Ⅷ(発展)、医療画像情報Ⅸ(発展)、医療画像情報Ⅹ(発展)、医療画像情報Ⅺ(発展)、医療画像情報Ⅻ(発展)、医療画像情報Ⅼ(発展)、医療画像情報Ⅽ(発展)、医療画像情報Ⅾ(発展)、医療画像情報Ⅿ(発展)、医療画像情報ⅰ(発展)、医療画像情報ⅱ(発展)、医療画像情報ⅲ(発展)、医療画像情報ⅴ(発展)、医療画像情報ⅵ(発展)、医療画像情報ⅶ(発展)、医療画像情報ⅷ(発展)、医療画像情報ⅸ(発展)、医療画像情報ⅹ(発展)、医療画像情報ⅺ(発展)、医療画像情報ⅻ(発展)、医療画像情報ⅼ(発展)、医療画像情報ⅽ(発展)、医療画像情報ⅾ(発展)、医療画像情報ⅿ(発展)、医療画像情報ⅿ(発展)、医療画像情報ⅿ(発展)							
	放射線安全管理学系	放射線安全管理Ⅰ(基礎)、放射線安全管理Ⅱ(発展)、放射線安全管理Ⅲ(発展)、放射線安全管理Ⅳ(発展)、放射線安全管理Ⅴ(発展)、放射線安全管理Ⅵ(発展)、放射線安全管理Ⅶ(発展)、放射線安全管理Ⅷ(発展)、放射線安全管理Ⅸ(発展)、放射線安全管理Ⅹ(発展)、放射線安全管理Ⅺ(発展)、放射線安全管理Ⅻ(発展)、放射線安全管理Ⅼ(発展)、放射線安全管理Ⅽ(発展)、放射線安全管理Ⅾ(発展)、放射線安全管理Ⅿ(発展)、放射線安全管理ⅰ(発展)、放射線安全管理ⅱ(発展)、放射線安全管理ⅲ(発展)、放射線安全管理ⅴ(発展)、放射線安全管理ⅵ(発展)、放射線安全管理ⅶ(発展)、放射線安全管理ⅷ(発展)、放射線安全管理ⅸ(発展)、放射線安全管理ⅹ(発展)、放射線安全管理ⅺ(発展)、放射線安全管理ⅻ(発展)、放射線安全管理ⅼ(発展)、放射線安全管理ⅽ(発展)、放射線安全管理ⅾ(発展)、放射線安全管理ⅿ(発展)、放射線安全管理ⅿ(発展)、放射線安全管理ⅿ(発展)							
	医療安全管理学系	医療安全管理Ⅰ(基礎)、医療安全管理Ⅱ(発展)、医療安全管理Ⅲ(発展)、医療安全管理Ⅳ(発展)、医療安全管理Ⅴ(発展)、医療安全管理Ⅵ(発展)、医療安全管理Ⅶ(発展)、医療安全管理Ⅷ(発展)、医療安全管理Ⅸ(発展)、医療安全管理Ⅹ(発展)、医療安全管理Ⅺ(発展)、医療安全管理Ⅻ(発展)、医療安全管理Ⅼ(発展)、医療安全管理Ⅽ(発展)、医療安全管理Ⅾ(発展)、医療安全管理Ⅿ(発展)、医療安全管理ⅰ(発展)、医療安全管理ⅱ(発展)、医療安全管理ⅲ(発展)、医療安全管理ⅴ(発展)、医療安全管理ⅵ(発展)、医療安全管理ⅶ(発展)、医療安全管理ⅷ(発展)、医療安全管理ⅸ(発展)、医療安全管理ⅹ(発展)、医療安全管理ⅺ(発展)、医療安全管理ⅻ(発展)、医療安全管理ⅼ(発展)、医療安全管理ⅽ(発展)、医療安全管理ⅾ(発展)、医療安全管理ⅿ(発展)、医療安全管理ⅿ(発展)、医療安全管理ⅿ(発展)							
	実践臨床画像学系	実践臨床画像Ⅰ(基礎)、実践臨床画像Ⅱ(発展)、実践臨床画像Ⅲ(発展)、実践臨床画像Ⅳ(発展)、実践臨床画像Ⅴ(発展)、実践臨床画像Ⅵ(発展)、実践臨床画像Ⅶ(発展)、実践臨床画像Ⅷ(発展)、実践臨床画像Ⅸ(発展)、実践臨床画像Ⅹ(発展)、実践臨床画像Ⅺ(発展)、実践臨床画像Ⅻ(発展)、実践臨床画像Ⅼ(発展)、実践臨床画像Ⅽ(発展)、実践臨床画像Ⅾ(発展)、実践臨床画像Ⅿ(発展)、実践臨床画像ⅰ(発展)、実践臨床画像ⅱ(発展)、実践臨床画像ⅲ(発展)、実践臨床画像ⅴ(発展)、実践臨床画像ⅵ(発展)、実践臨床画像ⅶ(発展)、実践臨床画像ⅷ(発展)、実践臨床画像ⅸ(発展)、実践臨床画像ⅹ(発展)、実践臨床画像ⅺ(発展)、実践臨床画像ⅻ(発展)、実践臨床画像ⅼ(発展)、実践臨床画像ⅽ(発展)、実践臨床画像ⅾ(発展)、実践臨床画像ⅿ(発展)、実践臨床画像ⅿ(発展)、実践臨床画像ⅿ(発展)							
	臨床実習系	臨床実習Ⅰ(基礎)、臨床実習Ⅱ(発展)、臨床実習Ⅲ(発展)、臨床実習Ⅳ(発展)、臨床実習Ⅴ(発展)、臨床実習Ⅵ(発展)、臨床実習Ⅶ(発展)、臨床実習Ⅷ(発展)、臨床実習Ⅸ(発展)、臨床実習Ⅹ(発展)、臨床実習Ⅺ(発展)、臨床実習Ⅻ(発展)、臨床実習Ⅼ(発展)、臨床実習Ⅽ(発展)、臨床実習Ⅾ(発展)、臨床実習Ⅿ(発展)、臨床実習ⅰ(発展)、臨床実習ⅱ(発展)、臨床実習ⅲ(発展)、臨床実習ⅴ(発展)、臨床実習ⅵ(発展)、臨床実習ⅶ(発展)、臨床実習ⅷ(発展)、臨床実習ⅸ(発展)、臨床実習ⅹ(発展)、臨床実習ⅺ(発展)、臨床実習ⅻ(発展)、臨床実習ⅼ(発展)、臨床実習ⅽ(発展)、臨床実習ⅾ(発展)、臨床実習ⅿ(発展)、臨床実習ⅿ(発展)、臨床実習ⅿ(発展)							
	総合専門系	診療放射線概論、放射線物理学Ⅰ(基礎)、放射線物理学Ⅱ(発展)、放射線物理学Ⅲ(発展)、放射線物理学Ⅳ(発展)、放射線物理学Ⅴ(発展)、放射線物理学Ⅵ(発展)、放射線物理学Ⅶ(発展)、放射線物理学Ⅷ(発展)、放射線物理学Ⅸ(発展)、放射線物理学Ⅹ(発展)、放射線物理学Ⅺ(発展)、放射線物理学Ⅻ(発展)、放射線物理学Ⅼ(発展)、放射線物理学Ⅽ(発展)、放射線物理学Ⅾ(発展)、放射線物理学Ⅿ(発展)、放射線物理学ⅰ(発展)、放射線物理学ⅱ(発展)、放射線物理学ⅲ(発展)、放射線物理学ⅴ(発展)、放射線物理学ⅵ(発展)、放射線物理学ⅶ(発展)、放射線物理学ⅷ(発展)、放射線物理学ⅸ(発展)、放射線物理学ⅹ(発展)、放射線物理学ⅺ(発展)、放射線物理学ⅻ(発展)、放射線物理学ⅼ(発展)、放射線物理学ⅽ(発展)、放射線物理学ⅾ(発展)、放射線物理学ⅿ(発展)、放射線物理学ⅿ(発展)、放射線物理学ⅿ(発展)							
	総合研究系	卒業研究Ⅰ(調査・研究)、卒業研究Ⅱ(調査・研究)、卒業研究Ⅲ(調査・研究)、卒業研究Ⅳ(調査・研究)、卒業研究Ⅴ(調査・研究)、卒業研究Ⅵ(調査・研究)、卒業研究Ⅶ(調査・研究)、卒業研究Ⅷ(調査・研究)、卒業研究Ⅸ(調査・研究)、卒業研究Ⅹ(調査・研究)、卒業研究Ⅺ(調査・研究)、卒業研究Ⅻ(調査・研究)、卒業研究Ⅼ(調査・研究)、卒業研究Ⅽ(調査・研究)、卒業研究Ⅾ(調査・研究)、卒業研究Ⅿ(調査・研究)、卒業研究ⅰ(調査・研究)、卒業研究ⅱ(調査・研究)、卒業研究ⅲ(調査・研究)、卒業研究ⅴ(調査・研究)、卒業研究ⅵ(調査・研究)、卒業研究ⅶ(調査・研究)、卒業研究ⅷ(調査・研究)、卒業研究ⅸ(調査・研究)、卒業研究ⅹ(調査・研究)、卒業研究ⅺ(調査・研究)、卒業研究ⅻ(調査・研究)、卒業研究ⅼ(調査・研究)、卒業研究ⅽ(調査・研究)、卒業研究ⅾ(調査・研究)、卒業研究ⅿ(調査・研究)、卒業研究ⅿ(調査・研究)、卒業研究ⅿ(調査・研究)							

：必修科目  
：選択科目



## 8-7 保健医療学部 医学検査学科

### 8-7-1 教育研究上の目的

保健医療学部在教育研究上の目的

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学、視機能療法学、医学検査学、放射線・情報科学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床検査技師、診療放射線技師等の人材を育成する。

保健医療学部医学検査学科の教育研究上の目的

医学検査学科は、医学と臨床検査の知識と技術を身に付けるとともに、高度先進医療に対応する能力並びに豊かな人間性とコミュニケーション能力を備え、国内外で活躍できる臨床検査技師を育成することを目的とする。

### 8-7-2 アドミッション・ポリシー

#### 1. 求める学生像

本学が入学者に求める要件を十分理解し、臨床検査技師として、豊かな心、コミュニケーション能力、臨床検査医学に対する明確な目的意識を持ち、日々進化する保健・医療・福祉分野における高度化・専門化及び国際化に対応し、医療の発展に寄与する意志を持つ人

#### 2. 医学検査学科の入学者に求める要件

##### 1) 知識・技能

高等学校時代の教科・科目等に相応した語学系科目の修得を通して身につけた読解力、文章力、また理数系科目の修得を通して身につけた論理的かつ科学的な知識と技能を有していること。

##### 2) 思考力・判断力・表現力

保健・医療・福祉分野における新しい知識を学ぶために主体的に行動し、継続的な努力を惜しまず、他人を思いやる寛容性及びコミュニケーション能力、科学的根拠に基づいた思考力や適切な判断力を有していること。

##### 3) 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

本学の基本理念及び教育理念を十分理解し、臨床検査技師として「共に生きる社会」の実現に寄与すべく、多様な価値観の理解と異文化を認知し、相手の立場に立って多視点で物事を考え、多職種と連携を図る態度と保健・医療・福祉分野の発展に貢献したいという強い意志



と責任感を有していること。

### 8-7-3 ディプロマ・ポリシー

---

DP1：臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。

DP2：臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。

DP3：チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。

DP4：臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。

DP5：臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。

DP6：問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。

DP7：医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求(研究活動)に発展させることができる。

#### 8-7-4 カリキュラム・ポリシー

---

医学検査学科では、以下のカリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)及び前述のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づいて教育を行う。

CP1：臨床検査関連領域の基礎的・専門的な知識・技術を有し、他文化・異文化を問わない態度で人類の健康を理解できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

CP2：獲得した知識・技術・態度をもとに問題点を的確に把握し、適切な病態評価を行うための検査方法の選択や正確な検査データを提供できる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

CP3：臨床検査の過程で得た情報をエビデンスに基づき定量的・論理的に分析し、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有すると共に、他部門とのチームを構築して問題解決にあたることのできる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

CP4：生涯にわたって探究心を持って学び続ける能力と姿勢を身につけ、修得した知識や技術に関連職種を含めたチーム内で共有しながらリーダーシップを発揮し、専門職業人としての高い倫理観を有した、社会から求められる臨床検査技師を育成するための科目を設定する。

## 8-7-5 教育目標

---

### <1 年次 (SBOs1) >

- CP1：保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する。
- CP2：保健医療福祉に関する基本的知識を修得し、臨床検査とのかかわりを理解する。
- CP3：臨床検査に必要な論理的思考を養い、コミュニケーションスキルを身につける。
- CP4：多様な学問領域に関心を持ち、主体的な学びを通して、使命感、倫理観、責任感、思いやりの心などの豊かな人間性を獲得する。

### <2 年次 (SBOs2) >

- CP1：臨床検査専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する。
- CP2：臨床検査に関する応用的知識を修得する。
- CP3：臨床検査データと情報を収集し、他部門とチームを構築して問題解決ができる。
- CP4：他者と協働し、チームの一員として貢献できる。

### <3 年次 (SBOs3) >

- CP1：臨床検査専門分野における専門的な知識や技術を修得する。
- CP2：臨床検査に関する応用的知識を修得すると共に、実践的な実習を行う。
- CP3：各臨床検査データの重要性を理解し、臨床の場に適用して、統合できる知識と技術を身につける。
- CP4：臨床検査の発展的な基礎知識を修得し、専門職業人としての倫理観を養い、関連する職種間との連携に貢献できる。

### <4 年次 (SBOs4) >

- CP1：基本的な実践技術および施設における検査部門の運営法などを学ぶ。
- CP2：専門分野の研究に取り組むとともに臨床検査特論で臨床検査全体について再点検を行う。
- CP3：臨床的な疑問点を探究し、その解決を図るための研究デザインや研究チームを構築することができる。また、計画に基づいた研究の実施および結果の臨床応用について検討することができる。
- CP4：臨床検査技術を発展させるための知識や技術を修得し、臨床検査の発展に貢献できる能力を備える。

## 8-7-6 卒業要件

下記に定める卒業に必要な単位数（必修科目すべてと選択科目）を修得しなければなりません。なお、必修科目については、「8-7-9 授業科目一覧」を参照してください。

### (1) 卒業に必要な単位数【医学検査学科 2025（令和7）年度入学生】

授業科目の区分			最 低 単 位 数		
			必 修	選 択	
総合教育科目	人間系			—	
	社会系		1単位		
	自然・情報系		4単位		
	総合系		1単位		
	外国語系		4単位 (5単位) ※1		2単位以上 (3単位以上または 5単位以上) ※1
	保健体育系				
	小 計		10単位 (11単位) ※1	2単位以上 (3単位以上または5単位以上) ※1	
専門教育科目	専門基礎科目	学部共通	7単位	3 単位以上	
		学科専門基礎	23単位		
		小 計	30単位		
	専門科目		83単位		
	小 計		113単位	3単位以上	
合 計			123単位 (124単位) ※1	5単位以上 (6単位以上または8単位以上) ※1	
総 計			128単位以上 (130単位以上または132単位以上) ※1		

※1 （ ）内の単位は留学生の単位を表す。留学生については後述の「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

### 8-7-7 進級条件

---

(1) 1学年から2学年への進級条件

①1学年の必修の専門教育科目のうち、演習及び実習科目の単位をすべて修得していること。

②1学年の必修の専門教育科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。  
以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(2) 2学年から3学年への進級条件

①2学年までの必修の専門教育科目のうち、演習及び実習科目の単位をすべて修得していること。

②2学年までの必修の専門教育科目のうち、未修得科目が2科目以下であること。  
以上、①②の両方の条件を満たしていること。

(3) 3学年から4学年への進級条件

3学年までの必修科目の単位をすべて修得していること。

### 8-7-8 科目履修条件

---

(1) 日本語履修条件（留学生のみ）

「8-10 留学生の日本語履修条件」を参照すること。

## 8-7-9 授業科目一覧（総合教育科目：医学検査学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
総合教育科目	人間系	文学論	1 2 3 4	2	30		OM-0101-77C
		演劇論	1 2 3 4	1	15		OM-0102-77C
		心理学	1 2 3 4	2	30		OM-0104-77C
		哲学	1 2 3 4	2	30		OM-0105-77C
		コミュニケーション概論	1 2 3 4	2	30		OM-0106-77C
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～	1 2 3 4	2	30		OM-0107-77C
		人間学	1 2 3 4	2	30		OM-0108-77C
		歴史学	1 2 3 4	2	30		OM-0109-77C
		倫理学	1 2 3 4	2	30		OM-0110-77C
		宗教学	1 2 3 4	2	30		OM-0111-77C
		日本近現代史	1 2 3 4	2	30		OM-0112-77C
		文化人類学	1 2 3 4	2	30		OM-0113-77C
		教育学	1 2 3 4	2	30		OM-0114-77C
		教育方法論	1 2 3 4	2	30		OM-0115-77C
		死生学・死を通して生を考える・	1 2 3 4	2	30		OM-0116-77C
	社会系	生きがい論	1 2 3 4	2	30		OM-0117-77C
		法学	1 2 3 4	2	30		OM-0201-77C
		日本国憲法	1 2 3 4	2	30		OM-0202-77C
		法と道徳・倫理	1 2 3 4	2	30		OM-0203-77C
		社会学	1 2 3 4	2	30		OM-0206-77C
		日本政治経済論	1 2 3 4	2	30		OM-0207-77C
		マスメディア論	1 2 3 4	2	30		OM-0208-77C
		福祉経済学	1 2 3 4	2	30		OM-0217-77C
		アジア諸国の経済・社会・文化	1 2 3 4	2	30		OM-0212-77C
		国際関係論	1 2 3 4	2	30		OM-0223-77C
		世界の経済	1 2 3 4	2	30		OM-0220-77C
		国際医療福祉論	1 2 3 4	2	30		OM-0224-77C
		組織運営管理論	1 2 3 4	2	30		OM-0222-77C
		海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2 3 4	1	30		OM-0226-72B
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2 3 4	1	45		OM-0227-72H
		我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	1 2 3 4	1	30		OM-0228-11B
		地球環境論	1 2 3 4	2	30		OM-0229-77C
		ボランティア論	1 2 3 4	2	30		OM-0230-77C
		ボランティアコーディネート論	1 2 3 4	2	30		OM-0231-77C
		手話入門	1 2 3 4	2	30		OM-0232-77C
		経済の仕組み	1 2 3 4	2	30		OM-0218-77C
		経済の歴史	1 2 3 4	2	30		OM-0219-77C
	自然・情報系	統計学	1 2 3 4	2	30		OM-0301-77C
		疫学・保健医療統計学	1 2 3 4	2	30		OM-0304-71C
		数学	1 2 3 4	2	30		OM-0305-77C
		物理学	1 2 3 4	2	30		OM-0306-77C
		化学	1 2 3 4	2	30		OM-0309-11A
		生物学	1 2 3 4	2	30		OM-0312-77C
		コンピュータの基礎	1 2 3 4	2	30		OM-0314-77C
		データリテラシー	1	1	30		OM-0318-11E
		医療データサイエンスⅠ（DS基礎）	2 3 4	1	30		OM-0320-72F
		医療データサイエンスⅡ（AI基礎）	2 3 4	1	30		OM-0321-72F
		医療必修・医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1 2 3 4	1	30		OM-0323-11B
		医学／医療史	1 2 3 4	2	30		OM-0324-77C
		人間工学	1 2 3 4	2	30		OM-0325-77C
	総合系	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1	1	30		OM-0401-11B
		郷土論～栃木学～	1 2 3 4	1	15		OM-0402-77C
		医療福祉教養講義	1 2 3 4	1	15		OM-0403-77C
		メディカルマナー入門	1 2 3 4	2	30		OM-0404-77C
		総合講義-超高齢社会で認知症と向き合う-	1 2 3 4	1	15		OM-0405-77C
		総合講義（現代社会をどう見るか）	1 2 3 4	1	15		OM-0406-77C
		食と人間	1 2	1	15		OM-0407-71C
		持続可能な発展	1 2 3 4	2	30		OM-0409-77C
		ボランティア実践	1 2 3 4	1	15		OM-0412-77I

		授業科目の名称	配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
				必修	選択			
総合教育科目	外国語系	英語講読 1 (Primary)	1	1		30		OM-0501-11E
		英語講読 2 (Basic)	1	1		30		OM-0502-11E
		英語講読 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		OM-0503-82F
		英語講読 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		OM-0504-82F
		英語 CALL1 (Primary)	1	1		30		OM-0505-11E
		英語 CALL2 (Basic)	1	1		30		OM-0506-11E
		英語会話 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0514-70F
		英語会話 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0515-70F
		英語会話 3 (Intermediate)	2 3 4		1	30		OM-0516-80F
		英語会話 4 (Advanced)	2 3 4		1	30		OM-0517-80F
		聖書英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0518-70F
		聖書英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0519-70F
		医学英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0520-70F
		医学英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0521-70F
		英語リスニング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0522-70F
		英語リスニング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0523-70F
		英語ライティング 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0524-70F
		英語ライティング 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0525-70F
		英語医療通訳入門 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0527-70F
		英語医療通訳入門 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0528-70F
		資格英語 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0529-70F
		資格英語 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0530-70F
		基礎英文法 1 (Primary)	1 2 3 4		1	30		OM-0531-70F
		基礎英文法 2 (Basic)	1 2 3 4		1	30		OM-0532-70F
		上級英語会話 1 (発展)	1 2 3 4		1	30		OM-0534-80F
		上級英語会話 2 (総合)	1 2 3 4		1	30		OM-0535-80F
		フランス語入門	1 2 3 4		1	30		OM-0601-70F
		フランス語基礎	1 2 3 4		1	30		OM-0602-70F
		ドイツ語入門	1 2 3 4		1	30		OM-0604-70F
		ドイツ語基礎	1 2 3 4		1	30		OM-0606-70F
		スペイン語入門	1 2 3 4		1	30		OM-0609-70C
		スペイン語基礎	1 2 3 4		1	30		OM-0610-70C
		中国語入門	1 2 3 4		1	30		OM-0612-70C
		中国語基礎	1 2 3 4		1	30		OM-0613-70C
		韓国語入門	1 2 3 4		1	30		OM-0616-70C
		韓国語基礎	1 2 3 4		1	30		OM-0617-70C
	保健 体育系	健康科学理論	1 2 3 4		1	15		OM-0701-77C
		健康科学実践	1 2 3 4		1	30		OM-0702-77I

(注意) 留学生はこの表に示された条件と異なる外国語系科目を履修する  
「8-10-4 留学生用外国語系科目一覧」参照

## 8-7-9 授業科目一覧（専門教育科目：医学検査学科）

授業科目の名称		配当年次	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門基礎／ 学部共通	公衆衛生学	2	2		30		OM-1001-12A
	救急医学	2 3		1	15		OM-1002-77C
	微生物と病気	1 2		2	30		OM-1003-77C
	リハビリテーション概論	1 2		2	30		OM-1004-77C
	関連職種連携論	2	2		30		OM-1011-12B
	看護論	1		2	30		OM-1005-71C
	ケアマネジメント論	1 2		1	15		OM-1021-77C
	ケースワーク論	1 2		1	15		OM-1022-77C
	医療管理学	1 2		2	30		OM-1023-77C
	保健医療福祉制度論	1	2		30		OM-1024-11B
	社会福祉学	1 2		2	30		OM-1025-77C
	臨床心理学概論	1 2		2	30		OM-1031-77C
	福祉支援工学概論	1 2		2	30		OM-1026-77C
	関連職種連携ワーク	3	1		30		OM-1012-13E
	関連職種連携実習	4		1	45		OM-1013-74H
	リスクマネジメント論	2		2	30		OM-1027-72C
	電子カルテシステム入門	2		1	15		OM-1042-72C
	レクリエーション概論	2		1	15		OM-1051-72C
専門基礎	解剖学Ⅰ（総論）	1	2		30		OM-2112-11A
	解剖学Ⅱ（各論）	1	2		30		OM-2113-11A
	組織学演習	2	1		30		OM-2116-12D
	生理学	1	1		30		OM-2121-11A
	病理学	1	2		30		OM-2141-11A
	臨床医学概論	2	1		30		OM-2212-12A
	内科学	2	1		30		OM-2213-12A
	臨床神経学	1 2 3		1	30		OM-2214-77A
	精神医学	1 2 3		1	30		OM-2215-77A
	リハビリテーション医学	1 2 3	1		30		OM-2221-11A
	小児科学	1 2 3		1	30		OM-2216-77A
	老年学	1 2 3	1		30		OM-2217-12A
	病態薬理学	1	1		15		OM-2231-11A
	臨床栄養学	1	1		15		OM-2241-11A
	遺伝学	1	1		15		OM-2131-11A
	分析化学	1	1		30		OM-2211-11A
	生化学	1	1		30		OM-2101-11A
	生化学実習	1	1		45		OM-2102-11G
	医用工学・情報概論	1	2		30		OM-2401-11A
	医用工学・情報実習	1	1		45		OM-2402-11G
	検査機器学・情報システム学総論	2	2		30		OM-2403-22A
専門	病理検査学	2	2		30		OM-3C02-22A
	病理検査学実習	3	2		60		OM-3C13-33G
	細胞診断学	2	1		30		OM-3C37-22A
	細胞診断学実習	2	1		30		OM-3C38-32G
	血液検査学Ⅰ（形態系，凝固・線溶系の基礎）	2	2		30		OM-3B01-12A
	血液検査学Ⅱ（形態系，凝固・線溶系の応用）	2	2		30		OM-3B02-22A
	血液検査学実習	3	2		60		OM-3B03-33G
	一般検査学	1	2		30		OM-3D01-11A
	一般検査学実習	2	1		30		OM-3D11-22G
	臨床化学検査学Ⅰ（糖質，タンパク質，脂質）	1	2		30		OM-3E01-21A
	臨床化学検査学Ⅱ（酵素，ホルモン，ビタミン）	2	2		30		OM-3E02-22A
	臨床化学検査学実習	2	2		60		OM-3E11-32G
	遺伝子検査学	1	2		30		OM-3F01-21A
	遺伝子検査学実習	2	1		30		OM-3F11-32G
	微生物検査学Ⅰ（細菌）	2	2		30		OM-3H01-22A
	微生物検査学Ⅱ（ウイルス，真菌）	2	2		30		OM-3H02-22A
	微生物検査学実習	3	2		60		OM-3H13-33G
	医動物学演習	2	1		30		OM-3D21-12D
	免疫検査学	2	1		30		OM-3E21-22A
	免疫検査学実習	2	1		30		OM-3E31-32G
	輸血・移植検査学	2	2		30		OM-3G11-22A
	輸血・移植検査学実習	3	2		60		OM-3G13-33G



授業科目の名称		配当年度	単位数		時間	備 考	ナンバリングコード
			必修	選択			
専門教育科目	専門	生理検査学Ⅰ（循環器，脳・神経，筋系）	2	2	30		OM-3I01-22A
		生理検査学Ⅱ（呼吸器，感覚器，平衡機能）	2	2	30		OM-3I02-22A
		生理検査学実習	3	3	90		OM-3I13-33G
		超音波・MRI 検査学	2	2	30		OM-3I21-32A
		超音波・MRI 検査学実習	2	1	45		OM-3I31-32G
		先進臨床検査技術学	3		2	30	OM-3A05-93A
		臨床検査統計学	2	2	30		OM-3J06-32A
		医療安全管理学演習	2	2	60		OM-3K03-32D
		精度管理学	3	1	15		OM-3J05-33A
		臨床検査特論Ⅰ（応用）	3	2	30		OM-3S01-34A
		臨床検査特論Ⅱ（発展）	4	4	60		OM-3S02-34A
		医科分子生物学	1 2 3		1	15	OM-3F02-77A
		臨床検査研究論	3	2	30		OM-3M02-33J
		循環動態画像診断学	3	1	15		OM-3I41-33A
		臨床検査管理総論	1	2	30		OM-3J01-11A
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	3	1	15		OM-3A03-23A
		臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用）		4	2	30	OM-3A04-34A
		臨床検査基礎演習	1		1	30	OM-3J04-11D
		客観的臨床能力試験	3	1	30		OM-3L02-33D
		臨地実習	3	11	330		OM-3L01-33G
		卒業研究	4	4	120		OM-3M01-34J
		入門細胞診断学演習	1		1	30	OM-3C32-81D
		細胞診断学演習Ⅰ（婦人科基礎）	2		1	30	OM-3C33-92D
		細胞診断学演習Ⅱ（婦人科応用）	2		1	30	OM-3C34-92D
		細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器，体腔液基礎）	3		1	30	OM-3C35-93D
		細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器，体腔液応用）	3		1	30	OM-3C36-93D
		臨床検査質量分析学演習	4		1	30	OM-3P01-94D
		遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	3		1	30	OM-3F13-83D
		遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践）	4		1	30	OM-3F14-94D
		生殖補助医療胚培養学	2		1	15	OM-3O01-92A
		生殖補助医療胚培養学演習	4		1	30	OM-3O02-94D

		ディプロマ・ポリシー (DP)							
		【DP1】 臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。	【DP2】 臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。	【DP3】 チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身につけ、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。	【DP4】 臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。	【DP5】 臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。	【DP6】 問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身につけ、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。	【DP7】 医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求(研究活動)に発展させることができる。	
各 年 次 の 教 育 目 標 (到達目標・SBOs)	1 年 次	【SBOs1/CP1】 保健医療福祉に関する基本的知識や異文化に関する知識を修得する。	【DP1/SBOs1/CP1】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- 英語講読1,2 英語CALL1,2 保健医療福祉制度論 総合講義(現代社会をどう見るか) 総合教育科目(人間系) 総合教育科目(社会系) 総合教育科目(外国語系)	【DP2/SBOs1/CP1】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	【DP3/SBOs1/CP1】 総合教育科目(社会系)	【DP4/SBOs1/CP1】 化学 生物学 総合教育科目(自然・情報系)	【DP5/SBOs1/CP1】	【DP6/SBOs1/CP1】 化学 生物学	【DP7/SBOs1/CP1】
		【SBOs1/CP2】 保健医療福祉に関する基本的知識を修得し、臨床検査とのかかわりを理解する。	【DP1/SBOs1/CP2】 老年学 病理学 臨床神経学 精神医学	【DP2/SBOs1/CP2】 保健医療福祉制度論 精神医学	【DP3/SBOs1/CP2】 大学入門講座-医療人・社会人として成長するために- リハビリテーション医学 臨床検査管理総論 微生物と病気 リハビリテーション概論 看護論 ケアマネジメント論 ケースワーク論 社会福祉学	【DP4/SBOs1/CP2】 解剖学Ⅰ、Ⅱ 生理学 老年学 病理学 病態薬理学 臨床栄養学 遺伝学 分析化学 生化学 一般検査学 遺伝子検査学 臨床検査基礎演習 臨床化学検査学Ⅰ(糖質、タンパク質、脂質) 総合教育科目(自然・情報系) 微生物と病気 入門細胞診断学演習 臨床神経学 小児科学	【DP5/SBOs1/CP2】 生理学 老年学 病態薬理学 臨床栄養学 遺伝学 分析化学 生化学 一般検査学 遺伝子検査学 臨床化学検査学Ⅰ(糖質、タンパク質、脂質) 入門細胞診断学演習 小児科学	【DP6/SBOs1/CP2】 老年学 分析化学 医用工学・情報実習 遺伝子検査学 医科分子生物学	【DP7/SBOs1/CP2】 医科分子生物学
		【SBOs1/CP3】 臨床検査に必要な論理的思考を養い、コミュニケーションスキルを身につける。	【DP1/SBOs1/CP3】 総合教育科目(総合系) 総合教育科目(社会系)	【DP2/SBOs1/CP3】 病理学 生化学実習 臨床検査基礎演習 総合教育科目(人間系) 総合教育科目(総合系)	【DP3/SBOs1/CP3】 臨床検査基礎演習 総合教育科目(総合系)	【DP4/SBOs1/CP3】 生化学実習	【DP5/SBOs1/CP3】 生化学実習 医用工学・情報概論	【DP6/SBOs1/CP3】	【DP7/SBOs1/CP3】
		【SBOs1/CP4】 多様な学問領域に関心をもち、主体的な学びを通して、使命感、倫理観、責任感、思いやりの心などの豊かな人間性を獲得する。	【DP1/SBOs1/CP4】 我が国の社会福祉・医療保障政策の知識 医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報- 臨床検査管理総論 ケアマネジメント論 ケースワーク論 臨床心理学概論 福祉支援工学概論 健康科学理論 健康科学実践	【DP2/SBOs1/CP4】 臨床心理学概論	【DP3/SBOs1/CP4】 保健医療福祉制度論	【DP4/SBOs1/CP4】 医療管理学	【DP5/SBOs1/CP4】 データリテラシー 医療管理学	【DP6/SBOs1/CP4】 データリテラシー	【DP7/SBOs1/CP4】
	2 年 次	【SBOs2/CP1】 臨床検査専門分野および関連領域における基礎的な知識を修得する。	【DP1/SBOs2/CP1】 内科学 臨床医学概論 総合教育科目(社会系)	【DP2/SBOs2/CP1】 医療安全管理学演習	【DP3/SBOs2/CP1】 医療安全管理学演習	【DP4/SBOs2/CP1】 組織学演習 検査機器学・情報システム学総論 病理検査学 細胞診断学 血液検査学Ⅰ(形態系、凝固・線溶系の基礎) 微生物検査学Ⅰ(細菌) 免疫検査学 輸血・移植検査学 生理検査学Ⅰ(循環器、脳・神経、筋系) 超音波・MRI検査学 医療安全管理学演習 細胞診断学演習Ⅰ(婦人科基礎) 生殖補助医療胚培養学	【DP5/SBOs2/CP1】 組織学演習 検査機器学・情報システム学総論 病理検査学 細胞診断学 血液検査学Ⅰ(形態系、凝固、線溶系の基礎) 微生物検査学Ⅰ(細菌) 動物学演習 免疫検査学 輸血・移植検査学 生理検査学Ⅰ(循環器、脳、神経、筋系) 超音波・MRI検査学 臨床検査統計学 医療安全管理学演習 細胞診断学演習Ⅰ(婦人科基礎) 生殖補助医療胚培養学	【DP6/SBOs2/CP1】 内科学	【DP7/SBOs2/CP1】
		【SBOs2/CP2】 臨床検査に関する応用的知識を修得する。	【DP1/SBOs2/CP2】	【DP2/SBOs2/CP2】 関連職種連携論	【DP3/SBOs2/CP2】 公衆衛生学 臨床医学概論	【DP4/SBOs2/CP2】 検査機器学・情報システム学総論 血液検査学Ⅱ(形態系、凝固、線溶系の応用) 一般検査学実習 臨床化学検査学Ⅱ(酵素、ホルモン、ビタミン) 臨床化学検査学実習 遺伝子検査学実習 微生物検査学Ⅱ(ウイルス、真菌) 免疫検査学実習 生理検査学Ⅱ(呼吸器、感覚器、平衡機能) 超音波・MRI検査学実習 細胞診断学演習Ⅱ(婦人科応用)	【DP5/SBOs2/CP2】 細胞診断学実習 血液検査学Ⅱ(形態系、凝固、線溶系の応用) 一般検査学実習 臨床化学検査学Ⅱ(酵素、ホルモン、ビタミン) 臨床化学検査学実習 遺伝子検査学実習 微生物検査学Ⅱ(ウイルス、真菌) 免疫検査学実習 生理検査学Ⅱ(呼吸器、感覚器、平衡機能) 超音波・MRI検査学実習 細胞診断学演習Ⅱ(婦人科応用)	【DP6/SBOs2/CP2】 細胞診断学実習 一般検査学実習 臨床化学検査学実習 遺伝子検査学実習 免疫検査学実習 超音波・MRI検査学実習	【DP7/SBOs2/CP2】
		【SBOs2/CP3】 臨床検査データと情報を収集し、他部門とチームを構築して問題解決ができる。	【DP1/SBOs2/CP3】 関連職種連携論	【DP2/SBOs2/CP3】	【DP3/SBOs2/CP3】	【DP4/SBOs2/CP3】 検査機器学・情報システム学総論 電子カルテシステム入門	【DP5/SBOs2/CP3】 検査機器学・情報システム学総論 総合教育科目(自然・情報系)	【DP6/SBOs2/CP3】	【DP7/SBOs2/CP3】
		【SBOs2/CP4】 他者と協働し、チームの一員として貢献できる。	【DP1/SBOs2/CP4】 リスクマネジメント論 レクリエーション概論	【DP2/SBOs2/CP4】 レクリエーション概論	【DP3/SBOs2/CP4】 関連職種連携論 救急医学 リスクマネジメント論 レクリエーション概論	【DP4/SBOs2/CP4】	【DP5/SBOs2/CP4】	【DP6/SBOs2/CP4】	【DP7/SBOs2/CP4】

		ディプロマ・ポリシー（DP）							
		【DP1】 臨床検査技師を目指す者として、広い教養と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身に付け、人間理解、国際的感覚を養い、医療関連分野での倫理的側面を理解した医療従事者として行動できる。	【DP2】 臨床検査における基本的知識及び技術を修得し、専門医療職の立場のみならず患者の立場に立って、他者を思いやり、自らの考えを表現できる。	【DP3】 チーム医療に積極的に参画できる幅広い教養を身に付け、自職種の専門性に誇りを持って他職種を理解し、調整・連携の役割を果たすための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につけている。	【DP4】 臨床検査の正確かつ高精度な検査情報を提供するために必要な基礎的な知識及び技術を身につけている。	【DP5】 臨床検査に必要な専門的な知識及び技術と実践能力を身につけ、検査データを総合的に解析する力を培い、臨床診断に寄与する検査能力を身につけている。	【DP6】 問題解決に対する柔軟な応用力や想像力を身に付け、社会に貢献できる新たな技術や機器開発に取り組む基礎的能力を身につけている。	【DP7】 医療の高度化に対応し、各自の実践の中から研究の課題を発見し、それを新しい知識の追求（研究活動）に発展させることができる。	
各 年 次 の 教 育 目 標 （到達目標・SBOs）	3 年 次	【SBOs3/CP1】 臨床検査専門分野における専門的な知識や技術を修得する。	【DP1/SBOs3/CP1】 客観的臨床能力試験	【DP2/SBOs3/CP1】	【DP3/SBOs3/CP1】	【DP4/SBOs3/CP1】 精度管理学 臨床検査特論Ⅰ（応用） 細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器、体腔液基礎） 遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	【DP5/SBOs3/CP1】 精度管理学 臨床検査特論Ⅰ（応用） 細胞診断学演習Ⅲ（呼吸器、体腔液基礎） 遺伝子分析科学演習Ⅰ（基礎）	【DP6/SBOs3/CP1】 臨床検査研究論	【DP7/SBOs3/CP1】 臨床検査研究論
		【SBOs3/CP2】 臨床検査に関する応用的知識を修得すると共に、実践的な実習を行う。	【DP1/SBOs3/CP2】	【DP2/SBOs3/CP2】	【DP3/SBOs3/CP2】 臨地実習 客観的臨床能力試験	【DP4/SBOs3/CP2】 病理検査学実習 血液検査学実習 微生物検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理検査学実習 精度管理学	【DP5/SBOs3/CP2】 病理検査学実習 血液検査学実習 微生物検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理検査学実習 精度管理学 客観的臨床能力試験	【DP6/SBOs3/CP2】 病理検査学実習 血液検査学実習 微生物検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理検査学実習 臨床検査研究論	【DP7/SBOs3/CP2】
		【SBOs3/CP3】 各臨床検査データの重要性を理解し、臨床の場に応用して、統合できる知識と技術を身につける。	【DP1/SBOs3/CP3】	【DP2/SBOs3/CP3】	【DP3/SBOs3/CP3】 臨地実習	【DP4/SBOs3/CP3】 循環動態画像診断学 臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎） 客観的臨床能力試験 細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器、体腔液応用）	【DP5/SBOs3/CP3】 精度管理学 臨地実習 循環動態画像診断学 臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎） 細胞診断学演習Ⅳ（呼吸器、体腔液応用）	【DP6/SBOs3/CP3】 病理検査学実習 血液検査学実習 微生物検査学実習 輸血・移植検査学実習 生理検査学実習 臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅰ（基礎）	【DP7/SBOs3/CP3】 臨床検査研究論
		【SBOs3/CP4】 臨床検査の発展的な基礎知識を修得し、専門職業人としての倫理観を養い、関連する職種間との連携に貢献できる。	【DP1/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク	【DP2/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク 臨地実習	【DP3/SBOs3/CP4】 関連職種連携ワーク	【DP4/SBOs3/CP4】	【DP5/SBOs3/CP4】 先進臨床検査技術学	【DP6/SBOs3/CP4】 先進臨床検査技術学	【DP7/SBOs3/CP4】 先進臨床検査技術学
	4 年 次	【SBOs4/CP1】 基本的な実践技術および施設における検査部門の運営法などを学ぶ。	【DP1/SBOs4/CP1】	【DP2/SBOs4/CP1】	【DP3/SBOs4/CP1】	【DP4/SBOs4/CP1】	【DP5/SBOs4/CP1】	【DP6/SBOs4/CP1】	【DP7/SBOs4/CP1】
		【SBOs4/CP2】 専門分野の研究に取り組むとともに臨床検査特論で臨床検査全体について再点検を行う。	【DP1/SBOs4/CP2】	【DP2/SBOs4/CP2】	【DP3/SBOs4/CP2】	【DP4/SBOs4/CP2】 臨床検査特論Ⅱ（発展）	【DP5/SBOs4/CP2】 臨床検査特論Ⅱ（発展）	【DP6/SBOs4/CP2】	【DP7/SBOs4/CP2】
		【SBOs4/CP3】 臨床的な疑問点を探究し、その解決を図るための研究デザインや研究チームを構築することができる。また、計画に基づいた研究の実施および結果の臨床応用について検討することができる。	【DP1/SBOs4/CP3】 関連職種連携実習	【DP2/SBOs4/CP3】 関連職種連携実習	【DP3/SBOs4/CP3】 関連職種連携実習	【DP4/SBOs4/CP3】	【DP5/SBOs4/CP3】	【DP6/SBOs4/CP3】	【DP7/SBOs4/CP3】
		【SBOs4/CP4】 臨床検査技術を発展させるための知識や技術を修得し、臨床検査の発展に貢献できる能力を備える。	【DP1/SBOs4/CP4】	【DP2/SBOs4/CP4】	【DP3/SBOs4/CP4】	【DP4/SBOs4/CP4】 臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用） 遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践） 臨床検査質量分析学演習 生殖補助医療胚培養学演習	【DP5/SBOs4/CP4】 臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用） 卒業研究 遺伝子分析科学演習Ⅱ（実践） 臨床検査質量分析学演習 生殖補助医療胚培養学演習	【DP6/SBOs4/CP4】 臨床検査診断学（Reversed-CPC）Ⅱ（応用） 卒業研究	【DP7/SBOs4/CP4】 卒業研究

**保健医療学部 医学検査学科 履修系統図**  
**【2025（令和7）年度入学生から】**

## カリキュラムポリシー

- ① 臨床検査技術者の役割と専門的な知識を共有し、他職種・異文化環境と対峙しながら人間の健康と生活に関する臨床検査技術で貢献するもの科を決定する。
- ② 知識・技術・技能の高度化と専門性の涵養に配慮し、他職種・異文化環境と対峙しながらの検査方法の改善やITや検査技術で人を支援する臨床検査技術者となるもの科を決定する。
- ③ 臨床検査技術者の専門性や情報とデータに基づいた客観的・論理的な分析、適切なコミュニケーション手段を用いて他者と共有すると共に、他職種とのチームを構築して問題解決にあたることのできる臨床検査技術者を育成するもの科を決定する。
- ④ 生涯にわたって学び続ける能力と姿勢を身に付け、修得した知識や技術を生涯を通じて活かすことで社会に貢献できる臨床検査技術者を育成するもの科を決定する。

## ディプロマポリシー

- ①臨床検査技師が日々行う検査と、広い医療と生命の尊重を基盤とした豊かな人間性を身につけ、人間関係、倫理観の啓蒙を促し、医療従事者分野での倫理的判断を支援し医療従事者と連携できるように努める。
- ②臨床検査における基本的知識および技術を修得し、専門知識の立場のみならず患者の立場に寄り、患者を思いやる姿勢と柔軟な考え方を養い、患者の安全を確保し、検査結果の信頼性を確保し、自らの専門分野にのみならず検査と関係する他の専門分野、医療一連の役割を担うための適切な他部門とのコミュニケーション能力を身につける。
- ③臨床検査の正確な検査精度な検査を提供するために必要な基礎的知識および技術を身につける。
- ④臨床検査に必要な専門的知識および技術を習得するとともに、検査データを総合的に分析する能力を高め、臨床診断に資する検査能力を身につける。
- ⑤問題解決に対する柔軟な能力や想像力をもつに、社会に貢献できる新たな検査や検査開発に取り組む能力を身につける。
- ⑥高度化にふさわし、各自の職業の中での研究の発展を促し、それを新しい職業能力と結びつけ、研究開発に貢献できるように努める。

科目分類の分野・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育	人間系(文学論、演劇論、心療学、哲学、コミュニケーション概論、福祉と福祉キャリア・人間学、歴史学、倫理学、宗教学、日本近現代史、文化人類学、教育学、教育方法論、更生学)等を通じて定着を促す。定着がよい場合、社会実(法學、日本国憲法、法と生活、環境・社会学、日本政治経済概論、メディア論、福祉経済学、アジア諸国の経済・社会・文化、国際関係論、世界の経済、国際医療福祉論、組織運営管理論、海外保健福祉事情Ⅰ(英語)、地理環境論、ボランティア論、ボランティアコーディネート論、外国人入居・移住の仕組み、異文化の理解)							
	自然・情報系(統計学、疫学・保健衛生概論計学、数学、物理学、生物学、コンピュータの基礎、医療データサイエンスⅠ(A基礎)、医療データサイエンスⅡ(A基礎)、医学/看護学、人間工学)							
	総合系(語学+基本科学+医療福祉専修課程、ナチカルマナー入門、総合講義：生涯設計と認知症と向き合う、総合講義：現代社会と向きあふる)、英土・日・韓・特許可能な知識、ポランティア実践)							
	外国語系(英語基礎Ⅰ(Intermediate)、英語基礎Ⅱ(Advanced)、英語会話Ⅲ(Intermidate)、英語会話Ⅳ(Advanced)、聴覚英語Ⅰ(Priamry)、聴覚英語Ⅱ(Basic)、医学英語Ⅰ(Priamry)、医学英語Ⅱ(Basic)、英語リスニングⅠ(Priamry)、英語リスニングⅡ(Basic)、英語ライティングⅠ(Priamry)、英語ライティングⅡ(Basic)、英語聴解導入門Ⅱ(Basic)、聴得英語Ⅰ(Priamry)、聴得英語Ⅱ(Basic))							
	基礎英文法Ⅰ(Priamry)、基礎英文法Ⅱ(Basic)、上級英語会話Ⅰ(発展)、上級英語会話Ⅱ(総合)、フランス語入門、フランス語基礎、ドイツ語入門、ドイツ語基礎、スペイン語入門、韓国語基礎、韓国語入門、中国語基礎、中国語入門、中国語基礎、韓国語入門、韓国語基礎							
	留学生日本語科目(作文・読解Ⅰ(入門)、作文・読解Ⅱ(応用)、作文・読解Ⅲ(完成)、文法・読解Ⅰ(入門)、文法・読解Ⅱ(応用)、文法・読解Ⅲ(完成)、発表・討論Ⅰ(応用)、発表・討論Ⅱ(応用)、発表・討論Ⅲ(応用)、発表・討論Ⅳ(応用)、発表・討論Ⅴ(応用)、発表・討論Ⅵ(応用)、発表・討論Ⅶ(応用)、発表・討論Ⅷ(応用)、発表・討論Ⅸ(応用)、発表・討論Ⅹ(応用))							
	保健体育系(健康科学理論、健康科学実験)							
人体の構造と機能	解剖学Ⅰ(総論)	解剖学Ⅱ(各論)	組織学講習					
	遺伝学	数理学						
	生化学	生化学実習						
	生理学							
	リハビリテーション概論							
臨床検査の基礎とその疾病との関連	リハビリテーション医学	内科学	臨床検査学講習	臨床検査連携ワーク			臨床検査連携ワーク	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
	臨床検査学	疫病学	臨床検査学講習	臨床検査学講習			臨床検査学講習	
保健医療福祉と臨床検査	ケアマネジメント論	ケースワーク論	公衆衛生学					
	医療経営学	医療経営学						
	社会福祉学	保健医療福祉制度論						
医療工学及び医療情報	医用工学-情報概論	医用工学-情報実習	検査機器学-情報システム学概論	リスクマネジメント論				
	福祉工学実務概論		電子カルテシステム入門					
病態学								
血液学的検査								
病理学的検査	入門細胞診断学講習	病理検査学	細胞診報告書実習	病理検査学実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習
		細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習	細胞診報告書実習
尿・糞便等一般検査 (寄生虫学の検査含む)	一般検査学	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習
		一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習	一般検査学実習
生化学的検査・免疫学的検査	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅰ(総論、メタボリック、糖尿病)
	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)	臨床生化学学Ⅱ(総論、メタボリック、糖尿病)
遺伝子関連・染色体検査	遺伝子検査学	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習
	遺伝子検査学	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習	遺伝子検査学実習
輸血移植学的検査								
微生物学的検査								
生理機能検査学								
臨床検査総合管理学	臨床検査管理概論	臨床検査基礎講習	臨床検査統計学	臨床検査学	臨床検査学	臨床検査学	臨床検査学	臨床検査学
医療安全管理学								
臨床実習								
卒業研究								
食品化学								
匠地裁技術学								
質量分析技術学								
臨床検査特論								

必修科目

\_\_\_\_\_ : 選択科目

演習、實習科目